

難病のある人の雇用管理の課題と
雇用支援のあり方に関する研究
職業場面における難病データ集

2011年4月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター

難病のある人の雇用管理の課題と
雇用支援のあり方に関する研究

職業場面における難病データ集

2011年4月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター

ま え が き

障害者職業総合センターは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、我が国における職業リハビリテーションの推進とサービスの質的な向上に貢献することをめざして、職業リハビリテーションに関する調査・研究、効果的な職業リハビリテーション技法の開発、職業リハビリテーション施設の運営・指導、職業リハビリテーションに関する人材の育成などの業務を行っており、調査研究の成果は、調査研究報告書等の形で取りまとめ、関係者に提供しております。

本調査研究報告書は、当センター研究部門における「難病のある人の雇用管理の課題と雇用支援のあり方に関する研究（平成 21～22 年度）」の成果を取りまとめたものです。

医療の進歩により病気をもちながら働くことを希望される難病のある方々が増加しているという現状認識に基づき、難病のある人の職業生活上の課題と、その解決に効果的な職場の雇用管理及び地域における雇用支援のあり方の検討に資する、現時点での最も総合的な実証データをまとめました。

特に、本書は、報告書の別冊として、多様な難病について、職場における効果的な取組、また、それらを反映した難病のある人の職業場面での課題について、調査結果をまとめたものです。

本書が、難病等の慢性疾患のある人の就労問題についての社会的な理解を促進し、難病のある人、難病のある人を雇用する事業主、また、難病のある人の医療や生活の支援、雇用・就労支援に関わる皆様のお役に立てれば幸いです。

2011年4月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター
研究主幹 上村 俊一

執筆担当

春名 由一郎 (障害者職業総合センター 社会的支援部門 研究員)

編集協力

東明 貴久子 (障害者職業総合センター社会的支援部門 研究協力員)

香西 世都子 (障害者職業総合センター社会的支援部門 研究協力員)

研究担当

○春名 由一郎 障害者職業総合センター社会的支援部門 研究員

東明 貴久子 障害者職業総合センター社会的支援部門 研究協力員

香西 世都子 障害者職業総合センター社会的支援部門 研究協力員

目 次

1 難病データ集について	1
2 本データ集の構成と読み方	4
3 疾患別のデータ集	7
1. ベーチェット病	8
2. 多発性硬化症	14
3. 重症筋無力症	22
4. 全身性エリテマトーデス	30
5. 強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎	38
6. 潰瘍性大腸炎	46
7. クロウン病	54
8. モヤモヤ病	62
9. 網膜色素変性症	68
10. パーキンソン病	72
11. 脊髄小脳変性症	76
12. 後縦靭帯骨化症 (OPLL)	80
13. 混合性結合組織病	84
14. 大動脈炎症候群	90
15. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP)	94
16. 再生不良性貧血	98
17. サルコイドーシス	102
18. 神経線維腫症 I 型 (レックリングハウゼン病)	106
19. 原発性免疫不全症候群	110
20. インスリン依存型糖尿病 (IDDM)	114
巻末資料 職業的課題の標準尺度の変換表	117

1 難病データ集について

難病のある人の就労支援において、就労支援担当者、雇用企業等の最も重要な問いは、「本当に難病であっても働けるのか／働かせても労働安全衛生法等に照らして問題ないのか？」ということです。難病の就労可能性の判断の困難な点は、疾患が多種多様であることに加え、就労する職場状況等によっても、その可能性が影響されることにあります。理解や配慮のある職場では無理なく働ける人でも、そうでない職場では症状が悪化して就業継続が困難となることもあるため、どのような配慮が必要なのかを十分に検討することが重要です。

本データ集は、このようなことも踏まえ、難病の各疾患についての、職業的課題の達成や問題の解消に効果のある取組（雇用管理上の施策や個別的配慮）に関する実証的データをとりまとめて提供するものです。

(1) 本データ集の元となった調査について

本研究のデータは、次の2つの調査から得た。

- 厚生労働省委託「難病の雇用管理に関する調査・研究会」による2005年の調査。
- 障害者職業総合センター「障害者の自立支援と就業支援の効果的連携のための実証的研究」による2009年の調査。

①「難病の雇用管理のための調査・研究会」の調査(以下、「2005年調査」と呼ぶ)によるデータ

厚生労働省の委託により2005年に実施された「難病の雇用管理のための調査・研究会(座長：白木三秀、事務局：財団法人雇用問題研究会)」による調査においては、障害者職業総合センター研究員も委員として参画し、調査票の設計、調査実施、分析を担当した。この調査は、難病のある人の雇用管理のあり方の実証的研究のためにICFの概念枠組に基づいて分析している点で、本研究の先駆的な研究である。また、「難病のある人の雇用管理・就業支援ガイドライン」はこの調査の分析結果に基づき作成されたものである。

この調査は、2005年1月～3月に、全国の24の患者団体等の協力により、各団体の会員等から原則として18歳以上の者に調査票を配布して、回答済み調査票を回収したものである。調査票の発送数は宛先不明を除き9,384であり、回答は3,691名(回収率39.3%)であった。17疾患について回答者が100名を超えていた。

本研究においては、厚生労働省からの提供により、このデータを分析対象とした。

②「障害・疾患のある人の自立と就業ニーズに応える職場と地域の取組状況に関する調査」(以下、「2009年調査」と呼ぶ)によるデータ

上記2005年調査における、調査・分析の方法論や調査項目の多くを踏襲した形で、身体・知的・精神障害等の様々な障害に対象を広げ、また、職場内の取組だけでなく地域の様々な関係機関による自立支援の取組の影響も合わせて明らかにするための調査が、本研究と平行して、障害者職業総合センター特別研究12「障害者の自立支援と就業支援の効果的連携のための実証的研究」として実施された。この調査においては、難病も対象とし、新たにデータを得ている。調査対象は、33の様々な障害の当事者団体等の協力により、労働年齢にある、身体障害(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害)、知的障害、精神障害、発達障害、難病、高次脳機能障害を網羅している。そのうち、難病については14団体の協力により実施している。

この調査は、2008年12月から2009年7月の間に実施し、当事者団体等の協力により14,448人に発送し4,546人(回収率31.5%)から有効回答を得た。そのうち、難病は2,135名の回答が得られ、9疾患について100名以上の回答を得ている。

(2) 職業的課題の状況と効果的取組の一体的な表現

難病のある人の職業場面での問題状況は、雇用管理上の施策や個別的配慮、あるいは、地域支援の状況等に影響されます。このような状況を踏まえ、単純に問題状況の大きさや小ささを示すと、一方では、問題状況が過大評価され難病のある人の就労可能性が過小評価される危険性があり、もう一方では、問題状況が過少評価され難病のある人への配慮や支援の必要性が過小評価される危険性があります。

そこで、このデータ集においては、難病のある人の職業場面での課題が、効果的取組の有無により変化するものであるという状況を、実証データに基づき、ありのままに示すようにしています。

ア 効果的取組の状況を反映した職業的課題のグラフ表現

職業的課題は、従来は効果的取組とは関係なく一つの値で示されることが多いところを、それに加えて、効果的な有無の場合を合わせて、3つの値で示しています。

職業的課題と効果的取組のクロス集計表

		特定の職業的課題	
		問題無	問題有
特定の取組	取組有	A	B
	取組無	C	D

- ・ 取組有時の問題のない人の割合 $V1 = A / (A+B)$
- ・ 取組に関係なく問題のない人の割合 $V2 = (A+C) / (A+B+C+D)$
- ・ 取組有時の問題のない人の割合 $V3 = C / (C+D)$

また、このような職業的課題レベルの状況が、効果的取組の取組率と関連していることから、 $(V2 - V3) : (V1 - V2) = (A + B) : (C + D) = \text{取組有} : \text{取組無}$ の関係に基づいて、次のようなグラフ表現によって、効果的取組の取組率と、それによる職業的課題レベルの違いを、同時に示すようにしています。

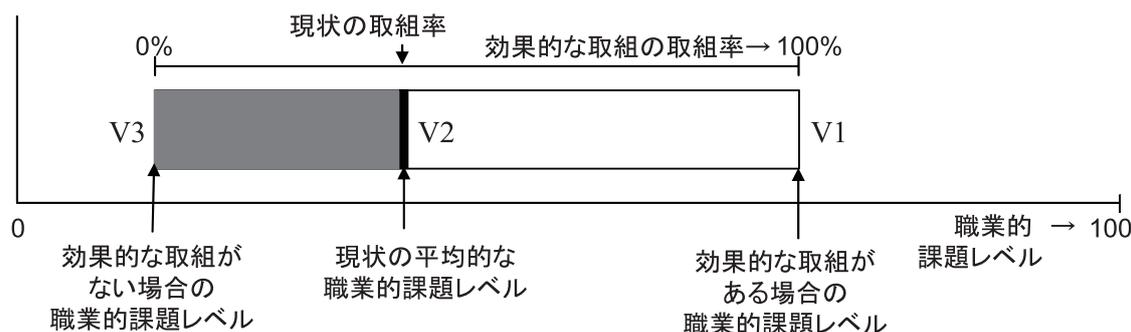


図 効果的取組の取組状況によって変化する職業的課題の改善レベルについてのグラフ

このグラフ表現では、2つの尺度が同時に示されています。

- 第一の尺度は、職業的課題レベルの尺度です。問題発生率が多いほど職業的課題レベルは低くなります。尺度の0と100は標準化した尺度で、次の「イ」で説明します。灰色部分の左端の値(V3)は効果的取組がない場合の職業的課題レベルを示します。白色の右端の値(V1)は効果的取組がある場合の職業的課題レベルを示します。そして、灰色と白色の境の値(V2)は効果的取組の状況にかかわらない現在の平均的状況での職業的課題レベルを示します。
- 第二の尺度は、効果的取組の取組率の尺度です。これは、灰色部分と白色部分を合わせた横棒の全体を100%として、灰色部分の値が、効果的取組の現状の取組率を示すものです。

イ 職業的課題レベルの標準尺度

また、本データ集では、難病のある人の職業的課題の状況を、身体・知的・精神障害等のある人の状況と比較できるように、職業的課題レベルの尺度を標準化しています。

職業的課題レベルは、基本的には、各職業的課題について、問題のない人の割合として計算していますが、さらにそれを身体・知的・精神障害等のある人について得られたデータと比較できるように、様々な障害や取組状況での「問題なし」の状況のはらつきを基準として、0 から 100 までの標準尺度を作成しています。

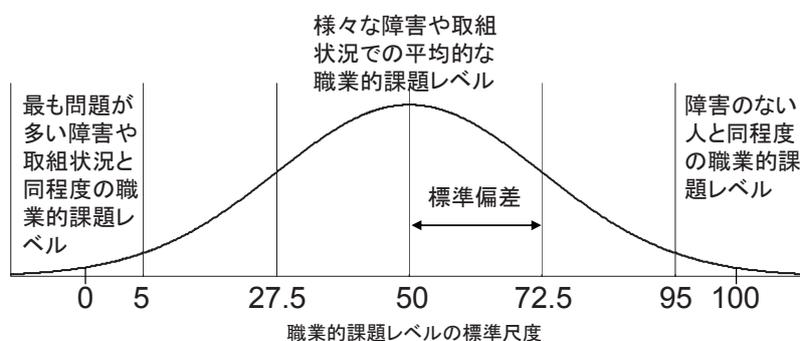


図 . 本研究における職業的課題レベルの標準化尺度の概念図

なお、標準尺度は、巻末の変換表（117 ページ）によって、職業的課題別の「問題なし」の比率に換算することができます。

(3) 報告書本文との対応

本データ集で示している、効果的取組の内容は、報告書の第 7 章の表 7-2-1 (p.138) おいて、就職後の効果的取組として要約してまとめられているものを詳細に示しているものです。

報告書においては要約して示されている、個別の職業的課題と効果的取組の関係が、本データ集では、詳細に示されています。

2 本データ集の構成と読み方

本データ集では、「20 疾患について、それぞれ各疾患についての必要な医学的情報」「効果的な取組による就職後の課題改善の状況」「就労している職種」をまとめています。最初の 8 つの疾患では、障害者手帳の有無別のまとめとなっています。

(1) 各疾患についての必要な医学的情報

難病は多種多様であり、就労についての検討には、本人や主治医等から話を聞いて、個別的な状況を踏まえる必要があります。しかし、難病のある人の就労可能性や就労支援の必要性を一般的に理解するために、一定の医学的情報は有益と考えられます。

各疾患の第 1 ページ目には次のような、職業に影響する可能性のある症状等の状況についてまとめています。

ア 医学的特徴

病名では、各疾患の特徴は分からず、誤解されることがすらあるため、それを簡単に紹介しています。詳しい情報については、難病情報センターから調べることができます。

イ 医師の就労への見解

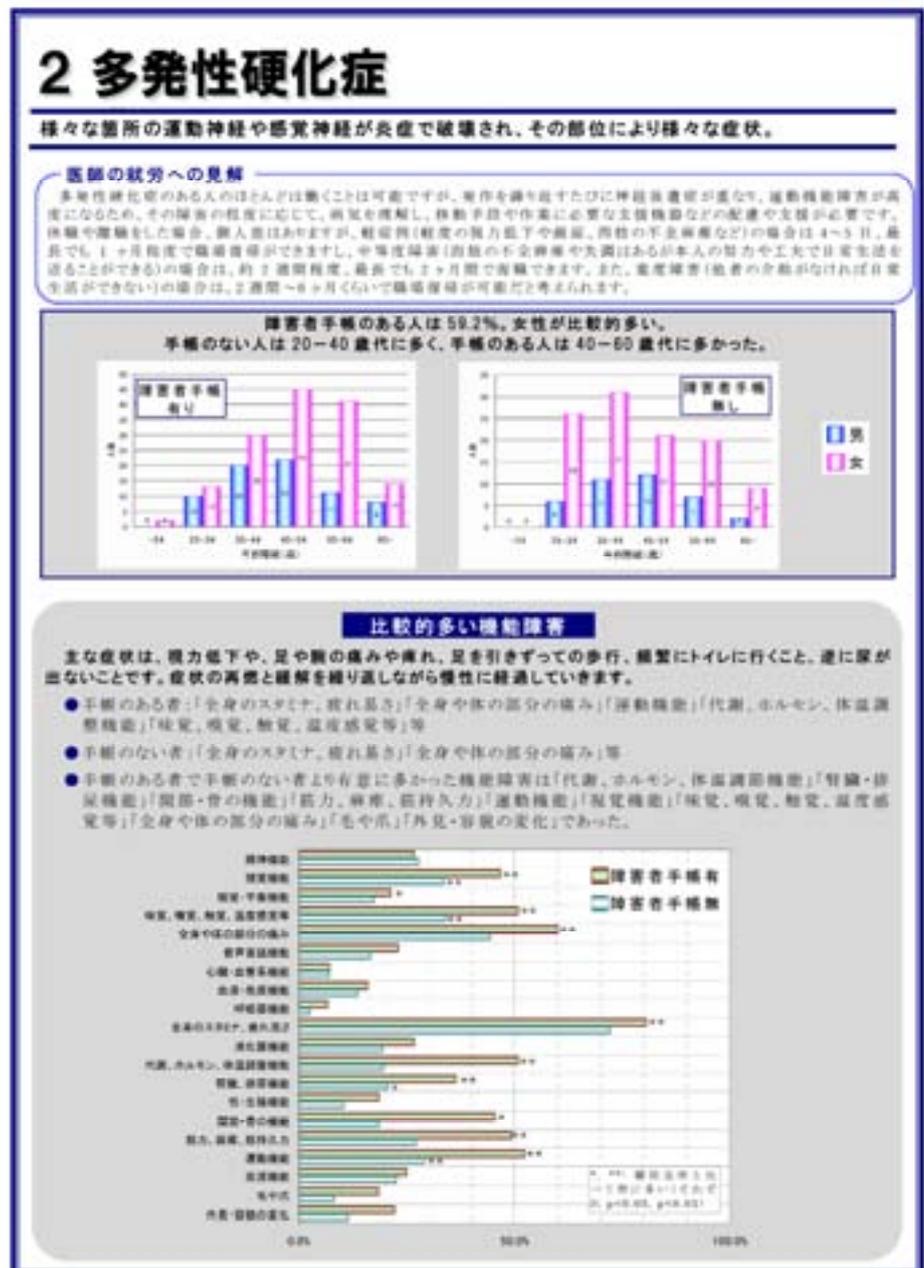
難病雇用管理調査・研究会の専門医調査の結果から、就労についての見解を要約しています。

ウ 性・年齢の特徴

この疾患の患者の性・年齢構成の特徴を、障害者手帳の有無別に示しています。

エ 機能障害の特徴

この疾患のある人への調査で、機能障害について「ある」と答えた人の割合を示しています。



(2)効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

各疾患における、就職後の職業的課題に対する効果的な取組について、端的にまとめて示しています。

具体的には、各疾患について、職業的課題の状況に大きな影響（取組の有無による問題状況の差が大きい、多くの職業的課題に影響する）のある、効果的な取組を示しています。また、具体的に、その取組による職業的課題の状況への影響を示しています。

また、各取組の具体的な内容を理解しやすくするために、該当する疾患の人の、自由記述を抜粋して紹介しています。

2-1 多発性硬化症(障害者手帳あり)

①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

多発性硬化症(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「短時間勤務」「在宅勤務」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、移動、歩行、休憩等の多くの課題が改善されていた。

短時間勤務(現状の取組率:30.1%)

- ◆以前は具合が悪くなって2ヶ月休み、クビになった。現在、特別採用として短時間勤務の配慮をいただきました。
- ◆勤務時間を短くすることは、産れやすい自分としては非常にありがたい。週3~4日の勤務でも良い。

この取組により改善される職業的課題

歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所等)、などの
精神的ストレスに適切に対処すること
様々な場所をあらゆる移動すること(車椅子を含む)
危険のある事故や状況に適切に対処すること
乗り物の操作・運転(自動車、フォーカ/フトなど)
仕事で要求されている責任に十分に応えること
仕事中に適度に休憩して効率を下げないようにすること
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと
仕事に必要な技能を習得すること
遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること
問題解決や判断を行うこと
数を数えたり、計算すること
決められた通院を行うこと

| ←最大の問題状況 最小の問題状況 → |

在宅勤務(現状の取組率:18.9%)

- ◆インターネットなどを活用して、在宅で勤務出来る仕事(部署)があればと思った。
- ◆自営業なので、自分に合った仕事の形を整えて、仕事をしております。社会が家族に感謝をしつつ、マイペースに前向き、歩けたらと常々思っております。できる事、できない事を自覚しつつ、自分自身のために！

この取組により改善される職業的課題

仕事上で人と応対すること
精神的ストレスに適切に対処すること
同僚、上司、顧客等に対して自分の意思を伝えること
文章を書くこと
勤務時間外の生活(住居、買い物など)を行うこと
職務として決められた課題を達成すること
仕事中に適度に休憩し効率を下げないようにすること
手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
仕事で要求されている責任に十分に応えること

通院への配慮(現状の取組率:54.2%)

(一体的な取組:「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(39.6%)」)

- ◆長く歩けないので、移動手段にタクシー利用OK、病院・通院の時は休んでいる。
- ◆通院に対する理解、障害者に対する理解は得られても、難病に対する理解はまるでないと感じています。特に通院に関しては、必ず必要なのですから、年休とは別に考慮してほしいです。
- ◆通勤時間・勤務時間内の通院等の配慮。
- ◆通院日は、必要だと思う。

この取組により改善される職業的課題

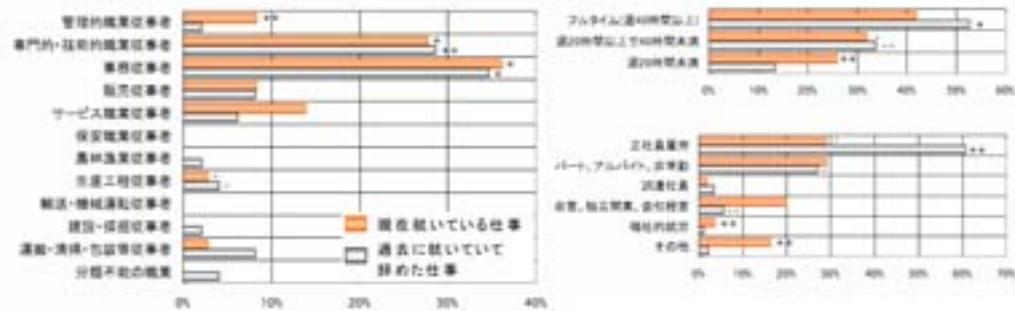
歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所等)、などの
精神的ストレスに適切に対処すること
様々な場所をあらゆる移動すること(車椅子を含む)
危険のある事故や状況に適切に対処すること
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
仕事上で人と応対すること
同僚、上司、顧客等に対して自分の意思を伝えること

(3)就労している職業

難病のある人の幅広い職域の可能性について理解しやすくするために、実際に、当該疾患のある人たちが就労している職業、就業形態、就業時間を示しています。

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」26.1%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」48.7%であり、合わせると74.9%が病気をもちながらの就労経験があった。
同性同年齢と比較すると管理的職業、専門・技術職、事務職に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。福祉的就労が比較的多く、正社員雇用が比較的少なかった。同性同年齢と比較すると週20時間未満の仕事がやや多かった。



(注: **):平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて割合が多い(それぞれ p<0.05, p<0.01)。-:同少ない。

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(19.4%)

- 元研究所、研究員。病状悪化で車イス、通動できなくなり在宅。今は大学に週一通学で研究継続 (男 50歳代)
- 正社員でない社員。機械設計 (男 50歳代)
- 会社のLAN運用管理 (男 30歳代)
- 病院の総合案内で看護相談、病診の連携(元看護師)(女 40歳代)
- 病院勤務 (男 50歳代)
- 作業療法士 (女 30歳代)
- 介護保険の住宅改修意見書の作成・コーディネーター、福祉用具(車イス等)の処方箋の作成・アドバイス (男 40歳代)

【様々な事務従事者】(19.4%)

- 地方公務員(主に文書作成、印刷、複写のワーク)(男 40歳代)
- 事務職 (男 30歳代)
- 銀行員 (女 40歳代)
- 外資系製薬会社(内勤の営業サポート業務)(女 20歳代)
- 協会の中でのインターンシップ推進員 (男 50歳代)
- コンピュータシステムへのデータ作成入力作業 (女 40歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(13.9%)

- データ入力、図表作成 (女 40歳代)
- 端末を使用しデータ作成・入力 (女 40歳代)
- 一般事務、PCを用いた契約・解約のデータ入力、契約書整理 (男 30歳代)
- 大手スーパーマーケットのシステム室(パソコン操作など)(女 40歳代)
- 入力オペレーター 印刷用データ作成、テープ起こし業務 (女 30歳代)

【サービス職業従事者】(13.9%)

- ご老人、病人の方の日常生活における簡単な手助け (女 40歳代)
- ホームヘルパー (女 60歳代)
- 知的障害者や身体障害者の食事介助や移動等の介助員 (男 30歳代)
- クリーニング取次業 (女 50歳代)
- 喫茶店でのランチ時間接客 (女 40歳代)

【管理的職業従事者】(8.3%)

- 製造系の会社役員 (男 50歳代)
- 会社役員(営業から総務関係全般担当に異動) (男 50歳代)
- 経理・事務処理・客へのお茶出し他(自営) (女 50歳代)

【医師、歯科医師、獣医師、薬剤師】(8.3%)

- 歯科医師 (男 40歳代)
- 薬剤師(総括製造販売責任者)(女 50歳代)
- 薬剤師(調剤薬局、処方枚数は少ない所)(女 40歳代)

【販売従事者】(5.6%)

- 写真館経営 (男 40歳代)
- 投資関係(株やFX)(男 50歳代)

【運輸・清掃・包装等従事者】(2.8%)

- 半導体の包装出荷 (30歳代)

3 疾患別のデータ集

データ集は次の 20 疾患について示しています。なお、1～8については、障害認定を受けている人と受けていない人のデータ数が十分に得られ、それぞれの場合で職業的課題や効果的取組が異なるため、それぞれについてのデータを示しています。

1. ベーチェット病
2. 多発性硬化症
3. 重症筋無力症
4. 全身性エリテマトーデス
5. 強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎
6. 潰瘍性大腸炎
7. クローン病
8. モヤモヤ病
9. 網膜色素変性症
10. パーキンソン病
11. 脊髄小脳変性症
12. 後縦靭帯骨化症(OPLL)
13. 混合性結合組織病
14. 大動脈炎症候群
15. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)
16. 再生不良性貧血
17. サルコイドーシス
18. 神経線維腫症Ⅰ型(レックリングハウゼン病)
19. 原発性免疫不全症候群
20. インスリン依存型糖尿病(IDDM)

併用して活用できる情報源

本データ集では、難病のある人の職業的課題の状況と様々な取組の関係についての調査によるデータを示しています。取組内容についてのより具体的な説明や、疾患についてのより詳しい説明については、既に活用できる情報源がありますので、併用してご活用下さい。

・「難病のある人の雇用管理・就業支援ガイドライン」(難病の雇用管理のための調査・研究会、2007)

疾患別の雇用管理の具体的な内容について、詳細に説明されています。<http://www.nivr.jeed.go.jp/research/report/nanbyou.html>

・難病情報センター

各疾患について、最新情報が詳細に説明されています。また、関連情報も豊富にまとめられています。

<http://www.nanbyou.or.jp/>

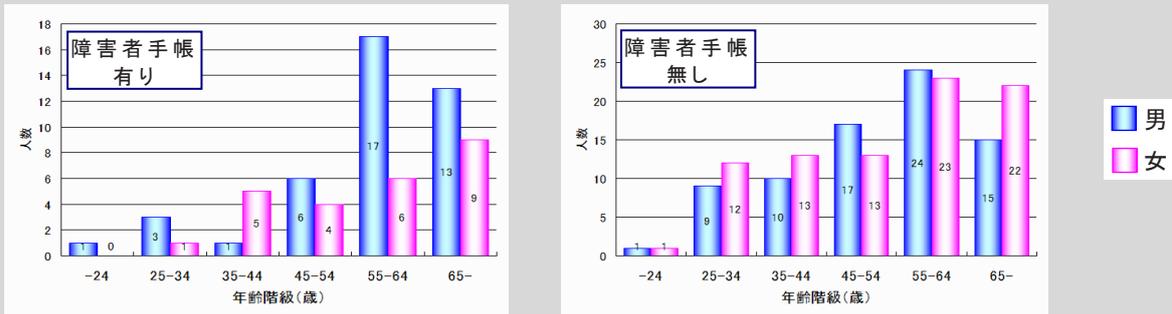
1 ベーチェット病

①口腔粘膜のアフタ性潰瘍、②皮疹、③目のぶどう膜炎、④外陰部の潰瘍を主症状とする全身性炎症疾患。副症状として関節炎等。

医師の就労への見解

発病時には、検査や治療の為に2週間ほどの欠勤や休職を必要とするもありますが、その後、ほとんどの人たちが通院しながら働けるとしています。軽症例では、決められた通院ができて、ストレスや過重労働を避けることができれば概ね就労は可能ですし、中等・重症例でも、無理のない、特に視力障害に配慮した職場で、技能訓練などを行い、スキルを高めることで、就労は継続できるでしょう。

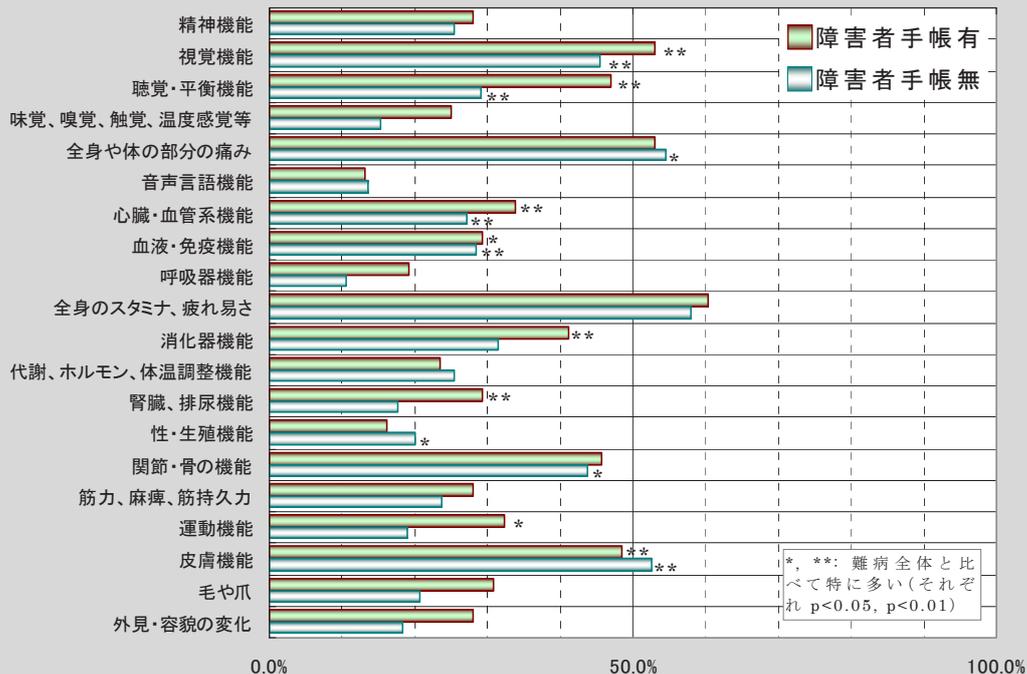
障害者手帳のある人は28.7%。男女差はあまりなく、年齢が高いほど多く50歳代にピークがあった。手帳のある人は50歳代以降で男性が多い傾向がみられた。



比較的多い機能障害

ベーチェット病には、①舌や唇の境界に繰り返してできる鮮明な丸く浅い潰瘍(アフタ性潰瘍)、②眼球を包むぶどう膜炎の炎症、③皮膚の湿疹、④外陰部の潰瘍、の4つの代表的な症状があります。

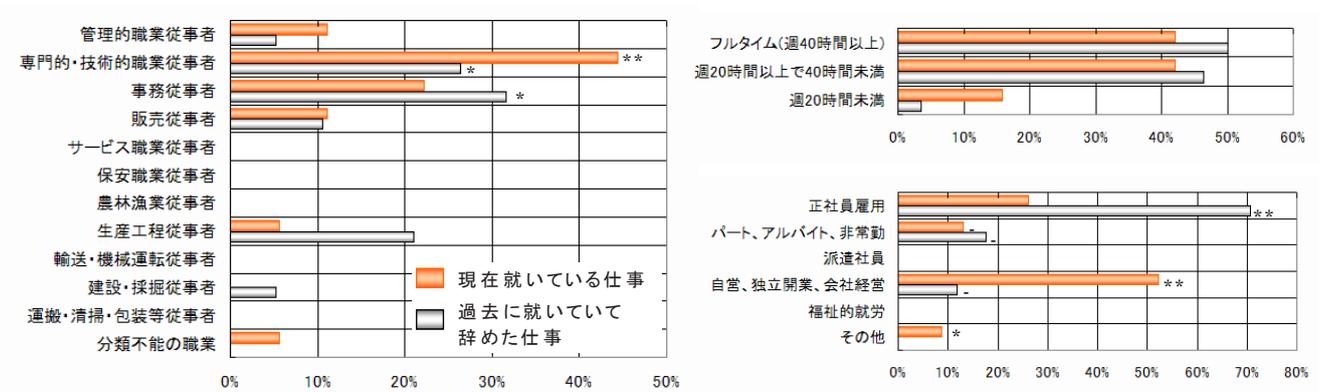
- 手帳のある者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「視覚機能」等
- 手帳のない者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「聴覚・平衡機能」「運動機能」「腎臓・排尿機能」であった。



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」36.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」57.6%であり、合わせると93.9%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職に就いている人が多かった。また、自営や独立開業が多く、パート等は少なかった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成 21 年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$). -, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師】(38.9%)

- 針灸治療院経営 (50 歳代)
- 鍼灸業 (男 60 歳代)
- 針・灸・マッサージ業 (男 50 歳代、60 歳代)
- マッサージ業 (男 70 歳代)
- 医療・マッサージ (男 60 歳代)

【一般事務従事者】(16.7%)

- 視覚障害者に対する点訳、音訳等の情報の提供。音声パソコン、点字等の講習。朗読の講習会の企画 (男 50 歳代)
- 市立総合病院の医療事務 (女 30 歳代)
- 保検会社でサポートスタッフ。会議室の設営、パソコン操作 (男 40 歳代)

【管理的職業従事者】(11.1%)

- 建設業。代表取締役 (男 60 歳代)
- 身体障害者自立支援センター事務局長 (男 40 歳代)

【販売従事者】(11.1%)

- ガソリンスタンド(セルフ)、業務は主にキャッシャー(レジ)(男 20 歳代)
- 保険業務のサポートスタッフ (男 40 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(5.6%)

- 宗教関係の布教伝道者 (男 50 歳代)

【様々な事務従事者】(5.6%)

- 生産管理・業務 (男 30 歳代)

【生産工程従事者】(5.6%)

- 皮革製造業 (男 60 歳代)

1-2 ベーチェット病(障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

ベーチェット病(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「勤務時間帯の変更」「トイレ、休憩所、食堂等の施設改善」等が効果的な取組であり、それによって、休憩、仕事の安定継続、通院等の多くの課題が改善されていた。

勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等)(現状の取組率:14.8%)

(一體的な取組:「作業マニュアルや研修用テキスト(本人が使えるもの)(14.2%)」「本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(16.8%)」「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(26.3%)」)

- ◆夏から秋に日の沈む時間の帰宅は、大変苦痛で眼が開けられない程。フレックスで1時間~30分早く帰れば車も少ないし日はまぶしくない。
- ◆自営なので自分で配慮していくことである。
- ◆現在の仕事はオーバーワークで、もう一人社員を増やして欲しい旨、訴えても中々人員を増やす事をしてくれない。
- ◆交代制で週に1回、早朝出勤(4:00~12:30)があるのですが、会社に病気の特性等を説明したところ理解いただき、今現在早出出勤は免除されています。(会社には年に1度、主治医による現在の病状の説明書を提出しています)

この取組により改善される職業的課題



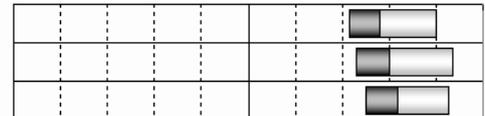
仕事に適度に休憩して能率を下げないようにすること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
立った姿勢で仕事をする事										
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持										

←最大の問題状況 最小の問題状況→

トイレ、休憩所、食堂等の施設改善(現状の取組率:31.1%)

この取組により改善される職業的課題

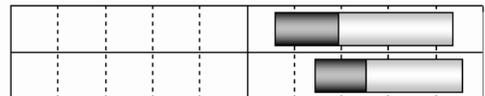
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
文章を書くこと
書類、本、説明書等を読むこと



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:26.3%)

この取組により改善される職業的課題

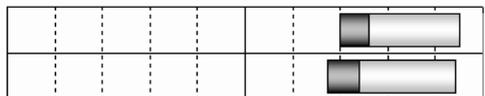
決められた通院を行うこと
食事や休養の健康管理をすること



上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:18.0%)

この取組により改善される職業的課題

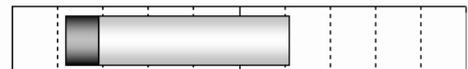
適当な報酬を得ること
仕事に適度に休憩して能率を下げないようにすること



ハローワークの一般求職窓口への就労相談(現状の取組率:12.2%)

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明



偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発(現状の取組率:14.0%)

※フルタイム(約8時間)の労働を行うことに効果的

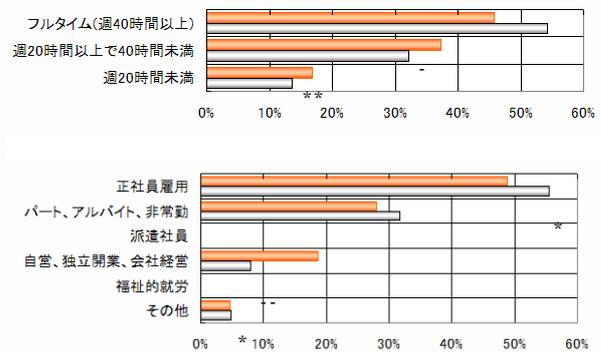
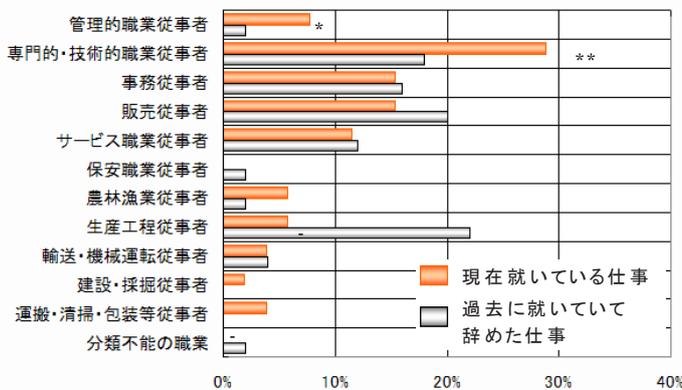
作業マニュアルや研修用テキスト(本人が使えるもの)(現状の取組率:14.2%)

※病気や障害の職場への説明に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」51.5%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」44.9%であり、合わせると96.4%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職や管理的職業に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$). -, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(22.0%)

- 水門(ゲート)の設計、開発 (男 50 歳代)
- システム運用開発(コンピュータ) (男 40 歳代)
- ホームページ制作や小規模なデータベースシステムの構築 (女 30 歳代)
- 専門職(看護師)。外来診療業務 (女 50 歳代)
- 市町村の保健師 (女 20 歳代)
- 臨床検査技師 (女 40 歳代)
- 福祉事業協会で少年指導員。月に2~3回泊まりの仕事 (女 30 歳代)
- 公立幼稚園で障害児介助 (女 20 歳代)
- 税理士 (男 70 歳代)
- フリーの翻訳者 (男 30 歳代)
- 現場作業に対する計画・管理 (男 40 歳代)

【様々な事務従事者】(10.0%)

- 会社総務、人事部門 (男 40 歳代)
- 伝票、電話、来客対応、書類等の作成、イベント等の準備・接客・銀行等の外回り (女 40 歳代)
- 自営の手伝い(庶務・会計)(女 50 歳代)
- 銀行 (男 40 歳代)
- 集金・清掃・電話取次 (女 50 歳代)

【販売店員】(10.0%)

- 実家の店の販売員 (女 50 歳代)
- 園芸店で販売、花のメンテナンス (女 30 歳代)
- スーパーでの接客・販売等 (男 40 歳代)
- 福祉用品の営業・販売 (30 歳代)
- 本の仕入、返品、文具の仕入、販売 (50 歳代)

【管理的職業従事者】(8.0%)

- 大手商社を18才~60才まで勤務、現在は子会社の社長として勤務(男 60 歳代)
- 農業団体 役員(非常勤)(男 60 歳代)
- 会社経営(建設業)(男 50 歳代)
- 自動車の販売と契約の経営者 (男 60 歳代)

【その他の専門的職業従事者】(8.0%)

- 塾講師 (男 40 歳代)
- 輸出梱包に伴う通関業務 (女 50 歳代)
- 行政書士 (男 40 歳代)

【一般事務従事者】(6.0%)

- 主にデスクワーク(パソコン使用)(男 30 歳代)
- 会社の経理・人事(求人面接等)(男 50 歳代)
- 事務職、たまに労務の仕事 (男 30 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(6.0%)

- レストランのホール係 (女 30 歳代)
- ホテルの接客 (女 50 歳代)
- マンションの管理事務、清掃。コーヒー豆及び器具等の販売 (女 60 歳代)

【介護サービス職業従事者】(6.0%)

- ホームヘルパー (女 40 歳代)
- 派遣ヘルパー (女 40 歳代)
- 訪問介護(ホームヘルパー)(女 40 歳代)

【農業従事者】(6.0%)

- 稲作り (男 40 歳代)
- 野菜、花の苗の育成・販売 (男 20 歳代)
- 植樹、剪定、草刈等 (男 50 歳代)

【生産工程従事者】(6.0%)

- 車のエンジン部品の加工 (女 30 歳代)
- 航空機への電力等の動力源供給、設備の保守・点検 (男 20 歳代)
- アパレル会社にてパタンナー (女 20 歳代)

【様々な販売従事者】(4.0%)

- ギフト関係の仕事(仕入れ~配達)(男 60 歳代)
- 印刷物の納品や集金など (女 20 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(4.0%)

- 個人タクシー (男 50 歳代)
- 建物設備管理 (男 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(2.0%)

- 内装仕上工 クロス貼り、床貼 (男 30 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(2.0%)

- 紳士服地のカット、入出荷、管理 (男 50 歳代)

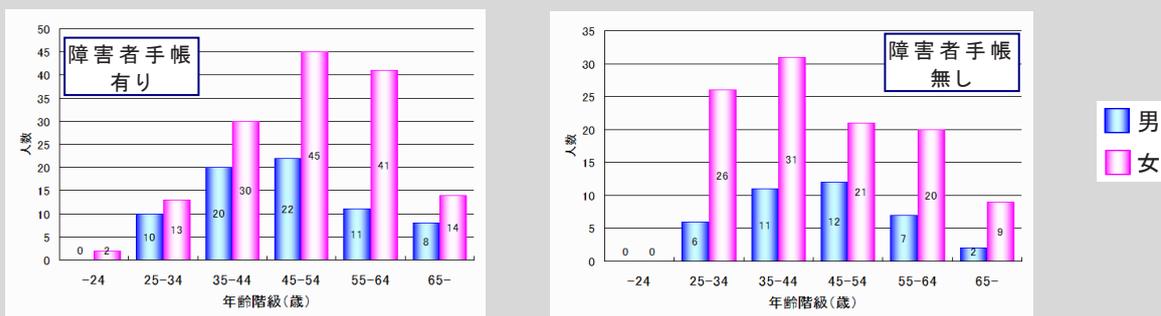
2 多発性硬化症

様々な箇所の運動神経や感覚神経が炎症で破壊され、その部位により様々な症状。

医師の就労への見解

多発性硬化症のある人のほとんどは働くことは可能ですが、発作を繰り返すたびに神経後遺症が重なり、運動機能障害が高度になるため、その障害の程度に応じて、病気を理解し、移手段や作業に必要な支援機器などの配慮や支援が必要です。休職や離職をした場合、個人差はありますが、軽症例（軽度の視力低下や顔面、四肢の不全麻痺など）の場合は4～5日、最長でも1ヶ月程度で職場復帰ができますし、中等度障害（四肢の不全麻痺や失調はあるが本人の努力や工夫で日常生活を送ることができる）の場合は、約2週間程度、最長でも2ヶ月間で復職できます。また、重度障害（他者の介助がなければ日常生活ができない）の場合は、2週間～6ヶ月くらいで職場復帰が可能だと考えられます。

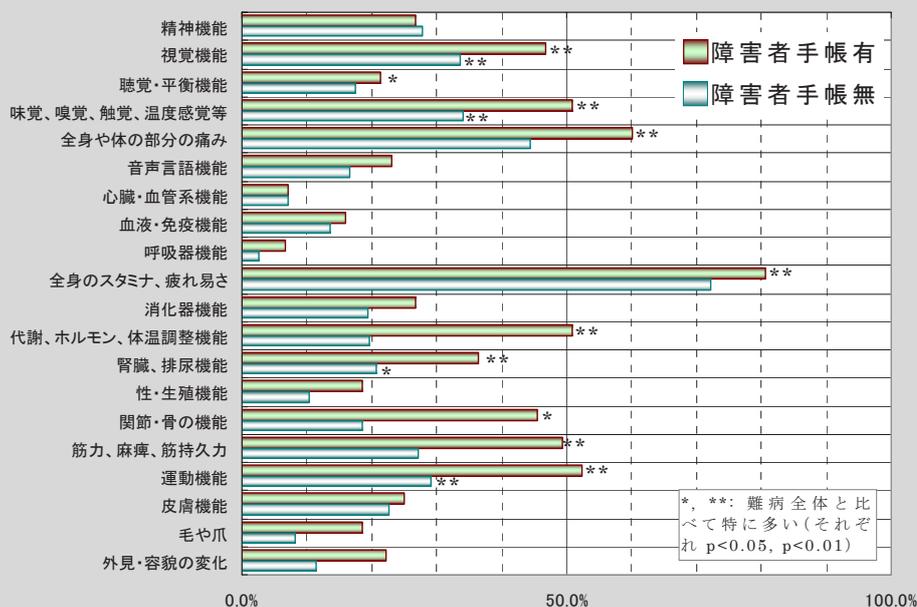
障害者手帳のある人は59.2%。女性が比較的多い。
手帳のない人は20～40歳代に多く、手帳のある人は40～60歳代に多かった。



比較的多い機能障害

主な症状は、視力低下や、足や腕の痛みや痺れ、足を引きずっての歩行、頻繁にトイレに行くこと、逆に尿が出ないことです。症状の再燃と緩解を繰り返しながら慢性に経過していきます。

- 手帳のある者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「運動機能」「代謝、ホルモン、体温調整機能」「味覚、嗅覚、触覚、温度感覚等」等
- 手帳のない者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「代謝、ホルモン、体温調節機能」「腎臓・排尿機能」「関節・骨の機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「運動機能」「視覚機能」「味覚、嗅覚、触覚、温度感覚等」「全身や体の部分の痛み」「毛や爪」「外見・容貌の変化」であった。



2-1 多発性硬化症(障害者手帳あり)

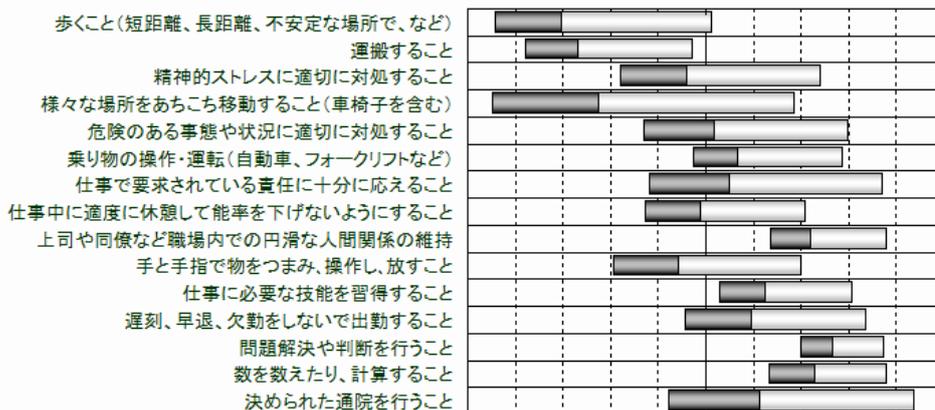
① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

多発性硬化症(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「短時間勤務」「在宅勤務」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、移動、歩行、休憩等の多くの課題が改善されていた。

短時間勤務(現状の取組率:30.1%)

- ◆以前は具合が悪くなって2ヶ月休み、クビになった。現在、特別採用として短時間勤務の配慮をいただきました。
- ◆勤務時間を短くすることは、疲れやすい自分としては非常にありがたい。週3~4日の勤務でも良い。

この取組により改善される職業的課題

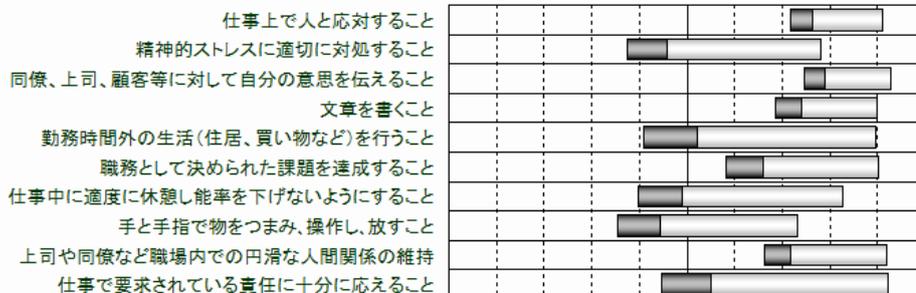


←最大の問題状況 最小の問題状況→

在宅勤務(現状の取組率:18.9%)

- ◆インターネットなどを活用して、在宅で勤務出来る仕事(部署)があればと思った。
- ◆自営業なので、自分に合った仕事の形を整えて、仕事をしております。社会か家族に感謝をしつつ、マイペースに前を向き、歩けたらと常々思っております。できる事、できない事を自覚しつつ、自分自身のために！！

この取組により改善される職業的課題

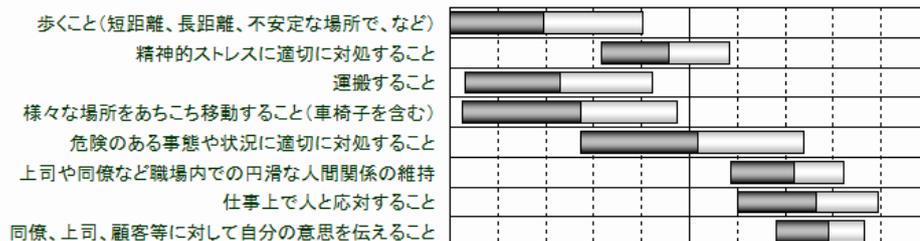


通院への配慮(現状の取組率:54.2%)

(一体的な取組:「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(39.0%)」)

- ◆長く歩けないので、移動手段にタクシー利用OK。病院・通院の時は休んでいる。
- ◆通院に対する理解。障害者に対する理解は得られても、難病に対する理解はまるでないと感じています。特に通院に関しては、必ず必要なのですから、年休とは別に考慮してほしいです。
- ◆通勤時間・勤務時間内の通院等の配慮。
- ◆通院日は、必要だと思う。

この取組により改善される職業的課題

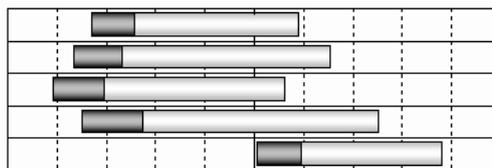


病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針（現状の取組率:19.8%）

（一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(46.6%)」)

この取組により改善される職業的課題

立った姿勢で仕事をする事
運搬すること
歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所等、など)
様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)
遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること



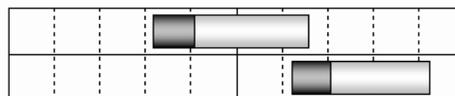
主治医、専門医等への就労相談（現状の取組率:22.7%）

（一体的な取組:「ソーシャルワーカー等への就労相談(13.8%)」)

- ◆主治医が就労可と判断し、職場の上司と直接話しをしてくれた。
- ◆主治医から、障害者手帳3級に相当するから、手続きをした方がいいと言われた。また、仕事は極力続けた方がいいとアドバイスを受けた。
- ◆その当時はまだひどい障害はなく疲れやすい程度だったので、休み方や家事の手の抜き方を教えてもらいました。

この取組により改善される職業的課題

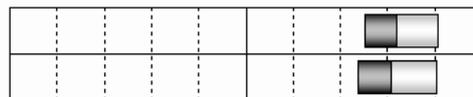
必要な配慮や支援等についての職場への説明
病気や障害についての職場への説明



勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮（現状の取組率:39.0%）

この取組により改善される職業的課題

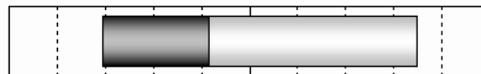
職場内で、会話や議論をすること
同僚、上司、顧客等の話や文書の内容を理解すること



偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発（現状の取組率:32.5%）

この取組により改善される職業的課題

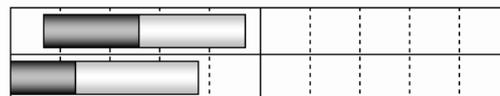
仕事を継続すること



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役（現状の取組率:46.6%）

この取組により改善される職業的課題

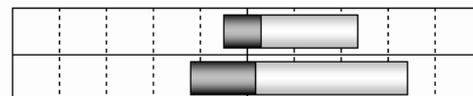
立った姿勢で仕事をする事
交通機関の利用(バス、電車、飛行機、タクシーなど)



職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備（現状の取組率:26.5%）

この取組により改善される職業的課題

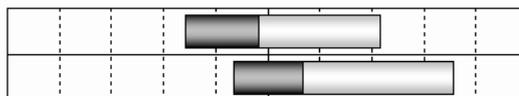
適当な報酬を得ること
危険のある事態や状況に適切に対処すること



勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等)（現状の取組率:30.7%）

この取組により改善される職業的課題

手と腕で物を動かしたり操作したりすること
乗り物の操作・運転(自動車、フォークリフトなど)

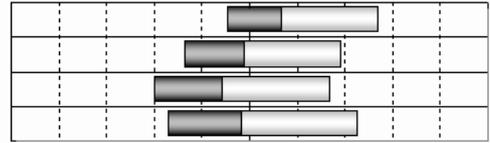


勤務中の休憩をとりやすくすること(現状の取組率:33.3%)

(一体的な取組:「勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等)(30.7%)」)

この取組により改善される職業的課題

乗り物の操作・運転(自動車、フォークリフトなど)
 仕事中に適度に休憩して能率を下げないようにすること
 手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと
 手と腕で物を動かしたり操作したりすること



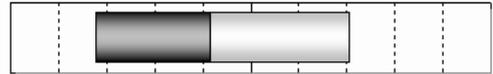
必要に応じた同僚等の作業補助(現状の取組率:40.0%)

(一体的な取組:「偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発(32.5%)」)

◆単純に人が足りないため、仕事量が多いので、増員が必要。

この取組により改善される職業的課題

仕事を継続すること

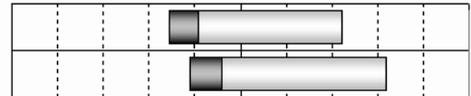


ソーシャルワーカー等への就労相談(現状の取組率:13.8%)

- ◆以前、入院していた病院のソーシャルワーカーの方に、「障害年金」の受給のし方について、大変丁寧・親切に教えていただきました。
- ◆ソーシャルワーカー:障害者に対する各種補助を教えてください。障害者雇用継続助成金制度(施設設置費用の2/3まで受給)も教えてください、会社側に連絡した。
- ◆入院中に病院のソーシャルワーカーに相談。現在も福祉等、困った時に相談。

この取組により改善される職業的課題

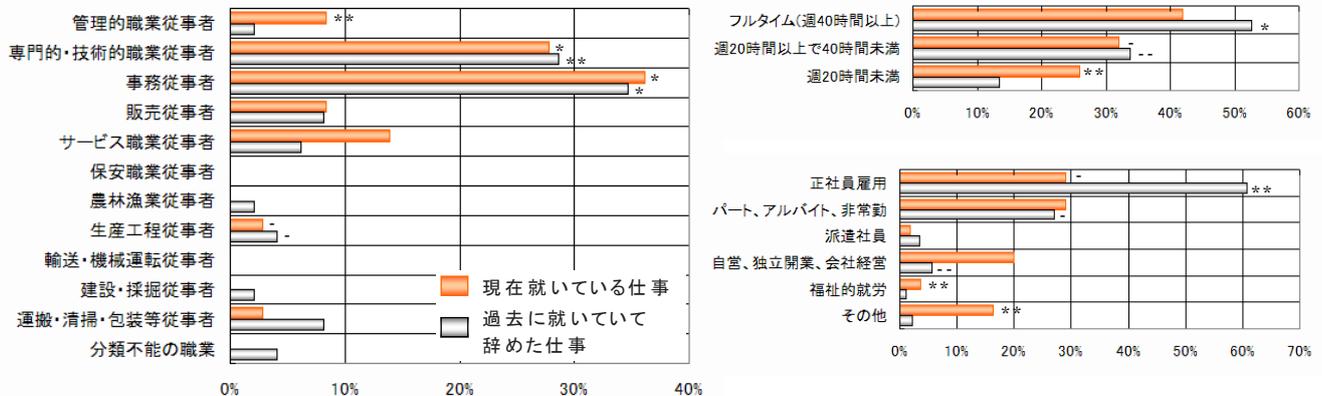
必要な配慮や支援等についての職場への説明
 精神的ストレスに適切に対処すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」26.1%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」48.7%であり、合わせると74.9%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると管理的職業、専門・技術職、事務職に就いている人が多く、生産工程従事が少なかった。福祉的就労が比較的多く、正社員雇用が比較的少なかった。同性同年齢と比較すると週20時間未満の仕事がやや多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$). -, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(19.4%)

- 元研究所、研究員。病状悪化で車イス、通勤できなくなり在宅。今は大学に週一通学で研究継続(男 50 歳代)
- 正社員でない社員。機械設計(男 50 歳代)
- 会社のLAN運用管理(男 30 歳代)
- 病院の総合案内で看護相談、病診の連携(元看護師)(女 40 歳代)
- 病院勤務(男 50 歳代)
- 作業療法士(女 30 歳代)
- 介護保険の住宅改修意見書の作成・コーディネーター、福祉用具(車イス等)の処方箋の作成・アドバイス(男 40 歳代)

【様々な事務従事者】(19.4%)

- 地方公務員(主に文書作成、印刷、複写のワーク)(男 40 歳代)
- 事務職(男 30 歳代)
- 銀行員(女 40 歳代)
- 外資系製薬会社(内勤の営業サポート業務)(女 20 歳代)
- 協会の中でのインターンシップ推進員(男 50 歳代)
- コンピュータシステムへのデータ作成入力作業(女 40 歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(13.9%)

- データ入力、図表作成(女 40 歳代)
- 端末を使用しデータ作成・入力(女 40 歳代)
- 一般事務、PCを用いた契約・解約のデータ入力、契約書整理(男 30 歳代)
- 大手スーパーマーケットのシステム室(パソコン操作など)(女 40 歳代)
- 入力オペレーター 印刷用データ作成、テープ起こし業務(女 30 歳代)

【サービス職業従事者】(13.9%)

- ご老人、病人の方の日常生活における簡単な手助け(女 40 歳代)
- ホームヘルパー(女 60 歳代)
- 知的障害者や身体障害者の食事介助や移動等の介助員(男 30 歳代)
- クリーニング取次業(女 50 歳代)
- 喫茶店でのランチ時間接客(女 40 歳代)

【管理的職業従事者】(8.3%)

- 製造系の会社役員(男 50 歳代)
- 会社役員(営業から総務関係全般担当に異動)(男 50 歳代)
- 経理・事務処理・客へのお茶出し他(自営)(女 50 歳代)

【医師、歯科医師、獣医師、薬剤師】(8.3%)

- 歯科医師(男 40 歳代)
- 薬剤師(総括製造販売責任者)(女 50 歳代)
- 薬剤師(調剤薬局、処方枚数は少ない所)(女 40 歳代)

【販売従事者】(5.6%)

- 写真館経営(男 40 歳代)
- 投資関係(株やFX)(男 50 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(2.8%)

- 半導体の包装出荷(30 歳代)

2-2 多発性硬化症(障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

多発性硬化症(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「勤務中の休憩をとりやすくすること」「職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備」等が効果的な取組であり、それによって、仕事で要求される責任、職務の達成、運搬、就業継続等の多くの課題が改善されていた。

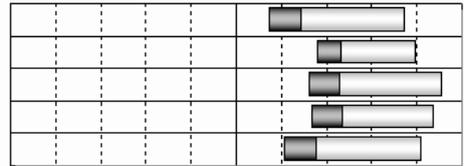
勤務中の休憩をとりやすくすること(現状の取組率:19.2%)

- ◆1日の休憩時間が、昼の40分間のみで、更にその時間の中で、お客様への連絡ノートの記入をしなくてはならず、休憩時間は実質30分未満な事に不満を感じている。
- ◆目を休め疲れないう休憩を取って良いと言われた。
- ◆勤務中の休憩がとりにくい。(労働時間が長く、車で移動を伴う仕事をしているが、つらい! デスクワーク中心の仕事に変わる事が必要と思われる)

この取組により改善される職業的課題



仕事で要求されている責任に十分に答えること
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
危険のある事態や状況に適切に対処すること
仕事に必要な技能を習得すること
職務として決められた課題を達成すること

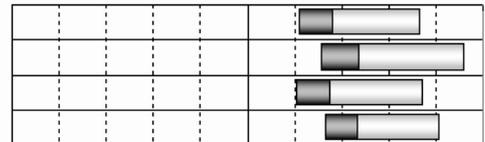


←最大の問題状況 最小の問題状況→

職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備(現状の取組率:21.7%)

この取組により改善される職業的課題

仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
適当な報酬を得ること
運搬すること
立った姿勢で仕事をする事



通院への配慮(現状の取組率:40.5%)

- ◆私の場合、神経の病なので色々な所に症状が出て、早く治療をしなければいけません。自分が行きたい時に病院に行けるような理解のある職場を望みます。
- ◆2ヶ月に一度通院していますので配慮が必要。
- ◆もし出来ることなら、通院できるように配慮して欲しい。

この取組により改善される職業的課題

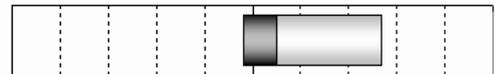
手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと
手と腕で物を動かしたり操作したりすること



職場内の移動の施設改善(手すり、通路、床面、案内など)(現状の取組率:21.6%)

この取組により改善される職業的課題

精神的ストレスに適切に対処すること

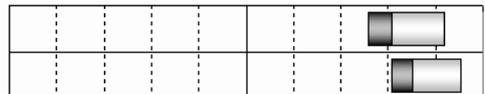


勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等)(現状の取組率:23.1%)

- ◆自分の職場はフレックス勤務であったので、通院で出社が遅れる場合に役立った。

この取組により改善される職業的課題

書類、本、説明書等を読むこと
同僚、上司、顧客等の話や文書の内容を理解すること

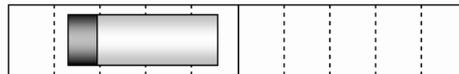


インターネット上の相談先への就労相談(現状の取組率:15.7%)

- ◆病気の状態が良く分かった。治らない病気だと落ち込まずに済んだ。
- ◆患者団体を医療従事者が知らないことが多い。友達の紹介でMSキャビン、インターネット上で友の会を知った。
- ◆MS友の会。

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明



能力的に無理のない仕事への配置(現状の取組率:23.7%)

- ◆残業や労働の密度が濃すぎる。
- ◆体が回復していないため、毎日フルタイムで働くことができない。体を少しずつならしていけばかなり可能になると思うのだが、正社員でないため(派遣)それができない。
- ◆無理を避ける為、仕事は最近始めたものの単発・短時間を選んでいきます。
- ◆できるだけ短時間で重労働でない仕事に就くようにしている。
- ◆現在は派遣社員で別の会社に移り、仕事量も減りストレスも少なくなった。
- ◆職場の方にまずこの病気の事を理解して頂き、その上で仕事内容・時間帯を考慮していただけたらと思います。
- ◆最近1年は入院がありませんが、これまで年に100~120日の入院期間があり、就労が困難でした。福祉的な支援(ヘルパー・介助等)と勤務先の理解により、時間や勤務形態を配慮していただき、解決に結びつくことになりました。

この取組により改善される職業的課題

フルタイム(約8時間)の労働を行うこと

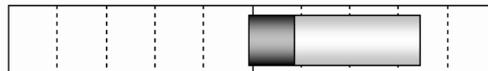


上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:21.2%)

- ◆自由な時間で勤務できた。細かい仕事は後輩がやってくれた。
- ◆以前の職場で病気によるいじめにあい、出血性胃潰瘍になった。上司になる人は病人への気遣いをしてほしかった。
- ◆人より疲れ易いという事を理解し、さぼっているという様に受け取られない事。
- ◆上司の理解。
- ◆多発性硬化症に対する理解があれば良いが、現在は多発性硬化症であることを話したことがない。

この取組により改善される職業的課題

遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること



短時間勤務(現状の取組率:19.1%)

- ◆座りの楽な事務的で責任のない仕事、1日4時間が限度と医師から指導有。
- ◆非常勤であり、6時間が理想的。

この取組により改善される職業的課題

仕事中に注意を集中すること



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:28.4%)

この取組により改善される職業的課題

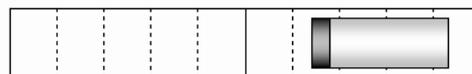
文章を書くこと



同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談(現状の取組率:9.1%)

この取組により改善される職業的課題

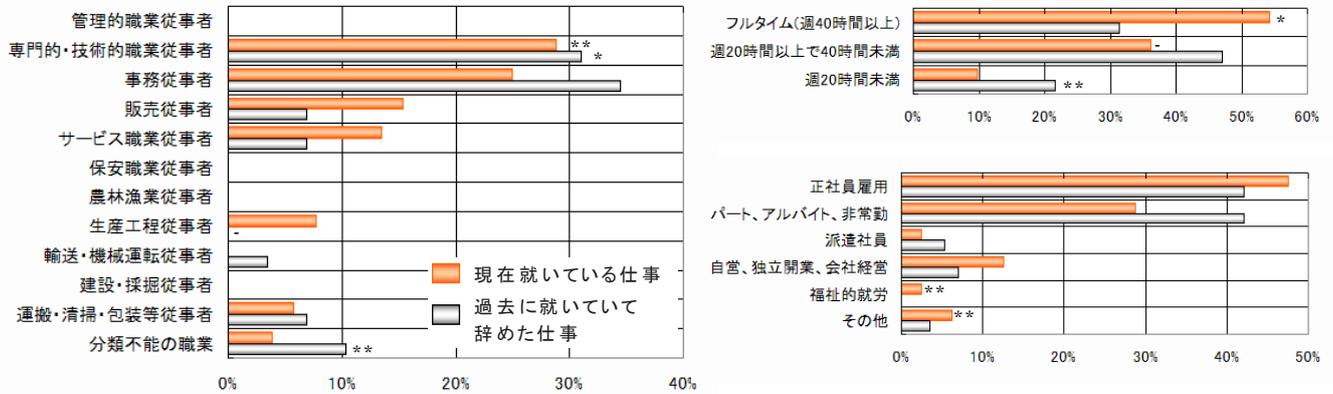
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」52.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」38.6%であり、合わせると91.0%が病気もちながらの就労経験があった。

(障害者手帳なし)多発性硬化症では、同性同年齢と比較すると専門・技術職に就いている人が多かった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*, **: 平成 21 年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, : 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(20.0%)

- 設計業務及び調整業務 (男 50 歳代)
- ソフトウェア技術者(設計・評価業務)(男 30 歳代)
- ソフトウェア技術者(マイクロコンピュータのソフトウェア開発)(男 30 歳代)
- 保育士(保育園)(女 20 歳代)
- ケアマネージャー (女 30 歳代)
- 公務員 特別支援学校教諭 (女 40 歳代)
- 記者 (女 40 歳代)
- テレフォンマーケティング(ライター及び編集、電話による営業)(女 40 歳代)
- 図書館司書(受付・貸出返却・書架整理など)(女 30 歳代)
- 音楽教室で鍵盤、歌の指導 (女 40 歳代)

【様々な事務従事者】(12.0%)

- 電話応対、コンサルティング (男)
- デスクワークがほとんどであるが、たまに車での移動があり体力的につらい (男 50 歳代)
- 経理関係(取引業者への支払関係)(女 50 歳代)
- 銀行本部事務 (女 30 歳代)
- 伝票書き、お客様の接待等(自営)(女 60 歳代)
- 営業マンの支援・事務 (男 40 歳代)

【一般事務従事者】(12.0%)

- 事務 (女 50 歳代)
- 商品の発注等 (女 40 歳代)
- 会計事務 (女 50 歳代)
- 主に事務。1日の体の状態が朝昼、その日によって違うのでとてもつらい (女 50 歳代)
- 特定非営利活動法人(小規模作業所)、障害者ITセンター(勤務地域の障害のある方の通所の受け入)(男 30 歳代)
- 大学教務事務 (女 30 歳代)

【様々な販売従事者】(10.0%)

- 帳簿の記入、雑用(自営)(女 50 歳代)
- 卸問屋 (女 60 歳代)
- 不動産賃貸業 (女 60 歳代)
- 情報機器販売(営業職)(女 30 歳代)
- 製造販売会社の営業・販売員 (男 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(8.0%)

- 訪問看護師 (女 40 歳代)
- 看護師 (女 30 歳代)
- 当直制の看護師、半日・遅出勤あり (女 30 歳代)
- 訪問看護業務、看護師 (女 40 歳代)

【生産工程従事者】(8.0%)

- 和裁師(自営)(女 60 歳代)

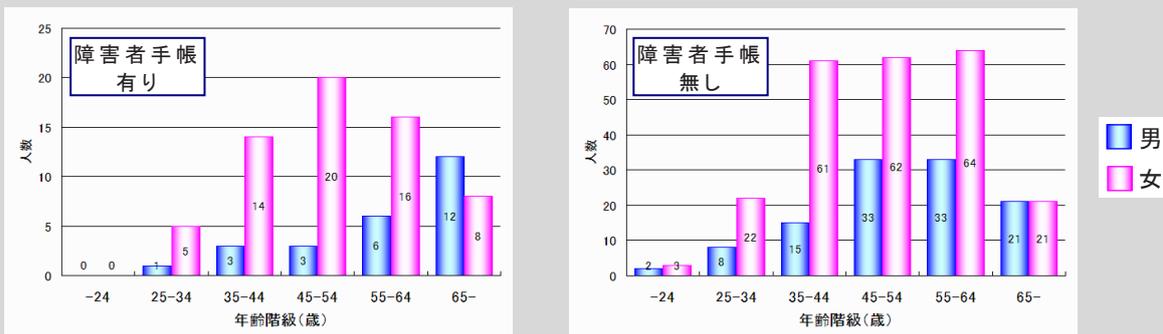
3 重症筋無力症

病名で誤解されやすいが、重症例は少なく、身体麻痺もない。進行性もない。日々の生活で筋肉が疲れやすいが、休憩で回復する。

医師の就労への見解

「眼筋型」「全身型」共に、軽症の場合は、重労働を避け、適宜休憩しながらの作業で就業継続は可能です。眼筋型の場合は、その障害の程度に応じて、運転や書類閲覧などの困難な作業を考慮した職場配置で就業は可能と考えます。また、全身型では筋持久力が低下しているため、短時間勤務等もよい働き方でしょう。呼吸筋麻痺など一部の重症例は、個別に専門医と相談する必要があります。

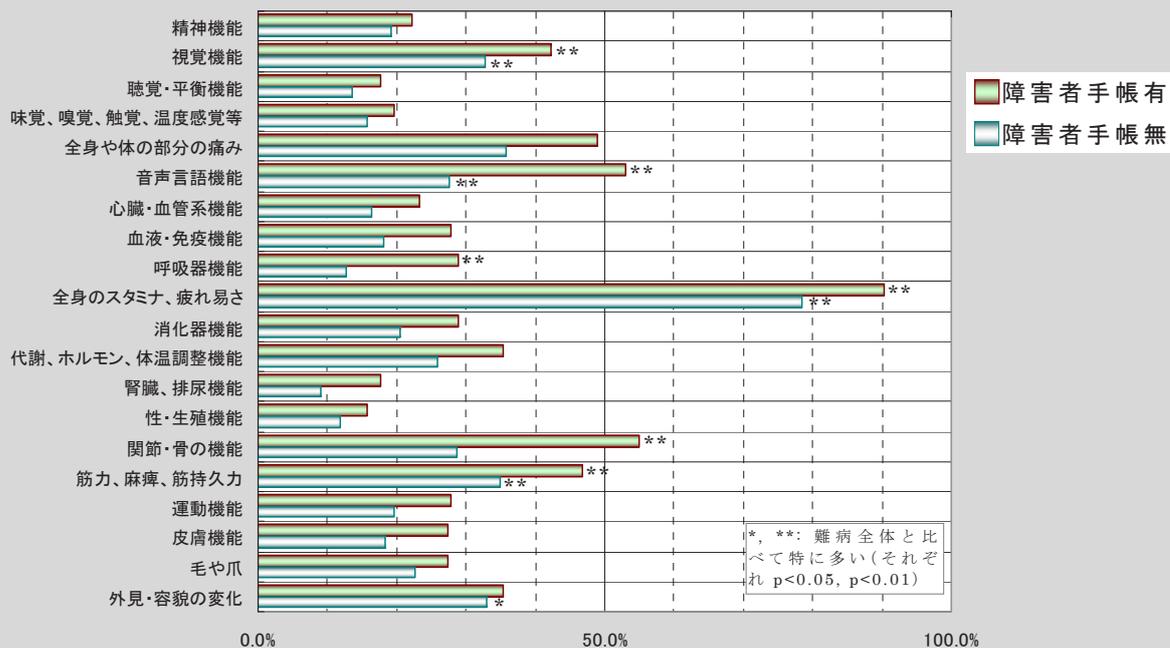
障害者手帳のある人は27.6%。女性が比較的多く、30-60歳代に幅広く多かった。



比較的多い機能障害

全身の筋力の低下や、疲れやすさ、特に眼瞼(まぶた)下垂、複視などの目の症状を起こします。まぶたが下がってしまうだけの症状の「眼筋型」、全身の症状のある「全身型」があります。現在では治療により約半数の人たちが発病以前の生活に戻ることができています。治療に反応しない場合は、嚥下や発語が困難になります。

- 手帳のある者: 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「関節・骨の機能」「音声言語機能」等
- 手帳のない者: 「全身のスタミナ、疲れ易さ」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「音声言語機能」「呼吸器機能」「関節・骨の機能」「腎臓・排尿機能」「血液・免疫機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「全身のスタミナ、疲れ易さ」であった。



3-1 重症筋無力症(障害者手帳あり)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

重症筋無力症(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「通院への配慮」「トイレ、休憩所、食堂等の施設改善」等が効果的な取組であり、それによって、移動、手先の操作、立ち仕事等の多くの課題が改善されていた。

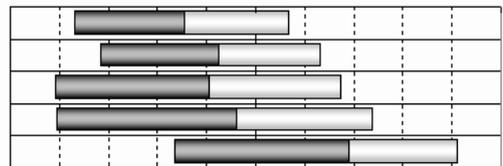
通院への配慮(現状の取組率:52.6%)

- ◆ 仕事中に診療を受けに行くことを快く了承してくれた。(体調が悪く、急ぎ受診することも多かった)

この取組により改善される職業的課題



立った姿勢で仕事をする事
歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)
様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)
手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと
決められた通院を行うこと



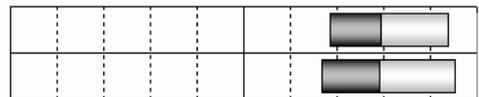
←最大の問題状況 最小の問題状況→

トイレ、休憩所、食堂等の施設改善(現状の取組率:34.0%)

- ◆ できれば数分でも横になれる休憩室(ソファー)があると助かります。
- ◆ 上肢・下肢が不自由なため、和式トイレで起立できず、補助具を利用したり、遠方の洋式トイレを利用した。

この取組により改善される職業的課題

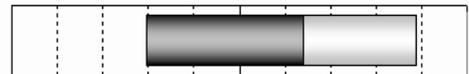
職場内で、会話や議論をすること
危険のある事態や状況に適切に対処すること



冷暖房、エアコン、空気清浄機など(現状の取組率:50.0%)

この取組により改善される職業的課題

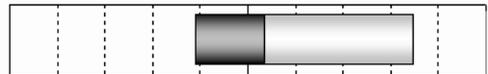
必要な配慮や支援等についての職場への説明



産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:25.5%)

この取組により改善される職業的課題

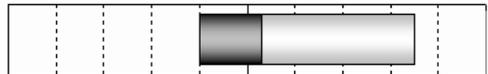
仕事中に適度に休憩して能率を下げないようにすること



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:24.1%)

この取組により改善される職業的課題

適当な報酬を得ること

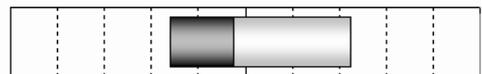


同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談(現状の取組率:25.6%)

- ◆ 全国筋無力症友の会。
- ◆ 入院、胸腺摘出手術後に難病連加入、同時に相談をする。
- ◆ 難病連での情報や相談会などで、いろいろな体験談を聞き、ビデオ等で病気の性質を理解し、対処法なども身に付けることができた。
- ◆ 同病者の情報には力づけられた。(団体には設立から関与してきた)

この取組により改善される職業的課題

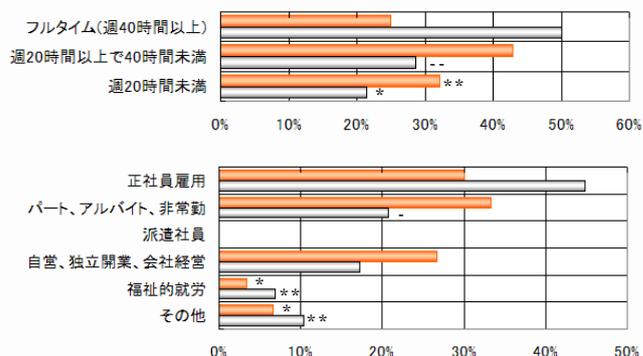
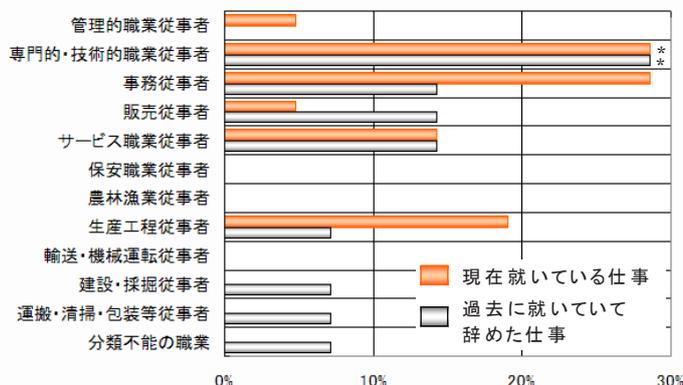
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」34.5%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」39.3%であり、合わせると73.8%が就労経験があった。

性別や年齢構成を踏まえると、一般の人と変わらない職種や働き方となっていた。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, **: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【専門的・技術的職業従事者】(26.3%)

- 保健師(市役所勤務)で外回り(家庭訪問や病院訪問など)もあり、デスクワークも、夜間や休日の仕事も有。だんだん仕事量を増加(女 40歳代)
- 看護師-療養型施設病棟勤務(女 50歳代)
- パートと自営を組み合わせ就業。パートで編集プロダクションの編集補助を、自営で文筆業(女 30歳代)
- 最初はアルバイトで数年後に正社員登用。仕事内容は、ネット販売の商品ページ作成など(女 30歳代)
- 自営→Webデザイナー(ほとんど収入はなし) パート→パソコンメンテナンス、Word、Excel業務、会報誌のデザインなど(女 30歳代)

【生産工程従事者】(21.1%)

- プレス加工(バイク部品自動車部品)(男 50歳代)
- 自動車用マフラーのチューブ加工(男 50歳代)
- 菓子製造販売、アパート管理者(自営)(男 70歳代)
- プレス加工(自動)が多いので、製品の検査・品質管理等(男 60歳代)

【様々な事務従事者】(15.8%)

- 事務(女 40歳代)
- 自宅で父の手伝(パソコン、電話の対応)・イラストを作成(女 30歳代)
- インターネットカフェにて勤務。HPの製作、お店の管理業務等(女 20歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(15.8%)

- PC事務、電話、窓口(女 40歳代)
- 主にパソコンでの作業(男 30歳代)
- コンピュータのデータ入力で、自営業者として仕事請負。各種ソフトの操作も含む(女 50歳代)

【サービス職業従事者】(10.5%)

- 知的障害グループホーム世話人(女 60歳代)
- クリーニングの集配業務(男 30歳代)

【管理的職業従事者】(5.3%)

- 経営全般の管理、時には営業活動。他にボランティア3つ(男 60歳代)

【販売従事者】(5.3%)

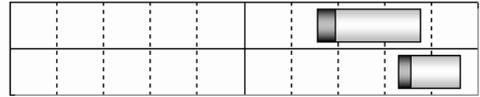
- 貸家業(男 60歳代)

コミュニケーションに時間をかける配慮(現状の取組率:16.2%)

- ◆何でも話せる明るい環境がありがたいです。
- ◆上司とのコミュニケーションの時間は必要。

この取組により改善される職業的課題

仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
仕事上で人と応対すること

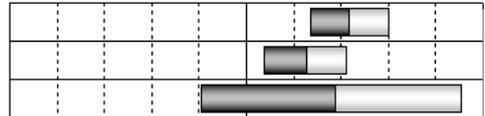


通院への配慮(現状の取組率:48.2%)

- ◆通院について配慮してもらった。
- ◆発病当初、通院への配慮がなかった。産業医と私と上長で話した。産業医の助言で、通院の配慮がされた。病気休暇についても、三者で話をし、主治医の診断書提出。口頭での申告で可能になった。
- ◆定期的に通院ができさえすれば問題なかったので、課題も特になかったと思います。
- ◆就労していたが発病したので休職し、その後復職した。通院は年次休暇をもらっている。
- ◆病院の通院も有給休暇を利用して、当てていたので、他の人は知らない。
- ◆急に症状が悪化した際の対応を考えて欲しい。早退や病欠、通院の為の休暇を取りやすい社風作りを望む。
- ◆通院時の休みを取得しやすくしてもらいたい。障害者手帳をもたない慢性疾患の為、病気を隠して就職すると休みをとりづらいのが、困る。
- ◆調子の悪い時は休みをとることができる。私の場合は、毎日の勤務及び重労働でなければ普通に働くことができる状態なので、とくに配慮はいらない。

この取組により改善される職業的課題

適当な報酬を得ること
仕事中に適度に休憩して能率を下げないようにすること
決められた通院を行うこと



冷暖房、エアコン、空気清浄機など(現状の取組率:36.0%)

- ◆小さな事務所ではばこを吸う人が多く、換気の悪いのが困っていた。

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明



勤務中の休憩をとりやすくすること(現状の取組率:21.9%)

この取組により改善される職業的課題

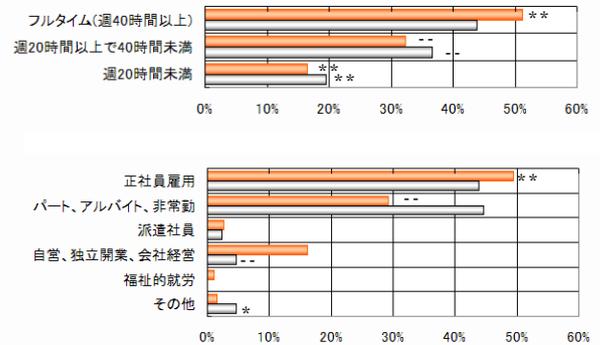
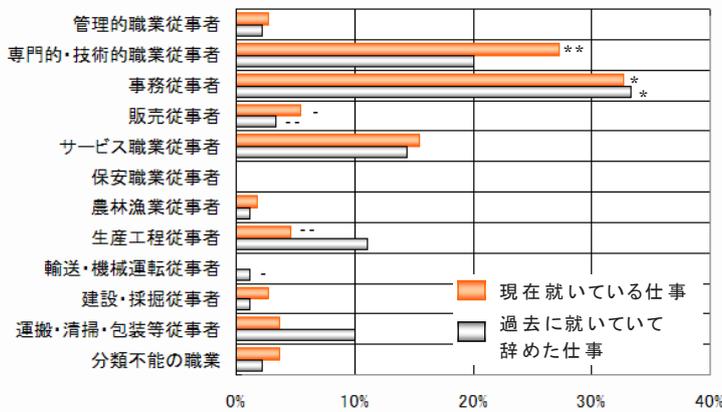
精神的ストレスに適切に対処すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」52.6%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」39.8%であり、合わせると92.4%が就労経験があった。

性年齢構成を考慮すると、一般よりも、専門的・技術的職業従事者が比較的多く、生産工程従事者や販売従事者が比較적少なかった。また、正社員雇用が比較的多かった一方で、短時間での仕事の例も比較的多かった。



(*,**): 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(22.9%)

- 営業事務(女 50歳代)
- 営業資料作成、会議運営(男 50歳代)
- 経理事務(女 40歳代、女 50歳代)
- 一般事務(女 40歳代 2、女 50歳代 2)
- 一般行政事務(男 50歳代)
- 簡単なパソコン入力、伝票整理他(女 50歳代)
- データ入力、電話応対等(女 30歳代)
- PC入力や相談事業(男 30歳代)
- 雑用、パソコン入力、コピー等(女 40歳代)
- 患者団体の事務局(女 40歳代)
- 地方公務員(事務吏員)(男 50歳代)
- 鉄工業事務(事務、経営管理、配達等)(女 50歳代)
- PC入力、コピー、印刷、郵便物発送等(女 20歳代)
- 出勤簿のパソコン入力、材料資材の手配、運搬、庶務的な仕事(女 50歳代)
- スポーツクラブフロント業務と館内清掃(女 30歳代)
- ホテルフロント等(男 30歳代)
- 窓口・受付業務、事務全般(女 30歳代)
- コールセンター勤務(シフト制で働く時間帯選択可)(男 40歳代)
- 医療事務、事務補助、接客業(女 30歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(8.6%)

- 畜産業(肉牛)、生産管理(重労働)(男 30歳代)
- 情報処理関係(システム運用・保守、情報機器導入)(男 40歳代)
- 老人保健施設相談員(看護師から異動)(女 30歳代)
- 障害者の地域活動支援センターの職員、指定相談事業所のパート相談員(女 20歳代)
- 児童養護施設の指導員(女 40歳代)
- 看護学校での非常勤講師(男 60歳代)
- 執筆業(打合せの際は外出)(男 30歳代)
- 見積及現場管理(50歳代)

【様々なサービス職業従事者】(8.6%)

- 眼科医院に置いて受診者の検査及び助手等(女 40歳代)
- 理容業(理容業一般)(男 30歳代)
- クリーニング業(女 50歳代)
- 調理師(飲食店)(女 50歳代)
- 調理師(保育園の給食)(女 40歳代)
- スナックアルバイト(女 30歳代)
- スポーツクラブのフロント業務(女 30歳代)
- ビル管理人(男 70歳代)
- 福祉用具貸与斡旋(男 50歳代)

【様々な事務従事者】(5.7%)

- 経理事務(パソコン使用)(女 50歳代)
- 公益法人の会計業務(女 40歳代)
- 品質管理、デスクワーク(出張有)(男 30歳代)
- 在庫管理、オペレーター、受注等(女 30歳代)
- パソコンのメーカーで、海外他社との契約業務を担当(女 40歳代)
- 地方公務員(技術職)→事務職種。一般行政事務→現在検査担当(男 40歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(4.8%)

- 地域包括の看護師(ケアマネ資格あり)(女 50歳代)
- 看護師(老人ホームデイサービスセンター)(女 30歳代)
- 看護業務(病院、デイサービスセンター)(女 50歳代)
- 准看護師、リスクマネージャー、認知症ケア専門士(女 60歳代)

【生産工程従事者】(4.8%)

- 御位牌の押金箔(仏具製造会社)(女 40歳代)
- 製造業、組立物の芯出し(男 50歳代)
- 省力、効率化産業機械の組立、据付(現地作業)(男 60歳代)
- 電気部品、製品検査等(男 50歳代)

重症筋無力症(障害者手帳なし)

【建築・土木・測量技術者】(3.8%)

- 設計・内務 (女 30 歳代)
- 建築の営業、設計、現場管理 (男 40 歳代)
- 土木工事の現場監督 (男 40 歳代)
- 施工管理技術者 (男 40 歳代)

【ソフトウェア作成者】(3.8%)

- コンピュータ、インターネットによる資料を作成し、商品としてネット上で販売 (男 40 歳代)
- SE。客先勤務も経験 (男 30 歳代)
- ソフトウェア開発 (男 50 歳代)
- コンピュータでの工作機械の動作、プログラム作成 (女 30 歳代)

【商品販売従事者】(3.8%)

- サインボード(看板)関係のシステム販売と資材の卸業 (男 60 歳代)
- レジ・商品陳列・接客(ドラッグストア)(女 50 歳代)
- パソコン操作、接客、販売、商品陳列、車の移動、タイヤ等の商品運搬(カー用品店)(女 30 歳代)
- 訪問販売の営業及び管理 (男 40 歳代)

【介護職員(医療・福祉施設等)](3.8%)

- 病院勤務、介護助手 (女 50 歳代)
- 2級ヘルパー(老人ホーム勤務)(女 50 歳代)
- デイサービスでの看護業務 (女 40 歳代)
- ヘルパー(重度障害者通所施設)(女 30 歳代)

【分類不能の職業】(3.8%)

- 自営(女 40 歳代)
- 歩合の仕事で、時間の自由がきく (女 30 歳代)
- 発病前に正社員として働いていた職場に非常勤として就労中 (女 30 歳代)
- 不動産業 開店休業。人様の財産を扱う仕事は、言語障害がある者は信用されない。また実際には交渉不可能 (60 歳代)
- 学生であり、専門学校に関係ある病院でアルバイト中(接骨院)(男 20 歳代)

【管理的職業従事者】(2.9%)

- 係長職でやや管理に近い (女 30 歳代)
- 会社役員 会社経営 (男 50 歳代)

【その他の保健医療従事者】(2.9%)

- 学校栄養職員 (女 40 歳代)
- 鍼灸・マッサージ業(個人事業主)(男 60 歳代)
- 鍼灸マッサージ (50 歳代)

【その他の専門的職業従事者】(2.9%)

- 英語教師(幼稚園)(14時まで)(女 30 歳代)
- 行政書士事務所経営 (女 50 歳代)
- 行政書士事務所勤務 (女 40 歳代)

【事務用機器操作員】(2.9%)

- パソコン使用、デスクワーク (男 50 歳代)
- パソコンへの入力、チェック作業(国民健康保険に係る請求書のチェック・介護保険に係る請求書のチェック) (男 50 歳代)
- 事務用機器操作 (女 40 歳代)

【訪問介護従事者】(2.9%)

- 訪問介護 (女 40 歳代)
- 老人家庭のそうじ、週1回3時間 (女 60 歳代)
- ホームヘルパー1日2~3時間程度 (女 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(2.9%)

- 建設業(大工) (男 50 歳代)
- 建設電気施工管理 (男 40 歳代)
- 会社役員、現場作業あり(荷物運搬、重機、トラック運転) (男 30 歳代)

【運搬従事者】(2.9%)

- 運送会社での構内作業 (男 20 歳代)
- 新聞配達、集金、事務作業 (女 50 歳代)
- 発送、包装、在庫管理etc 1日3~4時間。...簡単な仕事 (女 50 歳代)

【様々な販売従事者】(1.9%)

- 中央卸売市場内の水産仲卸業(80 歳代)
- 建設業における営業 (男 60 歳代)
- 生花店スタッフ(店頭接客、制作、病気前は正社員。今は時間給アルバイト)(女 40 歳代)

【農林漁業従事者】(1.0%)

- ハウス園芸農家(女 50 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(1.0%)

- 工場内軽作業、事務、保育士 (女 30 歳代)

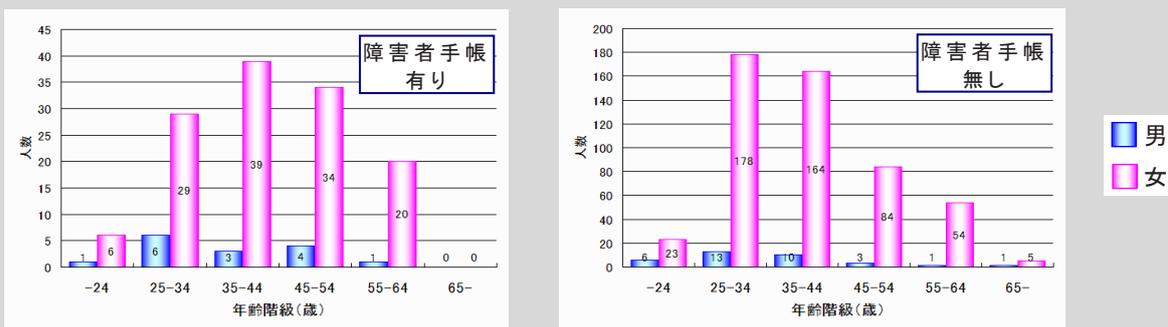
4 全身性エリテマトーデス

若い女性に多い代表的な膠原病(自己免疫疾患)。

医師の就労への見解

症状の広がりや程度により異なりますが、関節炎や皮膚障害のみの場合は必ずしも休業を必要とはしません。腎炎、中枢神経、血管炎などの重篤な症状が現れた場合でも、約7ヶ月～2年間の休業で職場復帰は可能です。ただし、症状が安定していても、病状の定期的なチェック(毎月1回程度)は欠かせませんし、本人の自己管理が非常に重要です。

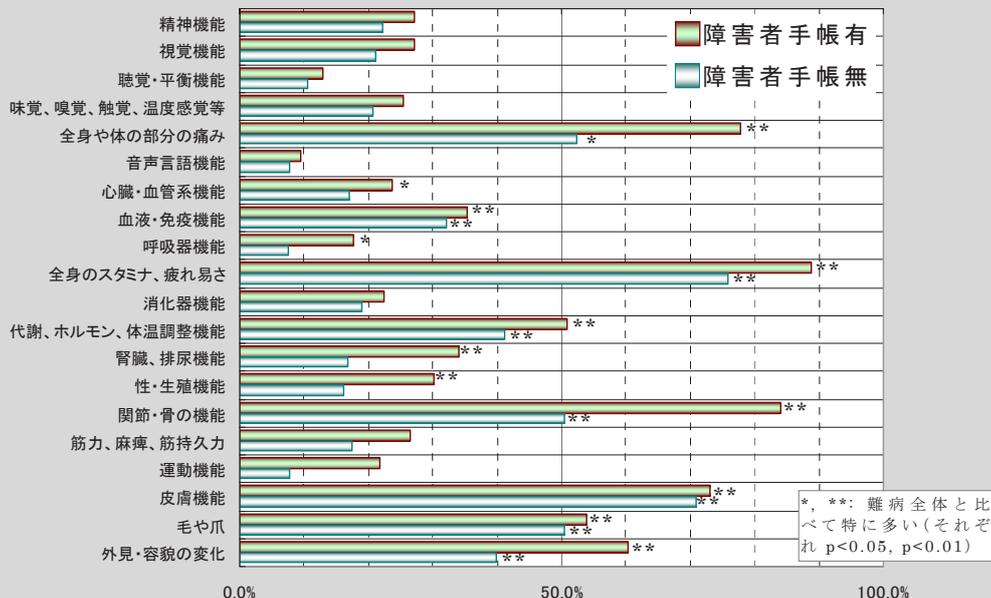
障害者手帳のある人は20.7%。女性が圧倒的に多く、30-40歳代にピークがあった。



比較的多い機能障害

全身の様々な部分に炎症が生じやすくなり、皮膚炎、粘膜炎、関節痛、内臓障害などが起こることもあります。また、全身倦怠感、疲れやすさ、日光過敏、発熱などの全身症状もこの病気の特徴です。

- 手帳のある者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「関節・骨の機能」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」「外見・容貌の変化」「毛や爪」「代謝、ホルモン、体温調整機能」等
- 手帳のない者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「皮膚機能」「全身や体の部分の痛み」「毛や爪」「関節・骨の機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「全身や体の部分の痛み」「呼吸器機能」「腎臓・排尿機能」「関節・骨の機能」「運動機能」「外見・容貌の変化」「全身のスタミナ、疲れ易さ」「性・生殖機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「心臓・血管系機能」であった。



4-1 全身性エリテマトーデス(障害者手帳あり)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

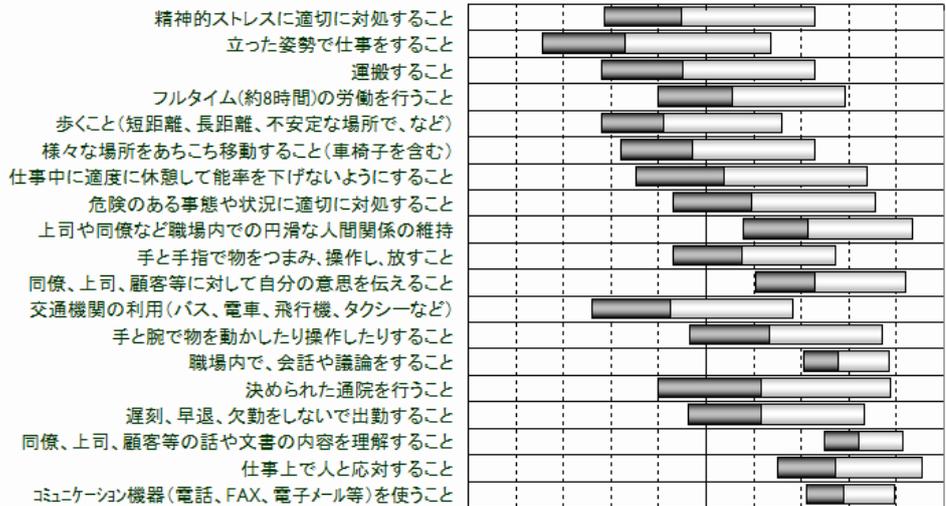
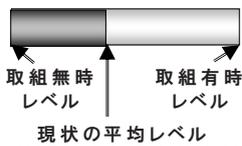
全身性エリテマトーデス(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、立ち仕事、交通機関の利用、通院等の多くの課題が改善されていた。

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:36.6%)

(一體的な取組:勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(39.6%)「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(43.6%)」「偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発(24.0%)」「通院への配慮(60.0%)」)

- ◆ 通院や身体の負担を先輩・同僚は十分理解してくれていた上で、他の社員と区別する事なく接してくれたおかげで、仕事はもちろん社会勉強に大いになった。
- ◆ できることもできないと勝手に判断され、決めつけられるので、もっと本人のやる気等を理解してほしい。
- ◆ 障害や病気について、職場の方々は理解していただいているが、すぐに忘れて、無理な仕事もつい無理をしてしまう。
- ◆ 仕事上ではみんなと同様に出来たので差別も仕事上の不都合もなかった。病気に対する正しい理解だけはほしい。
- ◆ 体調の変化が勤務中にあった時、上司等に気軽に言えたり、休みをもらえる。

この取組により改善される職業的課題



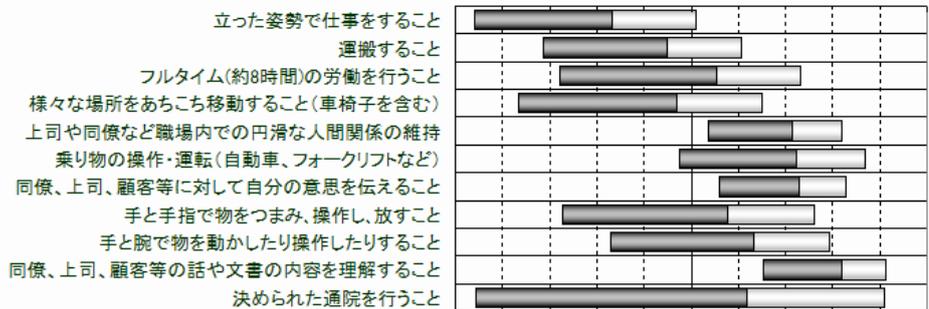
← 最大の問題状況

→ 最小の問題状況

通院への配慮(現状の取組率:60.0%)

- ◆ 通院の為、休日変更。
- ◆ 通院日の変更、治療のさまたげになるような事を言われた。
- ◆ 通院によるその日の仕事の配置が変更になる為、能率が悪くなるので、病院へ行く事は仲間に気を使ってしまう。よって1日欠勤が難しい。

この取組により改善される職業的課題



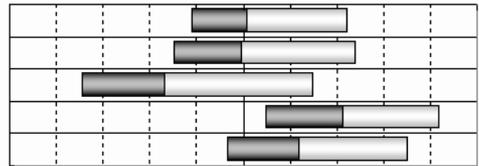
仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(現状の取組率:36.5%)

(一体的な取組:「仕事上の相談によってくれる同僚・上司・上役(43.6%)」)

- ◆他の社員と同じ労働時間(長時間)でない事。力仕事をしなくてよい事。

この取組により改善される職業的課題

- 昇進をすること
- 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
- 立った姿勢で仕事をする
- 仕事中にトイレを利用すること
- 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること



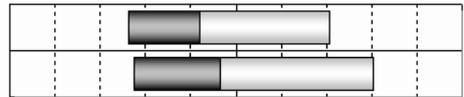
主治医、専門医等への就労相談(現状の取組率:30.9%)

(一体的な取組:「雇用率制度での雇用(8.1%)」)

- ◆主治医やソーシャルワーカーに相談しても、話を聞いてくれるだけでアドバイスはない。でも、気分的に楽になった。
- ◆就職するにあたり、主治医に診断書を書いて頂いた。
- ◆体が不自由になってからのリハビリ等の指導。

この取組により改善される職業的課題

- 必要な配慮や支援等についての職場への説明
- 病気や障害についての職場への説明



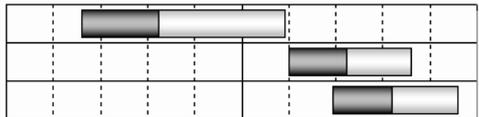
仕事上の相談によってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:43.6%)

(一体的な取組:勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(39.6%)
「能力的に無理のない仕事への配置(35.9%)」)

- ◆以前は週5日8時間労働であった。体調が悪くなり、上司に相談すると、週4日8時間労働に変更してもらえた。

この取組により改善される職業的課題

- 仕事を継続すること
- 乗り物の操作・運転(自動車、フォークリフトなど)
- 同僚、上司、顧客等の話や文書の内容を理解すること

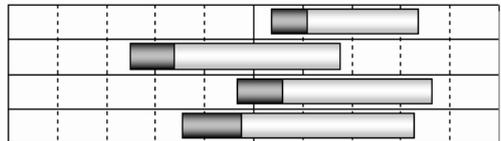


産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:20.6%)

(一体的な取組:「偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発(24.0%)」)

この取組により改善される職業的課題

- 適当な報酬を得ること
- 立った姿勢で仕事をする
- フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
- 様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)

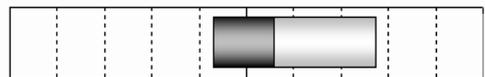


能力的に無理のない仕事への配置(現状の取組率:35.9%)

- ◆入職時はSLEのみ、途中よりRAによる身体障害が進み、仕事上での手助けや人員の増加等の支援をうけている。
- ◆仕事を継続するにあたっては、主治医の診断書をもとに、産業医が就業制限付きの診断書を会社に提出してくれて、無理のない労働時間で働くことが可能になっている。病状が安定しているものの、常勤で働く事は難しいと思う。

この取組により改善される職業的課題

- 仕事で要求されている責任に十分に答えること



偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発(現状の取組率:24.0%)

※ストレス対処、交通機関の利用、手先を使う動作、休まず出勤すること、円滑な人間関係の維持に効果的

冷暖房、エアコン、空気清浄機など(現状の取組率:57.7%)

※職務として決められた課題の達成に効果的

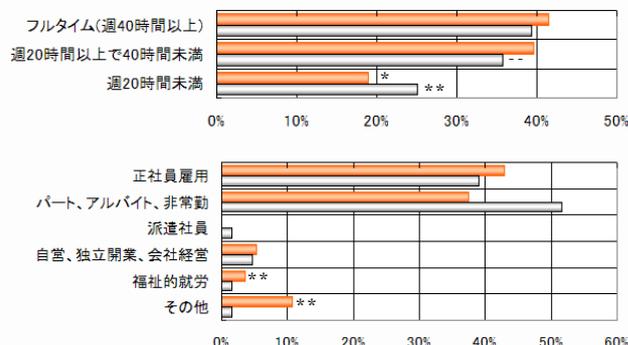
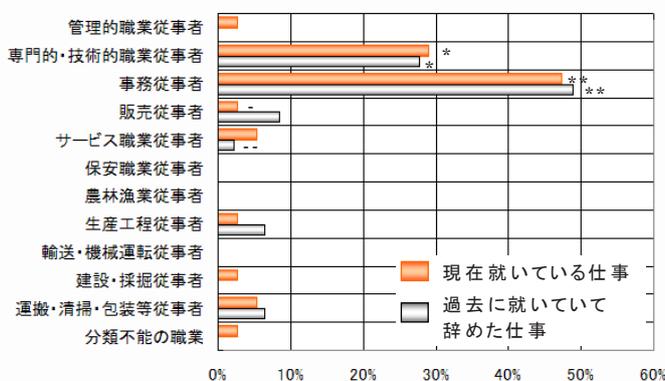
その他の効果的な取組

勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮…問題解決・判断、乗物の操作、能率管理、トイレ利用に効果的
短時間勤務…日常生活の維持に効果的
雇用率制度での雇用…昇進すること、運搬することに効果的
キャリアアップのための職業スキル習得のための支援…危機的状況への適切な対処、適度な休憩による能率管理に効果的
生活リズムや労働習慣の訓練…病気や障害の職場への説明に効果的
本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組…乗物の操作・運転に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」36.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」42.9%であり、合わせると79.3%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、専門・技術職に就いている人が多く、生産工程従事者、販売従事者が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$). -, **: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【専門的・技術的職業従事者】(27.8%)

- 製品の開発業務(男 30歳代)
- 実験助手(動物実験、生化学実験、検体整理等)(女 20歳代)
- 薬剤師業務(調剤・投薬)(女 0歳代)
- 調剤業務全般(女 20歳代)
- 看護師(療養型施設病棟勤務)(女 50歳代)
- 病院勤務、臨床検査技師(主に心電図・脳波検査)(女 50歳代)
- 針灸マッサージ(女 50歳代)
- 保育士、事務(女 30歳代)
- ピアカウンセラー(女 20歳代、女 30歳代)

【一般事務従事者】(19.4%)

- 機械メーカーの総務担当(男 30歳代)
- パソコン・パソコン関連機器のサポート業務。電話やメールでの問合せ回答業務(女 20歳代)
- 医療事務(国保の点検業務)(女 50歳代)
- デスクワーク(パソコン入力・経理事務)(女 30歳代)
- 契約社員(嘱託)一般事務(受付)(女 30歳代)
- サービス業における事務(女 30歳代)
- 机上での作業。大きく動き回ること無し。顧客情報などの管理。資料の整理(女 30歳代)

【様々な事務従事者】(11.1%)

- 契約社員 金融事務(JA)(男 30歳代)
- 経理事務(総務を含む)(女 50歳代)
- パソコンを使った出荷の事務作業(男 50歳代)
- 物流の入出荷及び商品の検品(流れ作業)、複雑な伝票処理事務が主な作業(男 40歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(11.1%)

- パソコン作業、電話対応等(女 30歳代)
- エステティックサロンのお客様情報入力、雑用。障害者で雇用され、重労働は無(女 30歳代)
- パソコンによる資料作成(女 30歳代)
- 難病患者の雇用管理・就労支援に関する実態調査のアンケートのデータ入力等(女 20歳代)

【サービス職業従事者】(5.6%)

- 生活支援員(日常生活の支援や相談受付。行政手続代行)(男 30歳代)
- 喫茶店での接客、焼き菓子販売、開店前の掃除(女 30歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(5.6%)

- 倉庫等で商品の検品・包装など(女 30歳代)
- 授産作業(男 30歳代)

【生産工程従事者】(2.8%)

- 菓子製造業(女 20歳代)

【建設・採掘従事者】(2.8%)

- 測量、事務、製糸工場ラインスタッフ、スーパーの事務、データ入力、経理事務(女 30歳代)

【分類不能の職業】(2.8%)

- 午前中4時間程の立ち仕事、午後からは座っての仕事(男 50歳)

4-2 全身性エリテマトーデス(障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

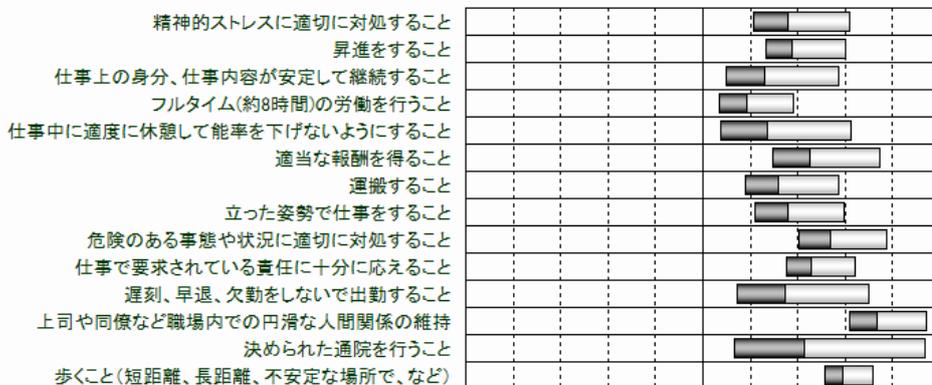
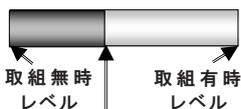
全身性エリテマトーデス(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、通院、フルタイム就労、休憩、就業継続等の多くの課題が改善されていた。

勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮 (現状の取組率:34.2%)

(一体的な取組:通院への配慮(53.0%)「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(29.8%)」)

- ◆職場への復帰時は1日1時間いすに座っているだけから始めて体調をみながらの勤務でした。本格的に動けるまで4ヶ月程かかり、その間の私の勤務は他の人が交替で出勤してくれました。
- ◆私の場合、一見普通の人と変わらないため障害者のような配慮などは受けたことはありません。ただ、通院しなければならないし、無理をすると病気が悪化してしまうことなどは、伝えるようにしていました。
- ◆見た目が健常者と変わらず、まわりは普通の人と同じあつかいになってしまうところが、少しつらいです。
- ◆病気を持っているということを前提に採用されているので、しんどかったら無理をするなという配慮。
- ◆体力的に「難しいな。無理だな。」と感じても周囲へ気兼ねしてしまい「できません」とは言えない。結果、無理をしてしまう。気を遣ってくれる人もいるが、感謝よりも申し訳なさが大きく「自分にはできることは!!」とまた無理をしてしまう。一部の若い元気な人から陰口を言われ悔しく悲しいが、欠勤等もあると迷惑をかけている負い目もありつらかった。

この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況 最小の問題状況→

通院への配慮 (現状の取組率:53.0%)

(一体的な取組:「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(34.2%)」「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(42.5%)」)

- ◆有休や半休を利用する。
- ◆毎月、通院のために、1~2度お休みをもらっている。通院に関しては優先的配慮をしてもらっている。
- ◆一番は通院への配慮。私自身が勤務表へ次回の通院日が決った時点で記入したり申し出たりしていますが、臨時の検査等で定期通院以外にお休みを頂く場合も理解してもらっています。
- ◆週に4日の勤務にしてもらっている。→通院も、気を使わず行ける。
- ◆現在の勤務地では、通院が難しい。
- ◆病気を説明すると採用を断る企業が多かったので、当時働いていた企業には入社の際、細かくは説明しませんでした。しかし定期的な通院が必要なため、入社後病気の事を十分に話すと周囲の理解が得られ、かつ特別扱いもされず、納得のできるやりがいのある仕事に就くことができました。

この取組により改善される職業的課題

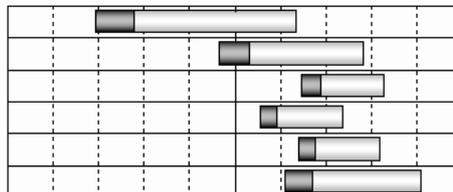


病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:19.2%)

- ◆ 休むのは具合が悪い時は仕方ないし、企業は休んでばかりいる人には責任あるポストをまかせられないのも分かる。自分のせいで病気になったのではないのに、と思いながらも仕方ないのか、とやるせなさを感じる。
- ◆ 急に休みを取る事が多く、責任ある仕事は与えてもらえなかった。
- ◆ パートを希望したが、病気の事を話したら、アルバイトでの採用となった。
- ◆ 病気だ、というだけで採用・昇進を不利に扱わないでほしい。(せめて事情について知ってほしい)

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明
 病気や障害についての職場への説明
 昇進をすること
 フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
 精神的ストレスに適切に対処すること
 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること



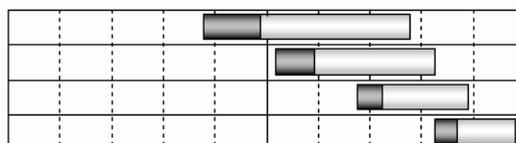
産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:21.8%)

(一体系的な取組:「主治医、専門医等への就労相談(26.9%)」)

- ◆ 風邪やインフルエンザに感染させないように、保菌者がマスクを着用する。
- ◆ 風邪から膠原病が悪化しないように、風邪をひいたら悪化する前に休むことができる。
- ◆ 仕事内容を担当医師に伝え、適正かどうか判断してもらい、注意点のアドバイスを頂き、とても参考になった。
- ◆ ナースと保健師で、よく知っておられる業種で「どの程度なら良い」と親身になって相談にのって下さいます。

この取組により改善される職業的課題

仕事を継続すること
 フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
 適当な報酬を得ること
 仕事に必要な技能を習得すること



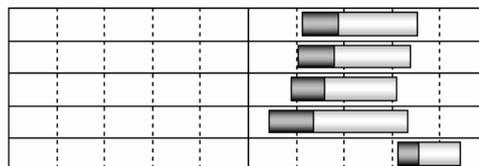
上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:29.8%)

(一体系的な取組:「本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(24.9%)」
 「コミュニケーションに時間をかける配慮(22.7%)」)

- ◆ 日光にあまり当たれないのに、仕事では、洗たく物を干したり、畑仕事・・・と外での仕事が多いので、上司に言っているのに、嫌な顔をされ、「大丈夫、早く外に行きなさい」と言われています。やっぱり、病気の事をよく理解してもらわないと、結局は、自分の体調を崩すことになると思います。
- ◆ 同じ職場の人の理解が必要で、以前、働いていて、はっきり「迷惑だ」と言われた事があります。病気を理解して貰えず、嫌な事を言われたり、いじめ的な事がありました。何気なく言われた言葉に、傷付いたりしました。
- ◆ インターネットで病気の内容を調べ、周囲の人に掲示して見てもらった。
- ◆ 外見では健常者とかわからない為、「病人」といっても信じてもらえないことが多いので、職場の仲間には、こういう症状があるとか、医師にこう言われたとか、つねに病気を持ちながら勤務しているということを話題に出しアピールしている。休みをもらう時も「通院のため」とあえて話している。患者会が協力している署名活動も十分説明をして呼びかけ協力してもらおうと同時に、私への理解を得てもらおうよい機会としてとらえている。
- ◆ 会社には行けることは行けるが、普通の人よりも疲れやすいので、疲れからくるミスや、遅さは理解してもらえない。
- ◆ 会社の人事部が病気のことを知ったとたん、会社を辞めるよう強く求められた。
- ◆ 私は既に地方公務員として仕事に就いており、以前発病した際は人事異動のとき考慮してもらったり、ある程度希望を聞いてもらっている。
- ◆ 少し仕事ができないと周囲も看護職・医療職であるにも関わらず「病気だから甘えているんだ」と云って冷ややかな目でみる上司もいました。こういう考えの方が医療・福祉職の中にもまだいることは残念ですし、恥ずかしいことでもあります。また非常にストレスでもあります。

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
 精神的ストレスに適切に対処すること
 運搬すること
 仕事中に適度に休憩して能率を下げないようにすること
 様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)



上司などによる毎日の健康状態チェック(現状の取組率:8.6%)

※適当な報酬の獲得に効果的

在宅勤務(現状の取組率:8.2%)

※適度な休憩による能率管理に効果的

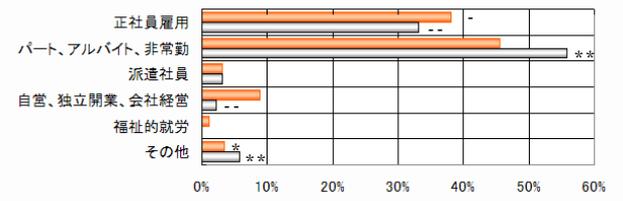
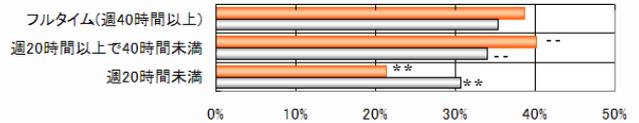
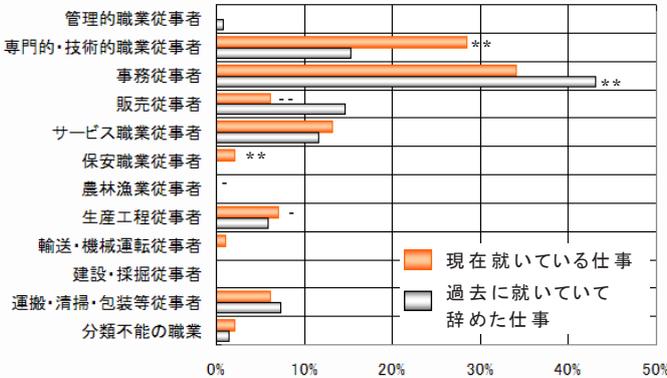
職場内の移動の施設改善(手すり、通路、床面、案内など)(現状の取組率:15.7%)

※要求される責任に応えることに効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」50.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」39.3%であり、合わせると89.6%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、保安職に就いている人が多く、農林漁業、販売、生産工程従事が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*,**：平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,,: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(23.8%)

- 事務補助(女 30歳代、女 50歳代)
- 事務(男 50歳代、女 30歳代、女 40歳代)
- 営業事務(女 20歳代)
- 経理事務(女 30歳代、女 40歳代)
- 貿易事務(女 30歳代)
- 一般事務(女 30歳代 2、女 40歳代 2、女 50歳代)
- 電話応答・接客・パソコン入力・経理(女 20歳代、女 30歳代 7)
- 2ヶ月更新の臨時職員(公的機関)(20歳代)
- 研究所での研究事務(女 30歳代)
- 人事部にて給与計算業務、福利厚生等担当(女 20歳代)
- 音楽ソフト企画・立案・制作・宣伝(男 40歳代)
- 企画・運営・プロモーション・プレゼンテーション・海外出張有(男 30歳代)
- 図書館の受付(女 20歳代)
- アルバイト(博物館の受付、図書館の臨時職員)。自営(フランチャイズの塾)(女 40歳代)
- 生協の配送センターの事務員(女 20歳代)
- 大阪府保健所の臨時任用職員(女 30歳代)
- 団体職員(環境活動事務局)(女 40歳代)
- 親の会社を引継ぐ為、内業と営業(男 30歳代)
- 事務職・警備業・保険業(男 40歳代)
- 医療事務(女 20歳代 3、女 30歳代 2)

【看護師(准看護師を含む)】(6.3%)

- 准看護師、リスキマネージャー、認知症ケア専門士として老健に就労中(女 60歳代)
- 看護師(女 20歳代、女 30歳代 3、女 40歳代)
- 看護師(健診センター)(女 40歳代)
- 看護師(検診クリニックにて採血や癌検診の介助業務)(女 30歳代)
- 看護師(産婦人科日勤、外来)(女 20歳代)
- 看護師(一時保育の仕事)(女 20歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(4.2%)

- 横浜市内の福祉施設の支援員。主に、機織り等の作業、指導中心(女 40歳代)
- 保育士、現在は子育て支援業務(女 30歳代)
- 保育士(女 30歳代)
- ケアマネージャー(女 40歳代)
- 介護支援専門員、要介護認定調査(女 30歳代)
- 介護支援専門員、NS、管理者(女 40歳代)
- 介護職→施設相談員(女 20歳代)

【経理事務員】(4.2%)

- 経理事務(パソコン作業)(女 30歳代)
- 経理事務(小銭がまとまると重い)(女 30歳代)
- 経理事務。配属移動でその他(女 30歳代)
- 税理士事務所の経理事務(男 30歳代)
- 窓口業務・会計・事務全般等(女 30歳代)
- 建設会社。(経理・給与計算等)(女 20歳代)

【様々なサービス職業従事者】(3.7%)

- 障害児のみの学童保育(男 30歳代)
- 理容師(男 30歳代)
- 美容師・業務全般(女 30歳代)
- 病院内の給食パート(女 30歳代)
- 調理補助とホール係(女 50歳代)

【介護職員(医療・福祉施設等)】(3.7%)

- 介護(高齢者介護全体・送迎・入浴・排泄など)(女 20歳代)
- 利用者の送迎補助、介助、作業所内での軽作業(女 30歳代)
- 介護施設の職員補助(女 30歳代)
- 病院の介護員(女 30歳代)
- グループホームでの高齢者介護(男 20歳代、女 30歳代)

【様々な事務従事者】(3.2%)

- 一般と営業事務(女 20 歳代)
- 郵便物の区分(女 30 歳代)
- 電算、末端操作(女 30 歳代)
- パソコンによる書籍作成、電話対応などの事務作業・事務用品作りの下受け(女 30 歳代)
- 雑用全般・経理、得意先管理(女 30 歳代)

【様々な生産工程従事者】(3.2%)

- 空調機器、太陽熱温水器の製造組立、検査。製品の推進活動の事務局(男 30 歳代)
- 現在は腕時計の修理(女 30 歳代)
- 電機、機械等の図面作成(女 50 歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(2.6%)

- データ入力や仕分けの仕事(女 20 歳代)
- パソコンを使っての入力業務(女 20 歳代)
- OA機器操作タイプ中心の業務(女 30 歳代)

【販売店員】(2.6%)

- スーパーのレジ(女 30 歳代)
- 子供服のリサイクルショップ(女 20 歳代)
- 和菓子の販売・接客(女 30 歳代)
- パン屋さんで販売(女 20 歳代)
- スーパーでのレジ業務(女 20 歳代)

【接客・給仕職業従事者】(2.6%)

- 接待業(ウェイトレス)、ピッキング、事務職(三種)(女 40 歳代)
- 飲食業の接客係(女 30 歳代)
- 接客業(女 30 歳代、女 40 歳代)
- 親の経営店で接客・清掃等(女 30 歳代)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(2.6%)

- 製薬会社での製造の仕事(女 20 歳代)
- 石材の加工、小売(男 30 歳代)
- バックなどの修理と事務(女 50 歳代)
- デスクワーク部品の組立等の仕事(女 40 歳代)

【薬剤師】(2.1%)

- 調剤薬局薬剤師(女 30 歳代 2)
- 薬剤師(女 20 歳代 2)

【歯科衛生士】(2.1%)

- 歯科衛生士。発病後、資格取得(女 20 歳代)
- 歯科衛生士(女 20 歳代 2、女 40 歳代)

【教員】(2.1%)

- 養護教諭(保健室の先生)(女 30 歳代)
- 大学教員、病院ソーシャルワーカー(女 30 歳代)
- 教員(公務員)(男 30 歳代 2)

【小学校教員】(2.1%)

- 小学校教諭(女 20 歳代、女 30 歳代 2)
- 小学校の養護教諭(女 30 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(1.6%)

- 大学病院内科勤務後、開業医に勤務(内科全般・介護福祉・地域医療)(女 20 歳代)
- 機関紙編集。作業所指導員(女 50 歳代)
- 文筆業、インターネット利用による企画業務、資格講座の講師(外勤及び在宅)(女 30 歳代)

【医療技術者】(1.6%)

- 放射線技師(女 20 歳代)
- 臨床検査技師(女 40 歳代)
- 理学療法士(女 40 歳代)

【その他の保健医療従事者】(1.6%)

- 社会福祉施設栄養士(調理全般、事務全般)(女 40 歳代)
- 栄養士(病院内厨房で調理作業)(女 20 歳代)
- 整骨院(30 歳代)

【その他の専門的職業従事者】(1.6%)

- 図書館カウンター(女 50 歳代)
- 図書館サービス、本の梱包・発送(女 30 歳代)
- 中学校でADHDの子供の支援(女 20 歳代)

【個人教師】(1.6%)

- ピアノ教師(女 50 歳代)
- ピアノ講師、ベビーシッター(女 40 歳代)
- 学習塾講師(小、中学生)(女 40 歳代)

【会計事務従事者】(1.6%)

- 金融機関窓口業務(女 40 歳代)
- 銀行の事務(女 40 歳代)

【営業職業従事者】(1.6%)

- 製薬会社営業、介護ヘルパー(女 40 歳代)
- 保険外交員(女 30 歳代)

【訪問介護従事者】(1.6%)

- ヘルパー、ガイドヘルパー(女 40 歳代)
- ヘルパーとして月2回の夜勤有(男 40 歳代)
- ホームヘルパー(女 30 歳代)

【保健医療サービス職業従事者】(1.6%)

- 看護助手(男 20 歳代)
- 歯科助手。歯科での受付と助手(女 20 歳代)

【食料品製造従事者】(1.6%)

- パンの製造、焼き上げ、仕上げ(女 20 歳代、女 40 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(1.6%)

- そうじ(掃除機・雑巾・草刈り等)(女 30 歳代)
- 清掃(女 50 歳代)

【運搬従事者】(1.6%)

- 紙卸業の会社で、紙の梱包(女 40 歳代)
- 電子部品目視検査、包装、出荷(女 20 歳代)

【保安職業従事者】(1.1%)

- 警備員。主に現場で車輛誘導(男 20 歳代)
- プール監視員(女 30 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(1.1%)

- ダンプ運転手(男 30 歳代)
- 運転手(男 50 歳代)

【様々な販売従事者】(0.5%)

- アパート経営(女 40 歳代)

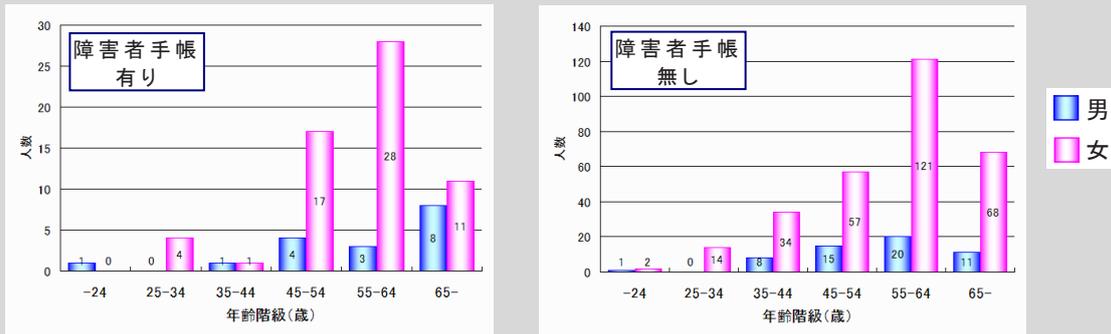
5 強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎

中高年の女性に多い膠原病。

医師の就労への見解

強皮症のある人は、寒冷や過労を避けることに加え、症状によっては、手に負担のかかる作業や、肉体労働を避けることで、多くの方が就労可能と思われます。また、肺病変が重度で、就業中の酸素投与(携帯型酸素ボンベ等の利用)を要する場合は、主治医と相談して試験的に実施し、就業可能の是非を検討することも大切です。多発性筋炎や皮膚筋炎は、身体症状や障害の程度、経過に個人差が大きいので、個別に検討することが重要です。そのためには、主治医や専門医を加えた関係者チームで検討することが大切です。

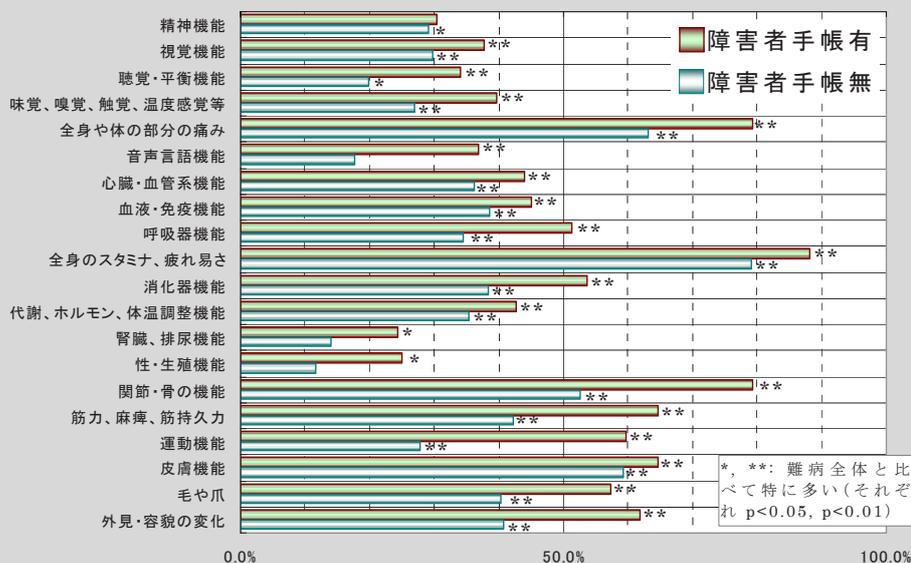
障害者手帳のある人は18.7%であった。女性が圧倒的に多く、50歳代以降にピークがあった。



比較的多い機能障害

膠原病として発熱や全身の倦怠感があります。強皮症の主な症状は皮膚障害で、関節が皮膚の硬化と共に曲がり難くなります。最近では、皮膚硬化、肺線維症、食道炎、血管病変、高血圧症などそれぞれに効果のある治療薬が使われています。多発性筋炎は、腰や肩などの骨格筋の炎症や変性により力が入りにくく、疲れやすく、筋肉が痛くなります。皮膚筋炎は、手や指の関節表面の皮膚が剥げた紫紅色の皮疹を主症状とします。

- 手帳のある者: 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「関節・骨の機能」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「外見・容貌の変化」「運動機能」「毛や爪」「消化器機能」「呼吸器機能」等
- 手帳のない者: 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」「関節・骨の機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「音声言語機能」「呼吸器機能」「関節・骨の機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「運動機能」「外見・容貌の変化」「聴覚・平衡機能」「全身や体の部分の痛み」「消化器機能」「性・生殖機能」「毛や爪」「腎臓、排尿機能」「味覚、嗅覚、触覚、温度感覚等」であった。



5-1 強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎(障害者手帳あり)

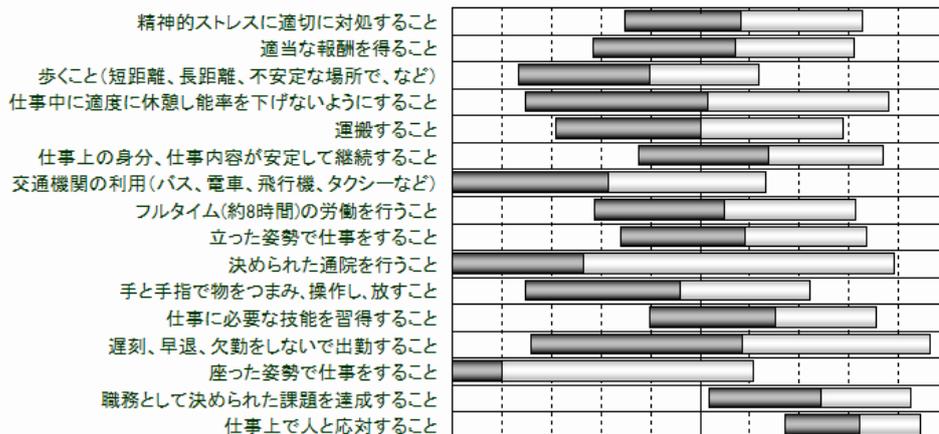
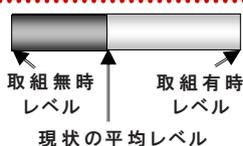
① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「通院への配慮」「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮」等が効果的な取組であり、それによって、交通機関の利用、通院、座った姿勢で仕事をする等多くの課題が改善されていた。

通院への配慮(現状の取組率:47.1%)

- ◆上司がとても良い方で、具合(骨折)が悪い時、フレックス勤務にして下さいました。体調が悪い時だけでなく、通院への配慮をして部署を決めて下さいました。
- ◆10年以上前の景気のよい時だったので小さな所で働く人がいなかったから、病院に行く日は休みをもらい、あとは休んでいた。(主人は脳こうそくで倒れ、子供は大学生だったので、どうしても私が働く必要があった)

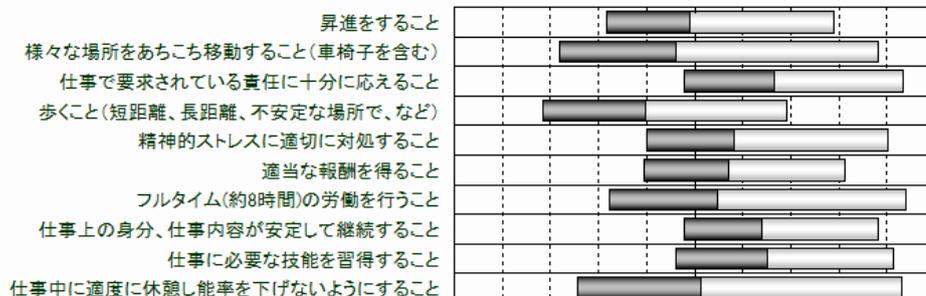
この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況 最小の問題状況→

勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(現状の取組率:34.0%)

この取組により改善される職業的課題



短時間勤務(現状の取組率:26.5%)

- ◆週3日事務系の仕事9:00~16:00まででしたので、体力的には特に問題ありませんでした。

この取組により改善される職業的課題



仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(現状の取組率:28.6%)

この取組により改善される職業的課題

危険のある事態や状況に適切に対処すること



上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:34.0%)

◆痛み、つらさ、がまんなどは他人からみてもわからない。忙しさの中には思いやる気持ちももてないすさんだ空気がある。人的配慮が必要。

この取組により改善される職業的課題

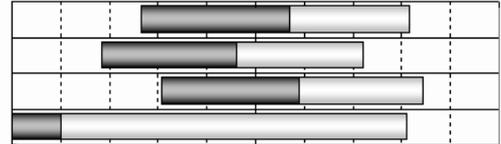
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持



必要に応じた同僚等の作業補助(現状の取組率:44.9%)

この取組により改善される職業的課題

適切な報酬を得ること
 様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)
 立った姿勢で仕事をする事
 座った姿勢で仕事をする事

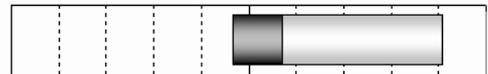


勤務中の休憩をとりやすくすること(現状の取組率:16.3%)

(一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(38.8%)」)

この取組により改善される職業的課題

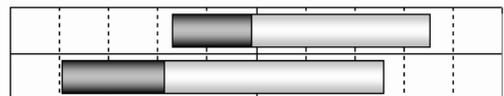
適切な報酬を得ること



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:22.0%)

この取組により改善される職業的課題

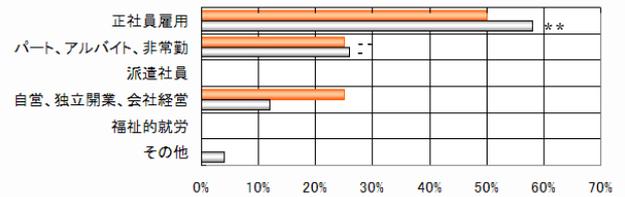
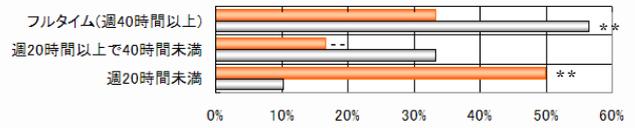
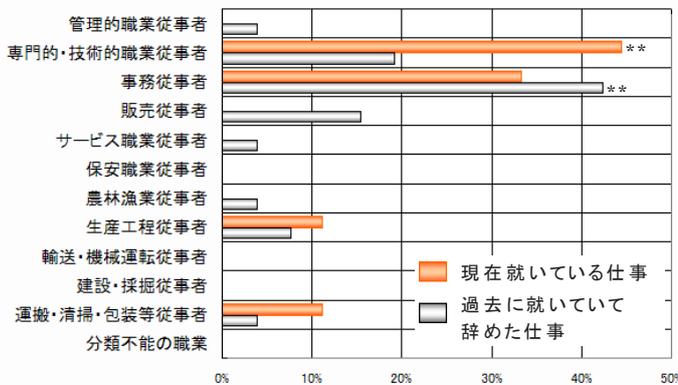
昇進をすること
 交通機関の利用(バス、電車、飛行機、タクシーなど)



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」14.8%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」66.7%であり、合わせると81.5%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職に就いている人が多かった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*,**：平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p<0.05$, $p<0.01$)。-,.: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【専門的・技術的職業従事者】(44.4%)

- 建築設計、パソコンによる製図・図面作成。時間が自由になる(男 50歳代)
- コンピュータを売る営業のサポートとして、システム構成を構築、アドバイスする仕事(女 40歳代)
- 病院勤務、臨床検査技師(主に心電図・脳波検査)(女 50歳代)
- 針灸マッサージ(女 50歳代)

【一般事務従事者】(33.3%)

- サービス業における事務(女 30歳代)
- 帳簿記録、OA機器操作(50歳代)
- パートのかげもち。大学の研究室の事務パート(2回/週)・介護保険の介護認定調査員(13件/月位)(女 50歳代)

【生産工程従事者】(11.1%)

- 設計・トレーサー(30歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(11.1%)

- 品物を箱に入れたり包装したり点検、その他(女 60歳代)

5-2 強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎 (障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

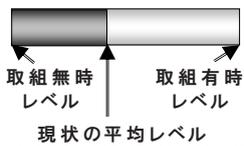
強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針」等が効果的な取組であり、それによって、休憩、精神的ストレスへの対処、職場への説明等の多くの課題が改善されていた。

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解 (現状の取組率:27.3%)

(一体的な取組:「コミュニケーションに時間をかける配慮(19.7%)」「産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(23.5%)」「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(35.9%)」)

- ◆以前勤めていたクリニックに体調悪化の際、病気のことを話したら「将来は生活保護になったり大変かもしれないけど・・・」と変な同情をされ、医療機関ですら偏見があることに驚いた。
- ◆保育士という子どもの大切な命をあずかる仕事についているが、小さい頃からの夢で、病気にならなければずっと続けたいと思っていた。でも、冬場の寒さが体に悪く、散歩等つらい。発症し、3年たつが、日常生活はあまり問題なし。ただ1人前の保育士としては、やはり上司からもイヤがられているのがわかり、つらい。同僚は支えてくれている人も多い。しかし、わからない病気を説明する難しさ・・・理解してはもらえない。
- ◆職場で皆が目をかけてくれて、手伝ってくれたり、つかれたら休憩室で休んでもいいと言う事を、常に気づかってくれて、仕事をさせてもらいました。会社・職場の仲間には、感謝しています。
- ◆あまりにも仕事がつきついで、自分でやるだけやってダメなら辞めるつもりでがんばりました。途中、入院することになり、病気の事を上司に話すことになりました。その時、それまで築いてきた回りとの関係や、私の仕事に対する姿勢、能力をひっくり返して、信頼関係があったから、2ヶ月後にまた復帰することができ、今も、皆がちよつとした気づかいをしてくれるので動めることができています。
- ◆派遣先が大企業だったので就労環境に恵まれていた。企業の大小に関わらず、病気の事を理解してくれる会社が増えたら良いと思う。一緒に働く仲間に自分の病気の事をきちんと伝え、理解してもらうことが大事だと思う。

この取組により改善される職業的課題



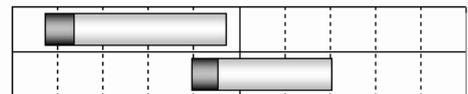
課題	改善状況
精神的ストレスに適切に対処すること	改善あり
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること	改善あり
適当な報酬を得ること	改善あり
仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること	改善あり
フルタイム(約8時間)の労働を行うこと	改善あり
歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)	改善あり
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持	改善あり

←最大の問題状況 最小の問題状況→

病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針 (現状の取組率:16.1%)

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明
病気や障害についての職場への説明



コミュニケーションに時間をかける配慮 (現状の取組率:19.7%)

- ◆有休を使つての通院は、気兼ねはあったが、当然の権利と、仕方がないとの思いからかなりの回数利用した。その為に中途からの作業に入りにくかったり、重要な連絡事項を知らされなかったり、というコミュニケーションの不足が度々あった。
- ◆外見が健常者と変わらないため、理解されにくい。たとえ話したとしても、膠原病・筋炎等は一般人には認知度がほとんどないので、理解を得ることが困難。実際には、話すことにより自分の立場が不利になるため、話せないことが多い。
- ◆仕事をするとすることは、社会に参加することです。週に2日でも仕事をしたいと思いつつ、16年の病歴になります。仕事をすると最も大切なことは、まわりの人々の理解と協力だと思います。私の場合、表面上は健康人に見えるので、よく知っている人でも大変さを理解していません。

この取組により改善される職業的課題

課題	改善状況
運搬すること	改善あり
立った姿勢で仕事をする	改善あり
歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)	改善あり
フルタイム(約8時間)の労働を行うこと	改善あり
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持	改善あり

主治医、専門医等への就労相談(現状の取組率:19.8%)

- ◆ 医師に復職可能であるという診断書をかいてもらうための期間が長かった。
- ◆ 主治医には現在も仕事上の悩みを聞いて頂き、社会人としてのアドバイスも交えお世話になっています。
- ◆ 主治医の先生に体調を考慮した職場が良いと職場の人に相談してもらいました。
- ◆ 主治医には、相談というより決まってから報告した。
- ◆ 無理をしない様注意有り、注意して仕事する様にとの事。
- ◆ 業務内容のみならず友の会活動、難病の講義等について主治医に相談している。
- ◆ 主治医の先生がすべての相談役になって下さっているので、参考にしながら職安などに行っている。
- ◆ 患者団体や病院の病気についての会で、病気の全体像や経過や生活の仕方について多く学ぶことができた。
- ◆ 就労は無理との診断。
- ◆ 中々自分の病名を研究されている医師に逢えなかった。やっと専門医に診て頂く事が出来るようになった。

この取組により改善される職業的課題



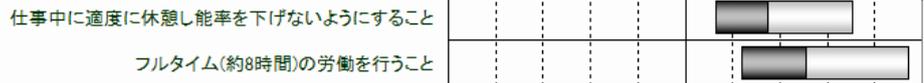
職場の出入りの施設改善(ドア、スロープ、駐車場、非常口など)(現状の取組率:20.4%)

この取組により改善される職業的課題



勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(現状の取組率:35.9%)

この取組により改善される職業的課題



勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等)(現状の取組率:24.6%)

(一体的な取組:「勤務中の休憩をとりやすくすること(28.2%)」)

- ◆ 病気前よりは無理はできなくなりましたが、看護師として日中のみ働く事には耐えられています。2交替の時発病しましたので、今は3交替、準夜勤のみにしてもらっています。
- ◆ 働きやすい時間帯での勤務。
- ◆ 好きな時間に出社して、好きな時間に退社している。
- ◆ 薬の切れる早朝、夕方からがとても辛く、時差出勤か短時間勤務が望ましい。(その分給料が少し安くなっても良い)
- ◆ 公務員の為か整備はされているが、それを行使するかは自分の選択(精神面で負担にならなければ可)。
- ◆ 父の自営業を手伝っていたので、体調を重視できた。仕事内容も、私に合わせて自由にやれた。
- ◆ 元々、勤務時間の決まっていない仕事である為、配慮があったというより困らない職場であった。

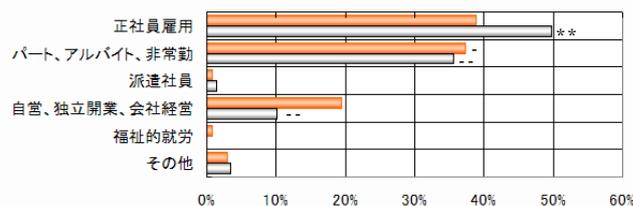
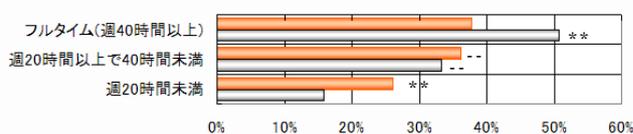
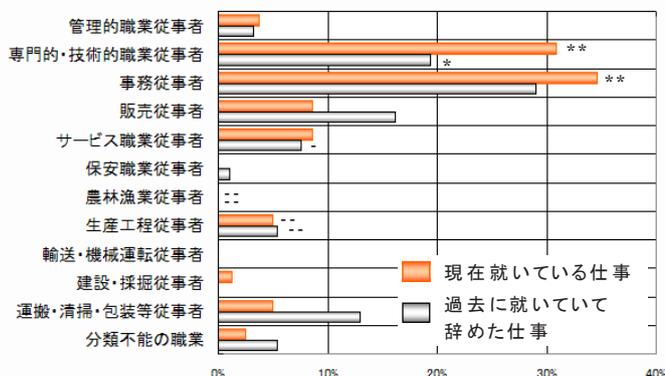
この取組により改善される職業的課題



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」36.2%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」49.6%であり、合わせると85.8%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、専門・技術職に就いている人が多く、農林漁業、販売、生産工程従事が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*、**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(18.8%)

- 事務職 (男 50 歳代、女 50 歳代)
- 経理事務 (女 50 歳代 2)
- 電話受けや事務 (男 30 歳代)
- 事務の仕事(午前中だけ)(女 50 歳代)
- 店番、経理、文書作成 (女 40 歳代)
- 事務一般で2~3年前は医療事務 (女 20 歳代)
- 開業医の受付事務 (女 40 歳代)
- 窓口業務、外回りあり (女 30 歳代)
- 事務が主。今は販売月15日、2月~11月まで (女 30 歳代)
- 病院クラーク(患者の誘導や雑用)(女 20 歳代)
- 医療事務 (女 20 歳代)
- 筆耕業(毛筆による代書)週2日出勤。他の日は在宅で仕事 (女 40 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(8.8%)

- 設備保全、工務部、規程作成、現場(屋外)での作業の事務的なバックアップ等 (男 50 歳代)
- 薬剤師 (女 50 歳代)
- 町の保健師 (女 40 歳代)
- 臨床検査技師、現在採血室に勤務。指が以前は痛かったが、現在は痛みも無く仕事に影響は出ていない (女 50 歳代)
- (書籍の)編集及びそれに関わる仕事 (女 40 歳代)
- 出版業(編集・校正等)(女 40 歳代)
- 反訳(録音テープを聞きパソコンに入力し文書化。在宅、仕事の受渡しに会社に向向)(女 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(7.5%)

- 看護師。病気になり、最初はパート、今は常勤勤務 (女 50 歳代)
- 看護師として精神病院日勤勤務 (女 70 歳代)
- 耳鼻咽喉科で看護師をして診察の介助等。月・水・金、半日のみ (女 50 歳代)
- 老人保健施設で看護師長 (女 50 歳代)

【様々な事務従事者】(7.5%)

- 官庁機関の受付。来館者への案内 (女 20 歳代)
- 金融事務(銀行のセンターで後方事務を集中して行う仕事、専用端末使用)(女 40 歳代)
- 会計事務・OA操作 (女 50 歳代)
- 機械メーカーの輸出担当(営業・業務・資料翻訳など)(男 50 歳代)
- 19年外勤の多い正職員。病気のため継続が難しく発病3年でリタイア。他の非常勤雇用の職を得て10年以上 (女 50 歳代)
- 事務作業に近い(パソコンで作業)(男 50 歳代)

【経理事務員】(7.5%)

- 経理事務、PCでの給与計算、振込、年調他、工場作業者の昼食時のお茶出し他雑務 (女 50 歳代)
- 清算業務、伝票管理 (女 40 歳代)
- 経理事務(給与ソフトでの給与計算、PSによる仕入・支払・振込等)作業員の昼食時のお茶出し等、肉体的労働的な事も多い (女 50 歳代)
- 経理事務を20才後半から同じ会社で同じ仕事。57才で始めて膠原病と診断後も勤務 (女 60 歳代)
- 税理士事務所事務員OA (女 50 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(5.0%)

- 理容業 (男 40 歳代)
- 喫茶店経営 (女 50 歳代)
- 民宿業 (女 50 歳代)
- 駐車場内警備及び誘導 (男 50 歳代)

【生産工程従事者】(5.0%)

- プレスエとして就職 (男 40 歳代)
- 車部品等のメッキ工場の現場 (女 50 歳代)
- 面張り作業 (女 50 歳代)
- 商品の製造(朝3時30分起床、12時30分頃終了、その後明日の準備)。青色申告の為、事務全般 (女 50 歳代)

【管理的職業従事者】(3.8%)

- 大学行政職 (女 30 歳代)
- 会社経営 (男 40 歳代)
- 会社経営 (男 40 歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(3.8%)

- ケアマネージャー (女 40 歳代)
- 介護支援専門員、管理者、50ケース担当。在宅介護支援センター相談員、管理者。ホームヘルパーセンター管理者 (女 60 歳代)
- 正社員の時、一般事務。パートの時、近所の福祉施設(グループホーム)(男 60 歳代)

【保育士】(3.8%)

- 保育士 (女 40 歳代、女 60 歳代)
- 保育士、現在は子育て支援業務に従事 (女 30 歳代)

【教員】(3.8%)

- 公立中学校教諭 (男 50 歳代)
- 公立中学校の社会科教諭。担任や部活動の顧問は無。日常の授業や校務分掌、修学旅行や校外学習などの課外活動も行う (男 40 歳代)
- 短大非常勤講師 (男 60 歳代)

【個人教師】(3.8%)

- 公文のアシスタント (女 50 歳代)
- ピアノ教師のグループに所属 (女 30 歳代)
- 子供たちにピアノを教授 (女 40 歳代)

【販売店員】(3.8%)

- 呉服の販売、月に2、3回 (女 60 歳代)
- レジ・発注・清掃 (女 40 歳代)
- レジを打つ、店番、掃除 (女 60 歳代)

【営業職業従事者】(3.8%)

- 医薬情報担当者(MR) (男 50 歳代)
- 介護用品販売、レンタル、住宅改修、補聴器販売 (男 50 歳代)
- 介護用品・介護機器の販売・レンタル・介護保険による住宅改修、補聴器の販売、営業 (男 40 歳代)

【介護サービス職業従事者】(3.8%)

- ヘルパー、デイサービス (女 50 歳代)
- 介護の仕事(療養型の病院)。寝たきり、重症、自立及び要介護の患者の世話。入浴・排泄・食事他 (女 50 歳代)
- 介護職 (女 50 歳代)

【その他の運搬・清掃・包装等従事者】(3.8%)

- スーパーの中のデリカのお弁当製作 (女 50 歳代)
- 日配。(1年半位)店は9:00~24:00営業しています。私は8:00~6:00まで。主に牛乳・パン・菓子・漬物・豆腐・乳製品等の品出し (男 50 歳代)
- 学校臨時用務 清掃、園芸、接待 (女 50 歳代)

【分類不能の職業】(2.5%)

- 自営なので、台所仕事も有 (女 30 歳代)
- 重い物を運ぶのが偉い (男 60 歳代)

【様々な販売従事者】(1.3%)

- 自営業の薬局において、販売・事務・配達等の仕事 (女 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(1.3%)

- 会社役員 (女 40 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(1.3%)

- 浄化槽・貯水槽の維持管理(メンテナンス)並びに清掃(各市公認業)(男 50 歳代)

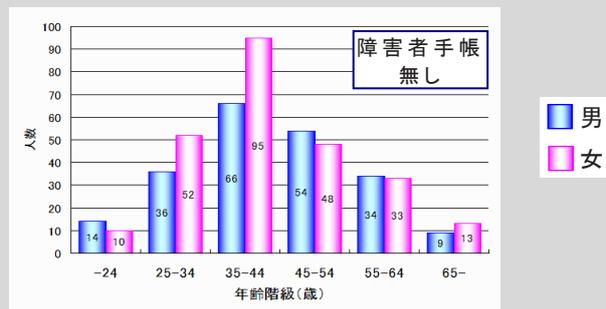
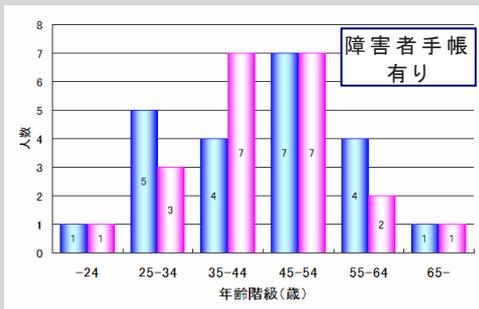
6 潰瘍性大腸炎

下痢や腹痛を起こす炎症性の腸疾患。患者数が多く、就労している人も多い。

医師の就労への見解

潰瘍性大腸炎のほとんどの方が復職可能な状態まで回復していると考えて良いでしょう。就労しながらの通院で治療可能な場合もありますし、休業を必要とする場合も重症度や治療内容で個人差がありますので、主治医に尋ねてください。

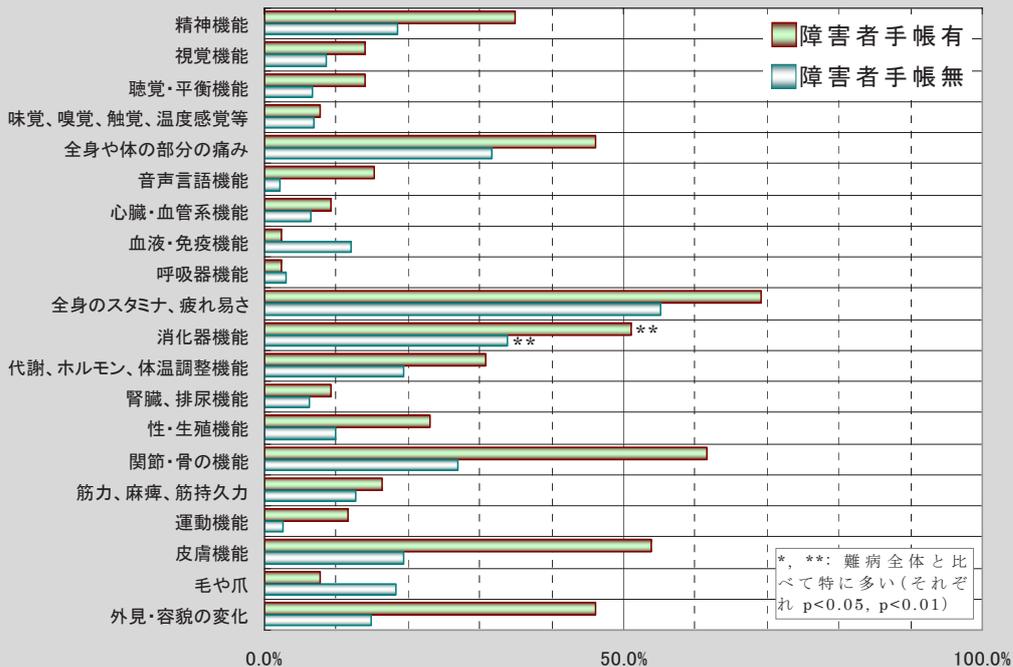
障害者手帳のある人は 8.2%。男女差は少なく、30 歳代後半にピークがあり幅広い年齢層にみられた。



比較的多い機能障害

潰瘍性大腸炎は、文字通り大腸の炎症により大腸がただれ、潰瘍をつくるなどにより、血便や下痢、腹痛が起こり、悪化すると発熱などの全身症状が起こる病気です。

- 手帳のある者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「関節・骨の機能」「皮膚機能」「消化器機能」等
- 手帳のない者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「消化器機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「精神機能」「関節・骨の機能」「運動機能」「皮膚機能」「外見・容貌の変化」「消化器機能」「音声言語機能」であった。



6-1 潰瘍性大腸炎(障害者手帳あり)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

潰瘍性大腸炎(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「通院への配慮」「能力的に無理のない仕事への配置」等が効果的な取組であり、それによって、決められた通院、出勤、職務達成等の多くの課題が改善されていた。

通院への配慮(現状の取組率:62.2%)

- ◆通院(入院時も含め)への配慮有り。

この取組により改善される職業的課題

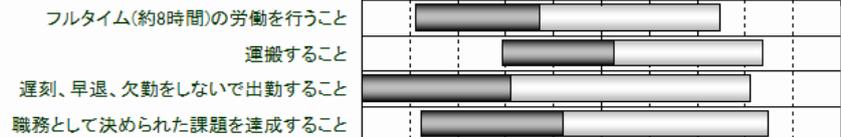


←最大の問題状況 最小の問題状況→

能力的に無理のない仕事への配置(現状の取組率:36.4%)

- ◆重い物は持たない。
- ◆長時間労働(毎日16時間)・少ない休日(週1日)・サービス残業(残業代なし)・少ない給料(月給17万円)。私の病気に対しての周知なし・厳しすぎる上司・不当な批判・少ない社員・発症後、血便出しながら2週間仕事を続けさせられたこと。体調に配慮が無いこと。

この取組により改善される職業的課題



同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談(現状の取組率:51.4%)

- ◆地域友の会(勤めたい)。
- ◆患者会が信頼できる。
- ◆オストミー協会を勧めて頂きたいです。
- ◆同病者が一番。
- ◆IBD ネットワーク。

この取組により改善される職業的課題



産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:30.3%)

この取組により改善される職業的課題



社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ(現状の取組率:36.4%)

(一体的な取組:「本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(36.4%)」「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(32.4%)」)

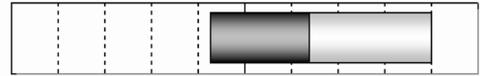
この取組により改善される職業的課題



仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(現状の取組率:36.4%)

この取組により改善される職業的課題

危険のある事態や状況に適切に対処すること



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:42.9%)

※昇進すること、仕事に必要な技能の習得に効果的

- ◆身体と精神の傷病を持っており、周囲の理解がなく、退職せざるを得なかった。残念。
- ◆会社が他県に移転したため離職しましたが、お世話になっていた間は部長さんをはじめ皆さんがいろんな面で配慮して下さいととてもすばらしい会社で今でも感謝しております。

短時間勤務(現状の取組率:19.4%)

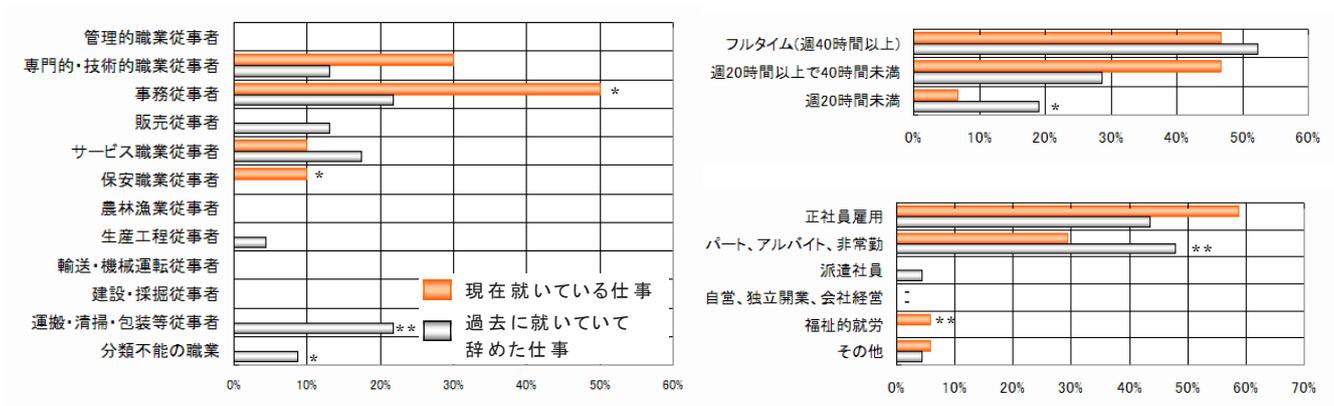
※昇進することに効果的

- ◆難病患者は、長時間労働が難しい人が多いので、企業は、給料を半額にして午前中か午後のどちらかでも働けるようにしてほしい。
- ◆病気をかかえているため、パートで4時間30分のお仕事を月～金までにおさえてもらっている状況です。土日は休みにしてもらっています。通院は仕事を終了後に行けるようにしてもらっています。

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」39.5%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」52.6%であり、合わせると92.1%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、保安職に就いている人が多かった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(40.0%)

- 医療事務 (女 20 歳代)
- 一部事務組合で、TELの対応・事務処理等 (男 40 歳代)
- デスクワーク(事務)(男 40 歳代)
- デスクワーク (男 30 歳代)

【専門的・技術的職業従事者】(20.0%)

- 看護師 (女 40 歳代)
- 安全衛生管理業務～特に従業員健康管理等 (男 50 歳代)

【様々な事務従事者】(10.0%)

- 人材ビジネス会社勤務 (男 50 歳代)

【サービス職業従事者】(10.0%)

- 福祉職(在宅訪問)(女 40 歳代)

【保安職業従事者】(10.0%)

- 病院の夜間警備員 (男 50 歳代)

6-2 潰瘍性大腸炎(障害者手帳なし)

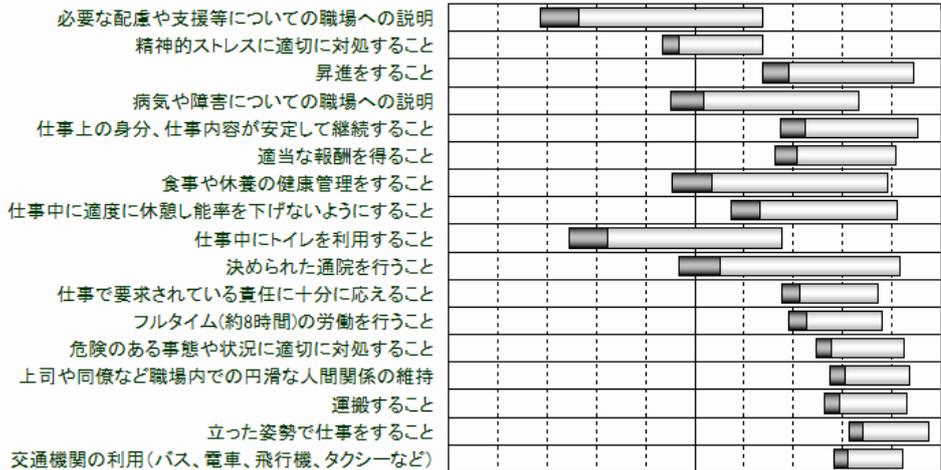
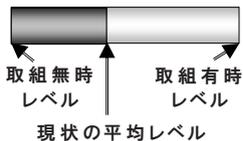
① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

潰瘍性大腸炎(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針」「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」等が効果的な取組であり、それによって、配慮や支援に関する職場への説明、勤務中のトイレ、通院等の多くの課題が改善されていた。

病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:16.5%)

◆制度上の配慮はあるものの、現場では意識が低い。→身体的ハンディ有り→マイナス評価

この取組により改善される職業的課題

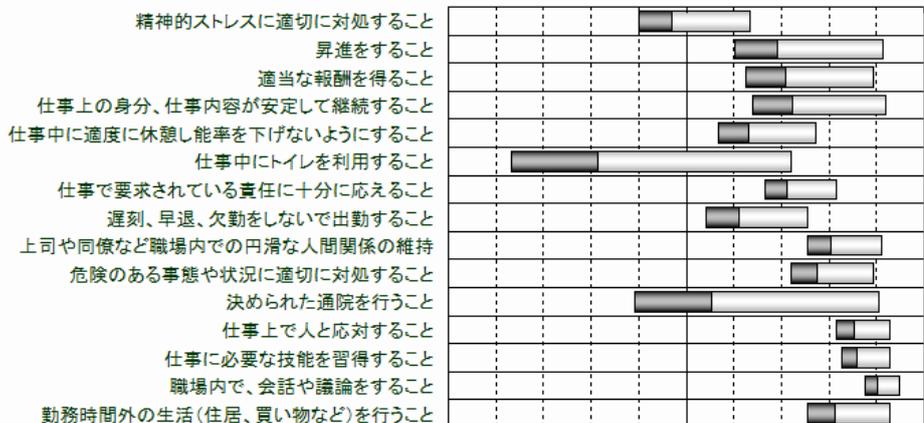


←最大の問題状況 最小の問題状況→

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:29.6%)

- ◆今の職場では、さほど病気について伝えていません。
- ◆病気に対する上司の嫌がらせ、左遷あり。(過去)
- ◆上司や同僚に病名を伝え、食事面の理解を得るのに勇気が必要だった。同僚や上司に理解があり、助かっている。
- ◆病気に対する周りの理解がないので、変に大変にしたり・軽く見られたりする。
- ◆職場で公表していない。
- ◆病気に対する理解と配慮がないと感じる。体力的にきついと(通勤の遠い所へ週2回行かされている)感じる事あり。体調不調を訴えているが、特に変わらずにいる。
- ◆現在病気が軽快したため制約は解消されたが、増悪の際には仕事を辞めるよう言われた。
- ◆入退院をくり返す事への理解を会社に求める事は、無理に思う。だから、私は会社に病名は告げていません。
- ◆病気がある事を正直に話しての採用は、まずありえないのではないのでしょうか(パートでも)。結局、隠して採用され、悪くなって会社の方に事情を話すと、やはり健康上に問題があるのならと、やめざるをえなくなります。
- ◆形だけでなく、産業医を通じて人事部等が病気に対する正確な理解をして、職場管理職を指導して欲しかった。
- ◆見た目には健康そうに見えても病気であること、病気の性質について理解してもらおうこと。
- ◆軽快時と体調悪化時の差が大きい為に、そのギャップが苦しいです。周囲の人間に、できるならば自分の病気については知っていて欲しいと思います。

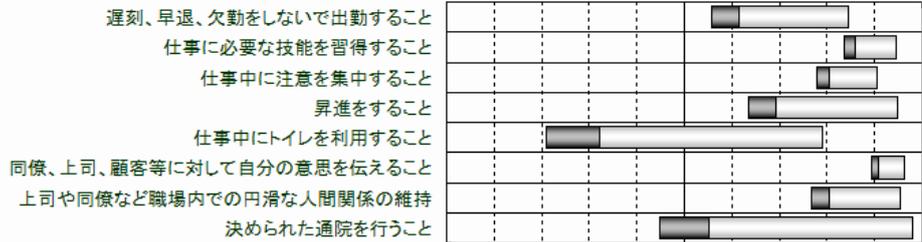
この取組により改善される職業的課題



コミュニケーションに時間をかける配慮(現状の取組率:17.8%)

- ◆ 病気を理解してもらうため直属の上司と話し合い、医師の診断書なども見せ説明したが(その時は理解してくれたはずが)、後日、別の人に「仮病」と話していた事を知り、大変残念でぐちゃぐちゃした事がある。
- ◆ 上司が他の職員との人間関係や体調の変化についてコミュニケーションを取り、上下の意志の疎通がないと、ストレスがたまる。がまんして仕事してしまう。

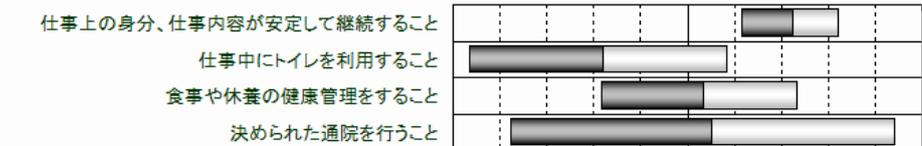
この取組により改善される職業的課題



通院への配慮(現状の取組率:50.9%)

- ◆ (有給が取りやすいか、有給を分割で使える等)復職を考えているが、体調をくずした時の事、月に1、2回通院を気持ちよく、認めてもらえるか、その点を考えると、やはりいろいろ考えてしまう。
- ◆ 通院するための休みを取りやすくしてもらっている。(日、時間とも)
- ◆ 通院=仕事をさぼると思われている。(特に責任者)
- ◆ 有給休暇を自由に使えない。(取りたくても文句を言われる)
- ◆ 労働条件で、土日の休みに仕事をして、平日に通院のために休暇が取れようにして欲しい。
- ◆ 上司が私の病気を知っている方でしたので、通院に関して配慮して頂きました。
- ◆ 仕事は各自で計画し進めていた。(通院等で休暇をとる場合も、休暇をとりづらい雰囲気ではなかった)

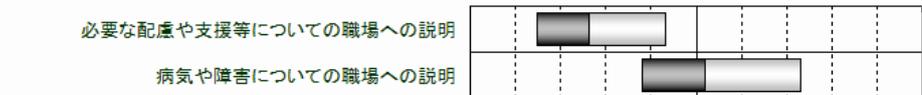
この取組により改善される職業的課題



主治医、専門医等への就労相談(現状の取組率:33.0%)

- ◆ 主治医に勤務条件について相談し、その結果を会社に報告し、勤務制限等の措置を配慮してもらっている。
- ◆ 就職だけに限らず、生活上全般について話をしました(主治医や保健師・関係機関に)。どこでもよいので相談できる場があるというだけで患者にとっては良い事だと思います。
- ◆ 主治医にはまずパート等軽めのものから仕事を始めたらと言われ、今とりあえずパートで仕事ができている。
- ◆ やはり主治医は私の体調をご存知ですので、私にとって役立つ人です。
- ◆ 主治医に生活上において気をつけなければならない事項や病気の説明を聞くことができた。
- ◆ 主治医に相談したところにより、前向きに就職活動ができた。
- ◆ 主治医が、診察時以外にもメール等で就職の相談にのってくれた。

この取組により改善される職業的課題



マンツーマン個別実務指導(オンザジョブトレーニングなど)(現状の取組率:10.3%)

※仕事に集中すること、仕事に必要な技能の習得に効果的

冷暖房、エアコン、空気清浄機など(現状の取組率:37.3%)

※仕事に必要な技能の習得、立った姿勢での仕事に効果的

- ◆ 喫煙者がいるが、分煙等の対策が必要である。

仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:34.0%)

※適度な休憩による能率管理、要求される責任に相応する仕事、危機的状況への適切な対処に効果的

職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備(現状の取組率:19.5%)

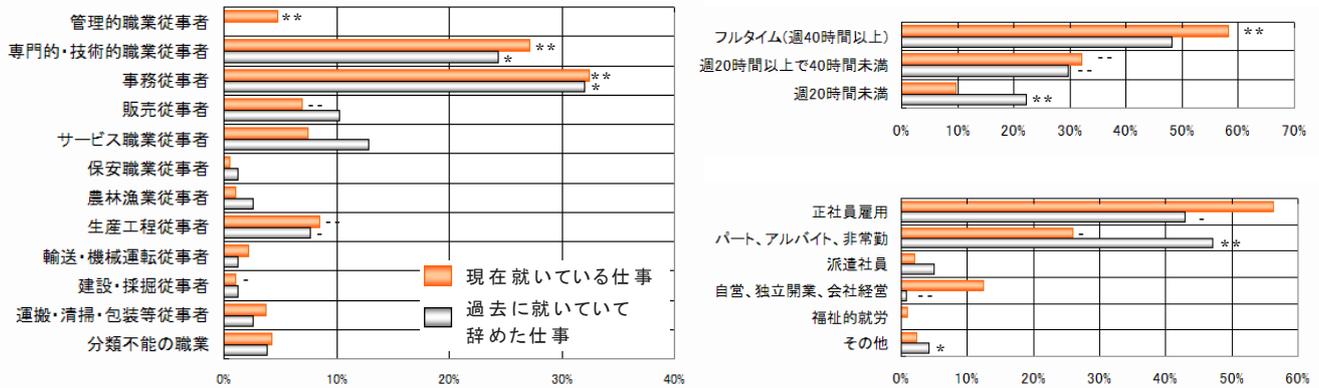
※健康管理、日常生活の維持に効果的

- ◆ トイレや休憩に行きやすい環境。
- ◆ 今のところ、自分の病気は生活に支障を及ぶ程ではなく、上司が理解ある点助かっているが、トイレ・休憩所・食堂など不備があり、不便を感じる。健康にムラがあるのが問題。

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」66.9%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」25.9%であり、合わせると92.7%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、管理職、専門・技術職に就いている人が多く、生産工程従事、販売職が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*, **: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。--, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(16.9%)

- 事務 (女 20 歳代 2、女 30 歳代 2、女 40 歳代 5、男 40 歳代、男 50 歳代)
- 経理事務 (女 20 歳代、女 50 歳代)
- 事務職 (公務員) (男 40 歳代)
- 役所の事務。現在では障害福祉課 (女 20 歳代)
- 消防署事務 (男 50 歳代)
- 家族の工場で自宅事務 (庶務・会計) (女 50 歳代)
- 事務・訪問・相談事業など (女 30 歳代)
- パソコン操作・電話応対等 (女 40 歳代)
- 薬局事務 (女 20 歳代)
- 電話、FAXからの注文処理。PC入力 (女 30 歳代)
- 人事事務全般 (女 30 歳代)
- 秘書業務 (理事のサポート) (女 40 歳代)
- 医療事務 (女 40 歳代)
- 病院でのカルテ庫内でのカルテ整理 (女 30 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(8.4%)

- 技術系研究開発 (男 20 歳代、男 30 歳代)
- プリント基板の故障解析 (男 30 歳代)
- 工場の生産技術職 (男 50 歳代)
- 土木技術事務 (男 30 歳代、男 40 歳代)
- 養鶏農協の獣医師 (男 40 歳代)
- 放射線技師 (女 20 歳代)
- 弁護士として活動 (男 60 歳代)
- 法律専門職 (男 40 歳代)
- スポーツ新聞社の編集者 (男 30 歳代)
- 業界新聞の作成・発行 (女 30 歳代)
- 絵師 舞台の背景絵師 (男 30 歳代)
- 寺(納経所窓口にて)入筆 (女 70 歳代)
- ピアノ伴奏 (女 40 歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(3.9%)

- 生活・病気・育児に関する相談業務 (女)
- 役所の福祉専門員 (女 20 歳代)
- 身体障害者の方の相談支援専門員 (女 50 歳代)
- 保育士 (女 40 歳代)
- 社会福祉士・介護支援専門員 (女 40 歳代)
- 職業訓練指導員 (男 30 歳代)

【販売店員】(3.9%)

- 書店でのレジ業務 (女 20 歳代)
- パン屋さんでのアルバイト(販売) (女 20 歳代)
- スーパーの商品出し、発注など (女 40 歳代)
- スーパーのレジ (女 20 歳代)
- 塗料の販売、塗料店への販売・営業 (男 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(3.4%)

- 看護師 (女 20 歳代、女 40 歳代、女 50 歳代、男 40 歳代)
- 個人の医院での看護業務 (女 30 歳代)
- 精神科の病棟看護師 (女 30 歳代)

【会計事務従事者】(3.4%)

- 銀行事務 (男 40 歳代、女 40 歳代 2)
- 月2回経理仕事、他は留守番&電話 (女 30 歳代)
- 税務関係窓口と徴収事務 (男 50 歳代)

【様々な生産工程従事者】(3.4%)

- 金属(ステンレス、アルミ)板金 (男 30 歳代)
- 建築金物製作、及びトラック運転(運搬)。アルミ、ステンレス、その他切断、溶接、組立等 (男 40 歳代)
- 半導体センサーの組立 (男 30 歳代)
- パソコンを使い着物の柄つけ (女 30 歳代)
- 製造業 (女 30 歳代)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(3.4%)

- 陶器製造 (男 30 歳代)
- 製造業(そば製粉作業) (男 40 歳代)
- パン屋でレジ、パンを作る手伝い等 (女 40 歳代)
- 学生服縫製 (女 30 歳代)
- フトン等寝具製品の製造販売業務 (男 60 歳代)
- システムキッチン製造、書店での接客 (男 20 歳代)

【不特定の事務従事者】(2.8%)

- 公務員 (男 30 歳代、男 40 歳代)
- 地方公共団体(大阪府) (男 30 歳代)
- 地方公務員(事務職) (男 40 歳代、女 30 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(2.8%)

- 子供の預かり・障害児預かり(女 20 歳代)
- 理容師(男 30 歳代)
- 調理補助(女 30 歳代)
- 葬儀会社のサービススタッフ(女 30 歳代)

【介護サービス職業従事者】(2.8%)

- 介護・老健(女 20 歳代)
- 知的障害施設での介助と縫製指導(女 60 歳代)
- 訪問ヘルパー(女 40 歳代)
- 盲人ガイドヘルパー、盲聾者通訳介助(40 歳代)
- 介護・事務職・接客業(男 20 歳代)

【建築技術者】(2.2%)

- 建築技術職(男 30 歳代)
- 一般建築工事管理(男 50 歳代)
- 高層住宅室内改装工事現場監督(男 50 歳代)
- 一般建築士(男 50 歳代)

【不特定の教員】(2.2%)

- 教育公務員(男 30 歳代)
- 公立学校教諭(女 50 歳代)
- 地方公務員(教育)(女 30 歳代)
- 養護学校教員(女 20 歳代)

【個人教師】(2.2%)

- ジム(女 30 歳代)
- 講師(文化センター)(女 50 歳代)
- 学習塾(男 50 歳代 2)

【様々な事務従事者】(2.2%)

- 営業事務(人材会社)(女 40 歳代)
- 商品納返品作業、書類の入力・管理(女 40 歳代)
- 銀行の渉外委託員(集金・勧誘)(女 50 歳代)
- バスの運行計画の作成等(男 30 歳代)

【接客・給仕職業従事者】(2.2%)

- 自営(飲食店)(男 30 歳代)
- ファミリーレストランのウェイター(男 10 歳代)
- 温泉での受付、リネンの片付け、掃除(女 30 歳代)

【様々な管理的職業従事者】(1.7%)

- 測量・設計業の会社を経営(男 50 歳代)
- 学習塾を経営(男 60 歳代)
- 病気でリストラ、独立し同じ物を販売(男 50 歳代)

【管理的公務員】(1.7%)

- 町議会議員 非常勤講師(小学校)(女 50 歳代)
- 公立学校の管理職(男 40 歳代)
- 市立高校の校長(男 40 歳代)

【法人・団体管理職員】(1.7%)

- 製造の班長→組長→係長(発症)(男 50 歳代)
- 労働組合書記長、事務(男 50 歳代)

【機械技術者(開発)】(1.7%)

- 製品開発サポート(男 70 歳代)
- プリンターの設計から顧客対応(男 50 歳代)
- 自動販売機の設計・開発(男 30 歳代)

【教員】(1.7%)

- 私立幼稚園副園長(女 40 歳代)
- 教職(小学校)(女 40 歳代)
- 養護学校の教員(女 50 歳代)

【高等学校教員】(1.7%)

- 夜間定時制高校教諭(男 50 歳代)
- 高等学校教諭(男 40 歳代、男 50 歳代)

【受付・案内事務員】(1.7%)

- 嘱託社員 受付事務(男 50 歳代)
- 市役所のアルバイト(受付・事務)(女 40 歳代)
- 個人医院の眼科受付事務と検査助手(女 30 歳代)

【電話応接事務員】(1.7%)

- TEL対応、パソコン入力(女 20 歳代)
- 電話対応、発注、経理(女 30 歳代)
- 電話の受け対応(女 20 歳代)

【生産現場事務員】(1.7%)

- 現場作業の管理、事務仕事(男 20 歳代)
- 品質管理、クレーム対応、書類作成(男 30 歳代)

【事務用機器操作員】(1.7%)

- 事務系、パソコン業務、経理(女 40 歳代)
- 請負社員 月2回病名データ入力(男 20 歳代)
- 事務。主にパソコン作業(女 50 歳代)

【様々な販売従事者】(1.7%)

- ぬじ輸入販売、独立して20年(男 50 歳代)
- 金利、為替トレーディング(男 30 歳代)

【営業職業従事者】(1.7%)

- 営業(男 30 歳代)
- 営業及び総合職(男 50 歳代)
- 営業・企画開発(男 60 歳代)

【その他の製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(1.7%)

- 革製品の細かな作業、出荷時の検品(女 50 歳代)
- 革製品製作から出荷まで(女 50 歳代)
- 印章業(自営)(書道教室兼務)(男 40 歳代)

【運搬従事者】(1.7%)

- 小売業の物流作業 食料品の箱詰め作業の現場作業管理(男 40 歳代)
- 雑務、品物配達等のパート(男 60 歳代)

【農林漁業従事者】(1.1%)

- 近くの農作物収穫の手伝い(男 10 歳代)
- 造園・庭園の設計・作図・積算・見積もり・施工管理及び施工作业(男 30 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(1.1%)

- タクシー乗務。朝7:00～夜6:00頃(男 70 歳代)
- 社長の専属運転手(男 40 歳代)

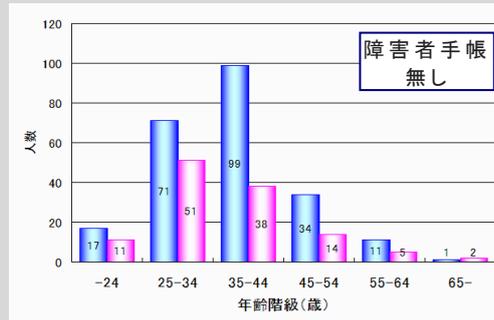
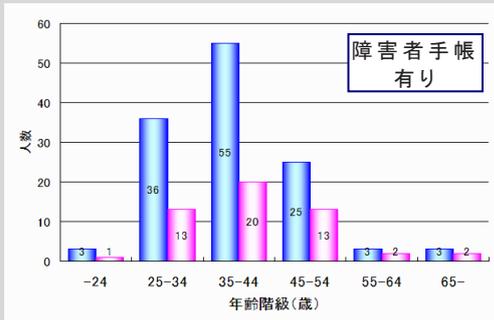
7 クローン病

若い男性に多い消化管の慢性の炎症。病名は発見者のクローン医師の名から。

医師の就労への見解

自己管理ができていれば、仕事は問題なくできます。症状が悪化した場合でも、適切な医療を行えば、症状は軽快するので仕事を辞める必要はありません。通院で治療可能な場合もありますし、重症化した場合でも、約 2～6 ヶ月の入院治療により職場復帰は可能です。その他、症状によっては、約 2～3 週間の治療のための入院、外科的療法で約 1～2 ヶ月の入院治療などがあります。

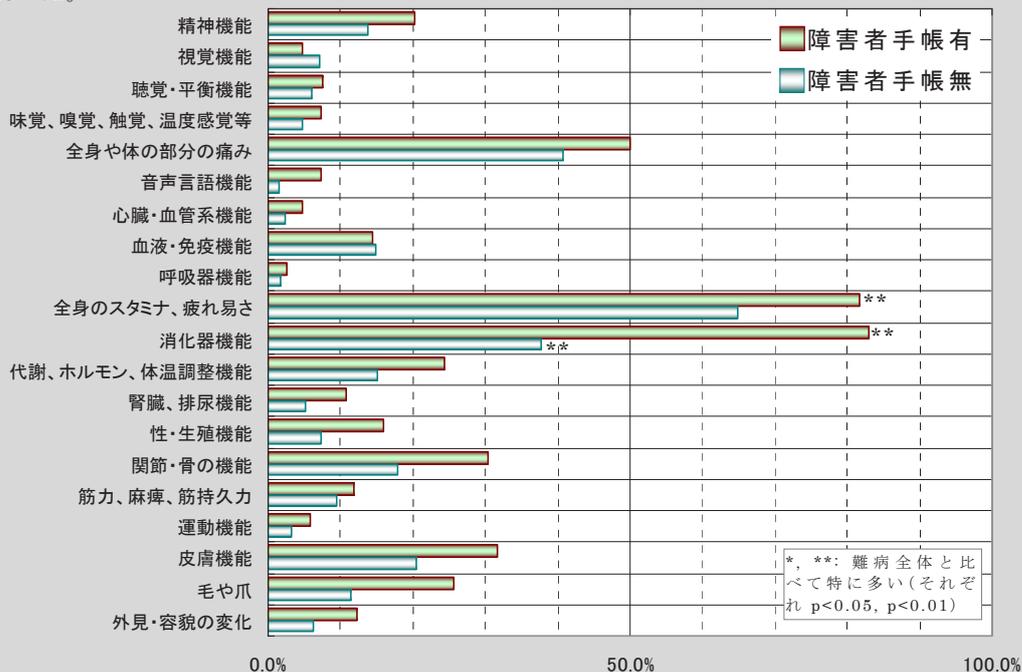
障害者手帳のある人は 33.5%。男性が比較的多く、30 歳代後半にピークがあり幅広い年齢層にみられた。



比較的多い機能障害

腸の炎症は小腸や大腸の様々な場所で起こり、腹痛や下痢などを引き起こします。また、栄養が十分に吸収できないことにより、貧血、低蛋白血症、体重減少、発熱、関節炎などの全身症状に及ぶこともあります。

- 手帳のある者: 「消化器機能」「全身のスタミナ、疲れ易さ」等
- 手帳のない者: 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「消化器機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「全身のスタミナ、疲れ易さ」「消化器機能」「毛や爪」「腎臓、排尿機能」「音声言語機能」「関節・骨の機能」「精神機能」「性・生殖機能」「皮膚機能」であった。



7-1 クローン病(障害者手帳あり)

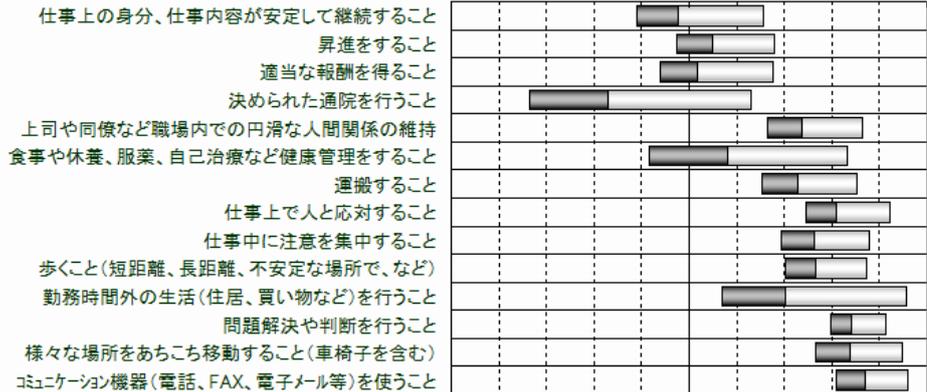
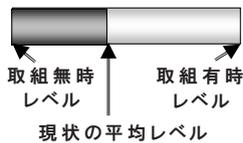
① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

クローン病(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」「能力的に無理のない仕事への配置」等が効果的な取組であり、それによって、通院、仕事の継続、健康管理等の多くの課題が改善されていた。

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解 (現状の取組率:32.7%)

- ◆ 体調がいい時と悪い時の状況を理解してくれる事。トイレの回数の多さへの理解・配慮も。
- ◆ 病気を完全に治まるまで会社に出てくると言われ転職。病気のことを説明して、理解してもらえない。
- ◆ 具合が悪くて休憩していても、“なまけている”と考えてしまう人が多いので、弱者への対応を見直して欲しいです。

この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況 最小の問題状況→

能力的に無理のない仕事への配置 (現状の取組率:29.4%)

(一体的な取組:「仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(26.7%)」「職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備(24.4%)」「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(20.8%)」「勤務中の休憩をとりやすくすること(28.8%)」)

- ◆ 超勤はしない。重量物を運ぶ時の配慮あり。出来高制なのもあるが、無理なくできる量に配慮して下さっている。
- ◆ 採用時は残業等が多く、チーフという自分もあり大変でした。それがストレスになり、病状悪化し入院となり、その後上司等に相談しパート雇用を希望し受け入れてもらいました。体調等もとても気づかってくださり、働きやすい職場です。
- ◆ 夜間点滴加療していることもあり、出張や残業を行わず、それが元で自分のやりたい仕事に従事させてもらえない。
- ◆ 腸の狭窄のため、経腸による栄養補給。1800kcalに18時間必要。在宅勤務により仕事を継続。

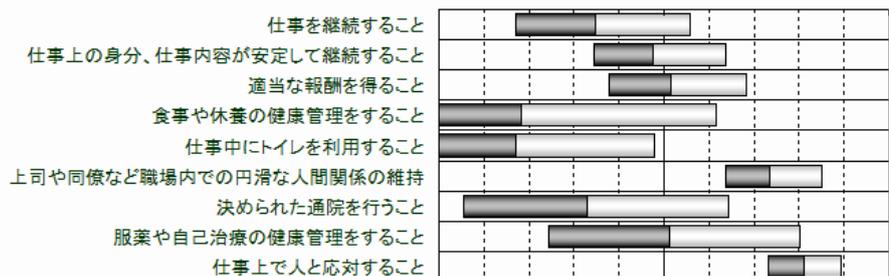
この取組により改善される職業的課題



勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮 (現状の取組率:44.8%)

- ◆ 服薬時間、トイレ時間の確保。

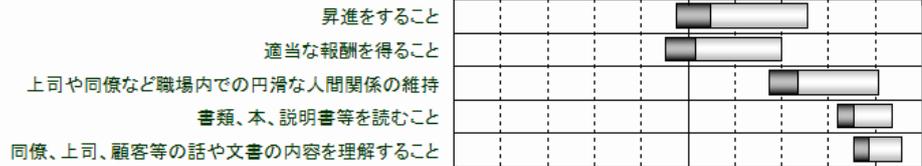
この取組により改善される職業的課題



社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ(現状の取組率:25.0%)

- ◆ 病状によっては、職業上のつきあいの食事が出来ない。

この取組により改善される職業的課題



雇用率制度での雇用(現状の取組率:14.8%)

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明

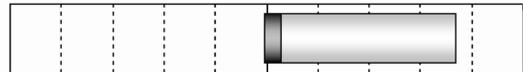


主治医・専門医と職場担当者を交えた仕事内容のチェック(現状の取組率:7.4%)

- ◆ 脱水を起こしやすいので、工作中に水分を摂ることや、お手洗いが近いことは了解済み。
- ◆ 食事制限に関する理解。頻回に起こるトイレ利用の理解。

この取組により改善される職業的課題

フルタイム(約8時間)の労働を行うこと

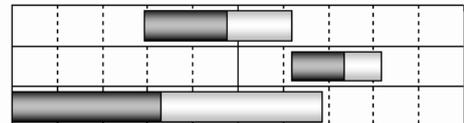


通院への配慮(現状の取組率:57.0%)

- ◆ 通院で有給休暇を全て消化してしまう。なんとかしてほしい。
- ◆ 通院日の変更、治療のさまたげになるような事を言われた。
- ◆ 時差出勤やフレックス、通院の為に休みがとりやすいことが一番必要と思う。
- ◆ 通院の為に残業の制限。
- ◆ 年休など有休がとれる仕事がい。通院の場合、会社を休まなくてはならない。
- ◆ 誰もが日常業務を処理するので手一杯でしたので、制度はあっても使えないものも多かったです。
- ◆ 通院は有給を使わずに、配慮してくれる。

この取組により改善される職業的課題

仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
 上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
 決められた通院を行うこと

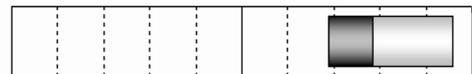


産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:30.9%)

- ◆ 転勤時には産業医面談がある。
- ◆ 仕事第一の考え方がある(企業としては仕方ないと思うが…)。一応健康第一と上司は言っているが仕事納期第一であり健康の事など何も考えていない様に思われる。

この取組により改善される職業的課題

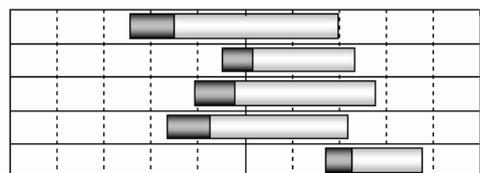
病気や障害についての職場への説明



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:20.8%)

この取組により改善される職業的課題

仕事を継続すること
 適当な報酬を得ること
 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること
 通勤すること



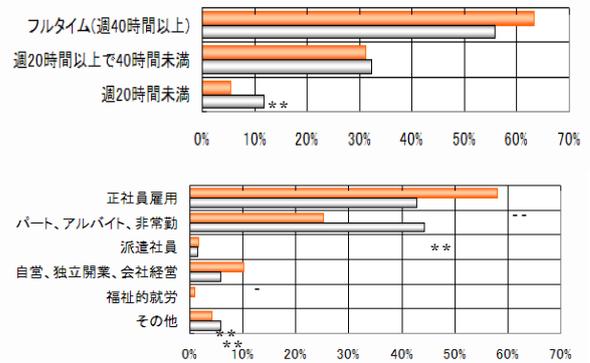
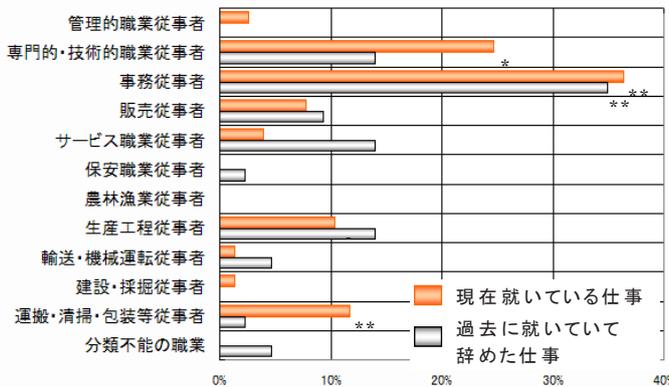
その他の効果的な取組

勤務中の休憩をとりやすくすること…適当な報酬の獲得、能率管理、トイレの利用、服薬や自己管理に効果的
 ハローワークの専門援助窓口への就労相談…必要な支援や配慮の職場への説明に効果的
 職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備…ストレス対処、移動することに効果的
 仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更…仕事の継続、休まず出勤すること、健康管理に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」59.6%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」35.5%であり、合わせると95.1%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、運搬・清掃・包装等従事、専門・技術職に就いている人が多く、生産工程従事が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**): 平成 21 年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p<0.05$, $p<0.01$)。-,...: 同少ない。

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(17.4%)

- 一般事務 (男 20 歳代、男 30 歳代、男 40 歳代、女 30 歳代)
- 公務員(デスクワーク中心)(男 30 歳代)
- 申請書審査、証明書類の作成・受付 (男 20 歳代)
- 市役所事務員(障害者手帳枠採用)(男 30 歳代)
- 庶務、データ入力、書類整理 (男 30 歳代)
- 人材開発(研修講師、研修企画)(男 40 歳代)
- 病院で医療事務(会社委託社員)(女 40 歳代)

【様々な事務従事者】(10.1%)

- 税務申告他、経理(PC入力等)(女 40 歳代)
- 証券会社、内部監査サポート (男 20 歳代)
- オフィス家具工場受付、発注管理 (男 20 歳代)

【情報処理・通信技術者】(5.8%)

- システムエンジニア (男 30 歳代)
- 組込み系ソフトウェア開発 (男 30 歳代)
- プログラミング・装置加工組立・検査 (男 20 歳代)

【その他の専門的職業従事者】(5.8%)

- トレーニングジムでのトレーナー業務 (女 20 歳代)
- 家庭教師 (10 歳代)
- 不動産鑑定士 (男 40 歳代 2)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品)】(5.8%)

- 部品の製造(研磨)(男 30 歳代 2)
- 肉体労働系 鉄工業、溶接など (男 30 歳代)
- 金属加工 (男 30 歳代)

【製造技術者(開発)】(4.3%)

- 工作機械の設計。CAD作業中心 (男 40 歳代)
- 研究開発(実験分析~報告書作成)(男 30 歳代)

【建築・土木・測量技術者】(4.3%)

- 建築工事現場管理 (男 50 歳代)
- 土木の設計 (男 30 歳代、男 50 歳代)

【理学療法士、作業療法士】(4.3%)

- 病院・施設での作業療法士 (男 30 歳代)
- 作業療法士(脳神経外科(急性期))(女 30 歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(4.3%)

- パソコン、ネットを使った集計・監視 (男 40 歳代)
- パソコンでのデータ管理、電話対応 (女 30 歳代)

【様々な販売従事者】(4.3%)

- 食品卸会社。納品・営業 (男 20 歳代)
- コンピュータシステム営業・人材派遣 (男 30 歳代)

【商品販売従事者】(4.3%)

- 販売業。商品陳列、レジ (女 30 歳代)
- 販売・薬局における雑貨担当者 (男 40 歳代)

【様々な生産工程従事者】(4.3%)

- オートバイ販売修理のメカニック (男 30 歳代)
- 部品製造・パン成型 (男 50 歳代)

【清掃従事者】(4.3%)

- 産業廃棄物収集、処理現場作業 (男 30 歳代)
- 白アリ駆除工事業自営 (男 30 歳代)

【その他の運搬・清掃・包装等従事者】(4.3%)

- 草刈やトラック荷おろし、不良品再生 (男 40 歳代)

【管理的職業従事者】(2.9%)

- 監視業務後管理職 (男 70 歳代)
- 管理職(財務と経理)(男 40 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(2.9%)

- 栄養士 (20 歳代)
- 養護教諭 (女 20 歳代)

【サービス職業従事者】(2.9%)

- 歯科受付助手 (女 30 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(2.9%)

- 日本郵便の短時間職員(外務員)(男 50 歳代)
- JRの車両工場において、資材管理業務 (30 歳代)

7-2 クローン病(障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

クローン病(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、職場への説明、健康管理、通院等の多くの課題が改善されていた。

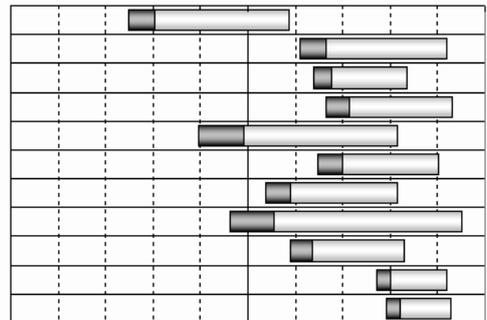
病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:17.3%)

(一体的な取組:「通院への配慮(53.0%)」)

この取組により改善される職業的課題



必要な配慮や支援等についての職場への説明
昇進をすること
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
適当な報酬を得ること
食事や休養、服薬、自己治療など健康管理をすること
フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること
決められた通院を行うこと
病気や障害についての職場への説明
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
職務として決められた課題を達成すること



←最大の問題状況

→最小の問題状況

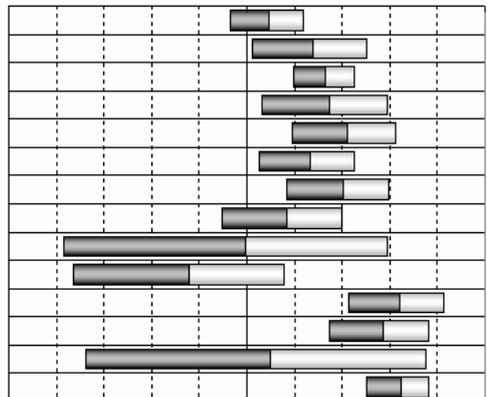
通院への配慮(現状の取組率:53.0%)

(一体的な取組:「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮(38.0%)」)

- ◆以前通院していた病院は土曜日にも外来診療があったため、通院に不便はなかったが、現在通院している病院は月～金曜日の外来診療なので、次に就職する時には、月に1回、平日に病院に行ける職場である必要がある。
- ◆通院の休みは配慮してくれる。月1回通院のために、平日に休みをとれる。
- ◆通院するのに気がねなく休みをとりたい。入院した場合の保障、入院が理由で即退職にされないような制度、配慮。
- ◆通院、入院がいつでも可能な職場への配置。
- ◆発病前から、就労していたため、通院に対しては理解があった。
- ◆通院や体調不良時に休みが取りにくい雰囲気はなんとなく感じられた。
- ◆病院へ通院することへの理解。(就業時間内しか、病院があいていない)
- ◆通院への配慮が一番です。それと仕事中に体調が悪くなった時の配慮。体調の悪い時の会社を休む事が難しい。
- ◆上司の配慮により、約8週ごとの点滴(半日通院)を、通常では1日単位の休業を取るところを、2回で1日分の休業としてもらった。
- ◆特に支援はないが、規則では月1回の半日休みは私に限り通院なら2、3回できる。
- ◆通院のための休暇を保障してほしい。
- ◆通院している病院が遠いため通院に時間がかかるので、通院の日は仕事を休むのだが、現在の職場は問題なく休みをとれる。
- ◆通院・入院などが安心して出来る(会社・職場に気を使わないで済む)配慮が欲しいです。
- ◆病気という理由での休業は普通に(有給)とらせる。もともと融通のききやすい職場。内容は普通にしんどい仕事も平等に与えられるが、イヤといえば配慮してくれるだろう。
- ◆勤務時間中に通院しなければならない為、会社の方には病気を告知している。与えられた業務をしっかりとこなし、会社の信用を得る事で通院が可能になりました。また、勤務先が医薬品卸業の為、一般の所より病気に対する理解が受け入れやすかった部分もあります。

この取組により改善される職業的課題

精神的ストレスに適切に対処すること
仕事を継続すること
昇進をすること
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
適当な報酬を得ること
仕事に適度に休憩し能率を下げないようにすること
フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること
食事や休養、服薬、自己治療など健康管理をすること
仕事中にトイレを利用すること
危険のある事態や状況に適切に対処すること
立った姿勢で仕事をする
決められた通院を行うこと
運搬すること



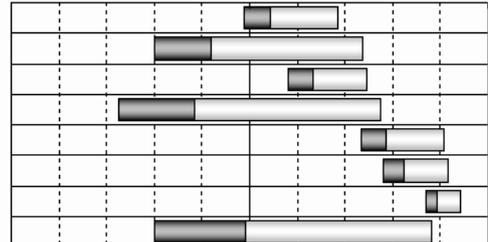
上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(現状の取組率:27.2%)

(一体的な取組:「通院への配慮(53.0%)」)

- ◆ 病状の変化で休める。上司から他のメンバーへ病状の伝達がある。
- ◆ トイレに行く回数が多いので、影で悪口を言われたり、「さぼってるんじゃないか」と言われたりする事もあり、人間関係(仕事上の協力関係)に支障が出る事があります。障害がある事について、認めてもらえる配慮がほしいと思います。
- ◆ 内部疾患の為、体調の良し悪しが周囲に分かりづらい。自ら「体調が悪い」って言いやすい環境がもう少し必要。
- ◆ 難病である為、自分自身でも理解できてない部分も多いが、入退院を繰り返す現状が、理解していただかず、何度も上司と話をしたが、解決はできなかった。病気の性質上、必要以上のストレスによって、入院の回数が増える。
- ◆ パートとして働いているが、仕事に対する評価は正社員と同じである。私にとっては、ありがたい。努力すれば、ちゃんと評価してもらえる。月に1度の通院も、快諾してもらっている。
- ◆ 事務職であり負担は少ない。常々、病気であると公言しており、必要な援助(通院に際し年休を取る等)は忙しい職場なりに理解してもらっている。
- ◆ 配慮やサポートの申し入れは、時に”わがまま”と、とらえられる懸念がある。
- ◆ 会社の重役に「戦力外だ」と言われた。しょうがないとあきらめている。

この取組により改善される職業的課題

精神的ストレスに適切に対処すること
 食事や休養の健康管理をすること
 仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること
 仕事中にトイレを利用すること
 立った姿勢で仕事をする
 運搬すること
 職場内で、会話や議論をすること
 食事や休養、服薬、自己治療など健康管理をすること

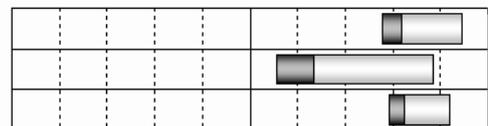
**勤務中の休憩をとりやすくすること(現状の取組率:21.2%)**

(一体的な取組:「通院への配慮(53.0%)」「仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(23.7%)」)

- ◆ 休憩時間が短い。
- ◆ 仕事の合間に経腸栄養剤(エレンタール)を飲むために店の奥に少し入ることが、忙しい日を除けば大体できている。
- ◆ 立ち仕事の現場でも5時間の作業の中で10分でも休みをとり、水分補給やトイレ、座る等の場所が必要。
- ◆ 体調が悪化している時、トイレに行き易い時間が欲しいです。
- ◆ 服薬・トイレ・休憩・体調不良時の休暇など、非常に理解のある職場なので、ずっと働く事が出来ると思っています。
- ◆ トイレに行きたい時は、申し出れば行かせてくれる。
- ◆ 勤務中の休憩は、2回ありとても助かりました。

この取組により改善される職業的課題

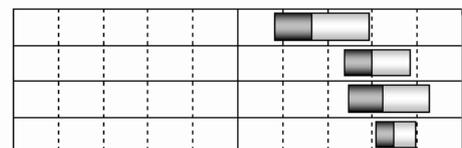
危険のある事態や状況に適切に対処すること
 仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること
 運搬すること

**仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:39.6%)**

- ◆ 病気のことは話してない。
- ◆ 上司や同僚との人間関係がきちんと作られることが、まず第一と思います。

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
 上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持
 運搬すること
 仕事上で人と対応すること

**産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(現状の取組率:25.4%)**

- ◆ 体の調子や病気についてヒヤリングがある。

この取組により改善される職業的課題

仕事で要求されている責任に十分に答えること
 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること

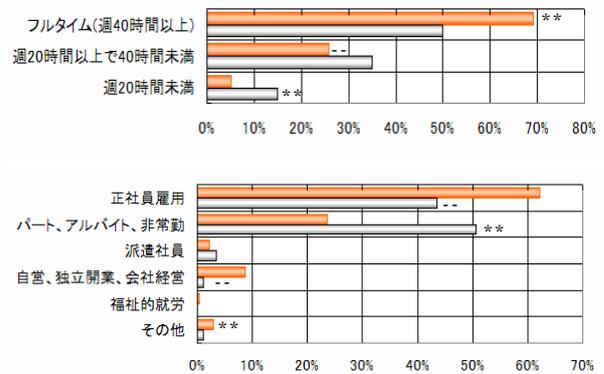
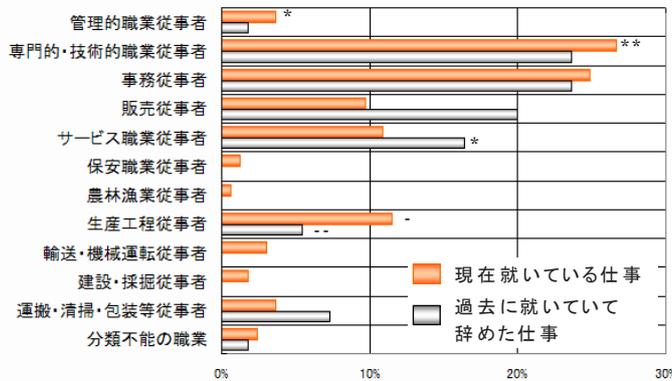
**その他の効果的な取組**

仕事用の機器や道具、作業机等の個別的な環境整備や改造…仕事の身分・内容の継続、適当な報酬の獲得に効果的
 キャリアアップのための職業スキル習得のための支援…円滑な人間関係の維持、会話や議論をすること、職務として決められた課題の達成に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」72.3%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」21.8%であり、合わせると94.1%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、管理職に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$). -, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(14.7%)

- 公務員(福祉事務)(男 30 歳代)
- 事務職(女 30 歳代、女 40 歳代 3、男 30 歳代 2、男 40 歳代 3)
- 公務員、一般事務職(女 20 歳代、女 30 歳代、男 20 歳代、男 50 歳代)
- デスクワーク(ネットワーク管理)(男 40 歳代)
- 総務事務(男 20 歳代)
- 企画・立案・事務作業(男 20 歳代)
- 企画、コンサルティング、エンジニアetc. 特殊な専門技術者(情報通信)(40 歳代)
- 役所・役場で派遣の医療事務(女 30 歳代)
- 保険調剤薬局事務、薬剤師の助手(女 20 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(6.4%)

- 研究業務とその統括(男 40 歳代)
- 病院勤務(臨床工学技士)(男 30 歳代)
- 理学療法士、障害のある人へリハビリ(男 40 歳代)
- 精神科病院の臨床心理士(男 30 歳代、40 歳代)
- 宗教(キリスト教)「伝道師」(男 40 歳代)
- 歴史の編集作業。販売まで(男 50 歳代)
- 不動産管理(男 50 歳代)

【様々な事務従事者】(3.8%)

- 支店内出納担当責任者。支店建物の保守管理。(男 30 歳代)
- 金融機関(風)の窓口業務(女 30 歳代)
- 事務と商品の発送(女 30 歳代)
- 人材派遣会社スタッフコンサルタント(女 20 歳代)
- 郵便局非常勤職員 郵便物の区分(女 20 歳代)

【販売店員】(3.8%)

- 土産品店でのレジ係。調理員(男 40 歳代)
- 店での販売・商品の陳列など(女 30 歳代)
- ペットショップでの販売(女 20 歳代)

【営業職業従事者】(3.8%)

- ネットワークシステム販売・技術支援(男 30 歳代)
- 保険外交員(男 30 歳代)
- 福祉関係の営業・訪問入浴(男 20 歳代)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(3.8%)

- プロパンガスをボンベに充填する仕事(男 30 歳代)
- 練製品加工業(蒲鉾・ちくわ)自営(男 30 歳代)
- 服飾学校での勉強かつ洋服縫製(女 40 歳代)
- 印刷関係の軽作業(男 30 歳代)
- 自営、写真の焼付業。職場に1人(男 30 歳代)

【管理的職業従事者】(3.2%)

- 保険の代理業、会社の役員(男 30 歳代)
- パチンコ店の店長(男 40 歳代)
- 会社社長(貨ビル業)(男 70 歳代)
- 会社経営(経理、営業)(男 30 歳代)

【ソフトウェア作成者】(3.2%)

- コンピュータープログラマー(女 20 歳代)
- パソコン用のソフトウェアの開発(男 30 歳代)
- システムエンジニア(男 30 歳代、男 40 歳代、男 50 歳代)

【教員】(3.2%)

- 幼稚園講師、幼稚園指導員(女 20 歳代)
- 非常勤講師(女 30 歳代)
- 県立高校の臨時養護教諭(女 20 歳代)
- 大学教員(男 40 歳代 2)

【様々なサービス職業従事者】(3.2%)

- 老人ホームデイサービスケアスタッフ(女 30 歳代)
- 美容室経営。美容業全般(男 40 歳代)
- ビルメンテナンス会社の労務管理(男 30 歳代)

【接客・給仕職業従事者】(3.2%)

- 飲食店(男 20 歳代)
- 飲食店を経営(男 30 歳代)
- ホテルでの接客業、フロント業務(男 20 歳代)

【その他の運搬・清掃・包装等従事者】(3.2%)

- メーカーの工場内請合作業(男 40 歳代)
- 会社内での軽作業(清掃等)(男 40 歳代)
- 食品製造→包装(30 歳代)

【製造技術者(開発)】(2.6%)

- 音響製品の電気設計(男 50 歳代)
- 電機設計(男 40 歳代)
- 機械設計(男 40 歳代 2)

【庶務事務員】(2.6%)

- 病院にて診療用材料の購入・契約(男 20 歳代)
- 庶務。銀行・役所まわり何でも(女 30 歳代)
- 大学の教務事務。成績管理等(女 30 歳代)
- 総務課(男 30 歳代)

【経理事務員】(2.6%)

- 入力作業(伝票)、経理(女 40 歳代)
- コンピュータや計算。経理事務(男 20 歳代)
- 税務職員(女 30 歳代)

【調理人】(2.6%)

- 調理師(女 20 歳代、男 40 歳代)
- 病院給食(20 歳代)
- 保育園の給食調理員(女 30 歳代)

【機械整備・修理従事者】(2.6%)

- 機材のリース会社で整備や出荷など(男 30 歳代)
- 家電修理にて接客及び修理(男 40 歳代)
- 自動車整備士(男 20 歳代)
- 自動車整備、接客対応、事務処理(男 20 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(2.6%)

- トラックの運転、機械作業(男 50 歳代)
- 運転手(男 30 歳代)
- 船員、消防船 コンビナート内石油精製所の油回収兼消防船(150t)の船長(男 40 歳代)
- 貸し切り路線を含むバス乗務員(男 40 歳代)

【分類不能の職業】(2.6%)

- 設計事務所(男 30 歳代、男 40 歳代)
- 三交替勤務としての作業を継続中(男 30 歳代)
- 職種は未決定(研修後決定)(男 20 歳代)

【建築・土木・測量技術者】(1.9%)

- 建築設計、工事監理(男 40 歳代)
- 建設会社での設計業務、現場監督(男 30 歳代)
- 農業土木関係の公務員(技術関係)(男 40 歳代)

【医師、歯科医師、獣医師、薬剤師】(1.9%)

- 精神科医師(男 30 歳代)
- 医師(男 30 歳代)
- 病院薬剤師(女 40 歳代)

【保健師、助産師、看護師】(1.9%)

- 看護師(クリニック勤務で往診が主)(女 30 歳代)
- 整形外科の診療所で看護師(女 20 歳代)
- 看護師。居宅介護支援事業所の介護支援専門員(30 歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(1.9%)

- 福祉施設(救護施設)の相談員(男 30 歳代)
- 老人ホームの園長(男 40 歳代)
- 社会福祉士として事務所を経営(女 40 歳代)

【個人教師】(1.9%)

- トレーニングジムでの運動指導(男 30 歳代)
- 幼児教室のアシスタント(小学校受験のための授業補助)。自宅でピアノ教師(女 30 歳代)
- 教室を開いている(女 40 歳代)

【不特定の専門的・技術的職業従事者】(1.9%)

- 生産技術(男 40 歳代)
- 公務員、技術係(男 40 歳代)
- 医療関係(女 40 歳代)

【事務用機器操作員】(1.9%)

- パソコン入力(女 30 歳代、女 50 歳代)
- 事務職、データ管理(男 40 歳代)

【商品販売従事者】(1.9%)

- 100円ショップ店舗責任者、商品・売場・数値管理・重量物の運搬あり(男 30 歳代)
- ダスキンのモップ交換業務(洗剤等の営業を含み、配達、集金まで)(女 30 歳代)

【様々な生産工程従事者】(1.9%)

- 機械加工での寸法管理、作業(男 30 歳代)
- 精密金属加工部品の完成検査(男 40 歳代)
- 塗装業(男 20 歳代)

【機械組立従事者】(1.9%)

- 船外機エンジンの組立ライン作業(男 30 歳代)
- 配電盤等の製造、検査(男 20 歳代)
- 船外機エンジン等の組立ライン作業(男 30 歳代)

【不特定の生産工程従事者】(1.9%)

- 製造業(男 40 歳代)
- 就職後10年目に発病したが、今まで通り雇用。製造業(男 30 歳代)
- 部品製造業(男 40 歳代)

【土木作業従事者】(1.9%)

- 土木(道路舗装、アスファルト)(男 20 歳代)
- 土木作業、重機オペレーター(男 30 歳代、男 50 歳代)

【保安職業従事者】(1.3%)

- 警察官(男 30 歳代)
- 警察官(現在は内勤)(男 30 歳代)

【農林漁業従事者】(0.6%)

- ハウストマト(男 50 歳代)

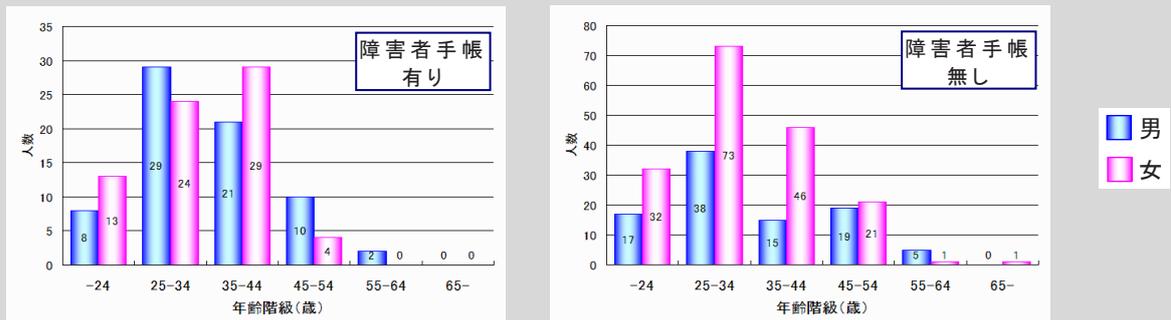
8 モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)

脳血管が細くなりX線像が「モヤモヤ」と見えることによる病名。

医師の就労への見解

モヤモヤ病のある人の就労状況は後遺症により異なります。脳虚血型の場合は確実な服薬で就業可能と思われます。出血型は後遺症の種類や程度によりますが、負担をかけないように適切な配慮を実施することで就業が可能になります。また、脳血管バイパス術の場合は、1ヶ月(最短)～約半年程度で職場復帰が可能です。主治医を含め職場での取組を前向きに検討することが大切です。

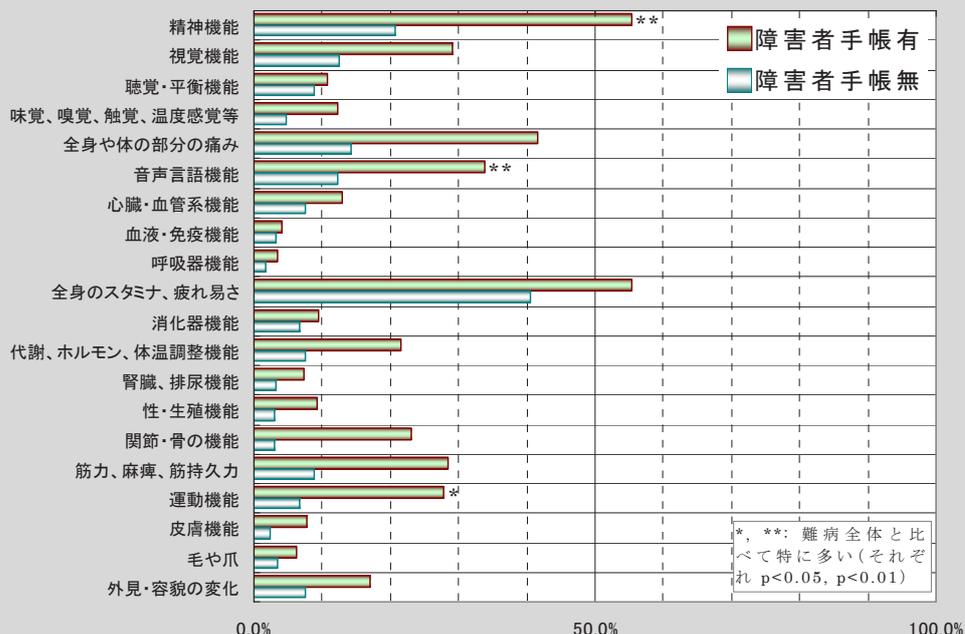
障害者手帳のある人は34.5%。手帳のない人では女性がやや多く、30歳代にピークがあった。



比較的多い機能障害

主な症状は、突然の脱力発作ですが、これは数十分で正常に戻ります(脳虚血型)。また、成人の約半数は、脳内出血を合併し麻痺や言語障害、高次脳機能障害など様々な後遺症が残る可能性があります(出血型)。

- 手帳のある者:「精神機能」「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」等
- 手帳のない者:「全身のスタミナ、疲れ易さ」「精神機能」等
- 手帳のある者で手帳のない者より有意に多かった機能障害は「精神機能」「視覚機能」「全身や体の部分の痛み」「音声言語機能」「代謝、ホルモン、体温調節機能」「関節・骨の機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「運動機能」「全身のスタミナ、疲れ易さ」「味覚、嗅覚、触覚、温度感覚等」「腎臓、排尿機能」「外見・容貌の変化」「性・生殖機能」であった。



8-1 モヤモヤ病(障害者手帳あり)

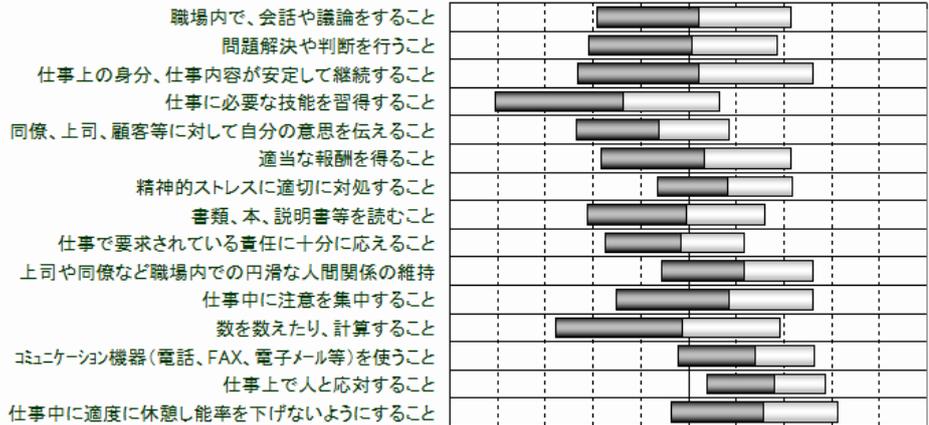
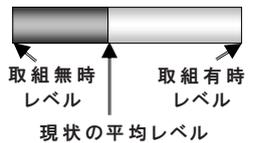
① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

モヤモヤ病(障害者手帳あり)では、就職後の課題の改善には「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役」「主治医、専門医等への就労相談」等が効果的な取組であり、それによって、技能の習得、手先の操作、就業継続等の多くの課題が改善されていた。

仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:50.0%)

(一体的な取組:「能力的に無理のない仕事への配置(48.4%)」「本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(29.0%)」「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解(32.7%)」)

この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況 最小の問題状況→

主治医、専門医等への就労相談(現状の取組率:26.7%)

- ◆判断に迷う時は、主治医と専門医(セカンドオピニオン)の意見を聞いて決めている。
- ◆ある程度、自分でしたい職業を考えた上で、主治医にどうか相談をした。心強く感じた。

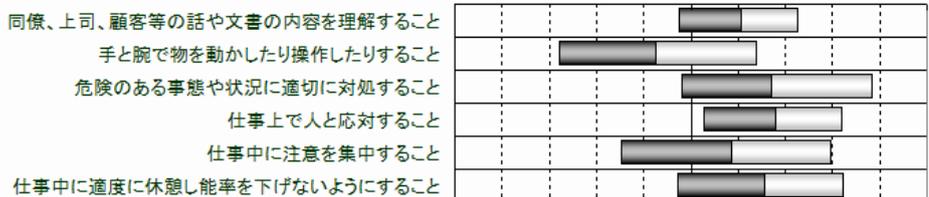
この取組により改善される職業的課題



能力的に無理のない仕事への配置(現状の取組率:48.4%)

- ◆後遺症により片手足マヒの為、平常の勤務につくのは無理。

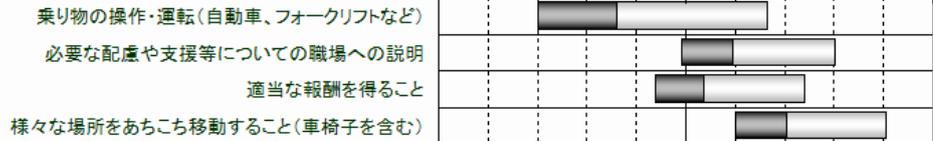
この取組により改善される職業的課題



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:29.2%)

- ◆障害は個人で違うので一般的な先入観で判断して仕事を振り分けてほしくない。いつまでもスキルアップができない。
- ◆病気を正直に伝えた為、心配してくれる反面、偏見も多い。上司によっては目の敵にする人もいて精神的に苦痛だ。

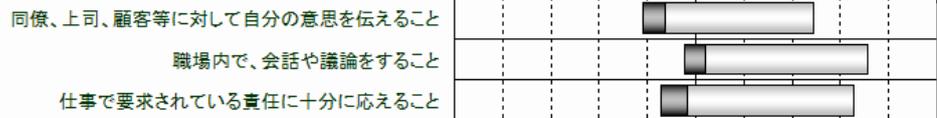
この取組により改善される職業的課題



職場介助者や手話通訳者などの専門的支援者(現状の取組率:11.2%)

- ◆ジョブコーチをもっと増してほしいです。
- ◆車イスや中途障害のある方への理解度は高いが、事業主も育成よりも即戦力を望んでいるかぎり、難病のある人の就労は遠く、ジョブコーチも理解がなければ意味のないものとなる。学校での学習では何も出来ないという現実がある。

この取組により改善される職業的課題

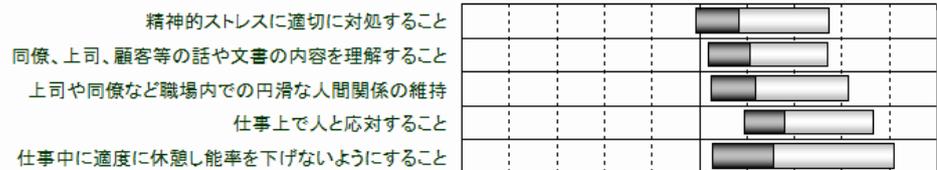


本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(現状の取組率:29.0%)

(一体的な取組:「仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(34.8%)」)

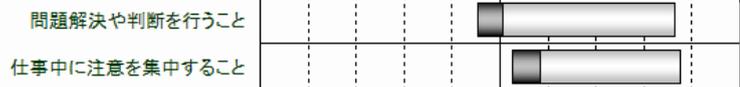
- ◆職場のバリアフリーが整備されておらず、また、手が不自由なのに、部品の組立しかやる事がないのはつらい。

この取組により改善される職業的課題



主治医・専門医と職場担当者を交えた仕事内容のチェック(現状の取組率:11.7%)

この取組により改善される職業的課題



ハローワークの専門援助窓口への就労相談(現状の取組率:21.1%)

- ◆ハローワークの紹介で一度就職したが、職場で居づらくなって辞めた後、一度も訪問してくれなかったことを申し出たら現職中に言って来てもらわないと言われた。

この取組により改善される職業的課題



仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更(現状の取組率:34.8%)

※精神的ストレスへの対処、危機的状況への対処に効果的

- ◆体調に合わせて内容を変更してくれるが、無理な時や体調が悪くなれば欠勤させてくれる。

在宅勤務(現状の取組率:12.9%)

※仕事に必要な技能の習得、円滑な人間関係の維持に効果的

障害者就業・生活支援センターへの就労相談(現状の取組率:27.3%)

※歩くことに効果的

誰もが使いやすい機器・機材(ユニバーサルデザイン等)(現状の取組率:11.7%)

※仕事の身分・内容の安定した継続に効果的

通院への配慮(現状の取組率:52.5%)

※仕事に集中することに効果的

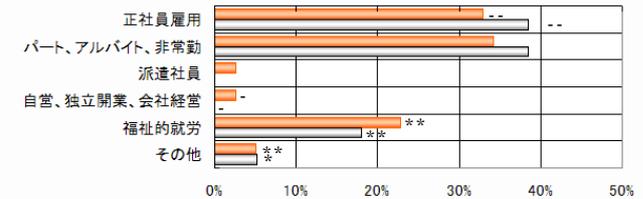
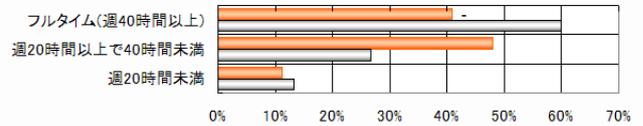
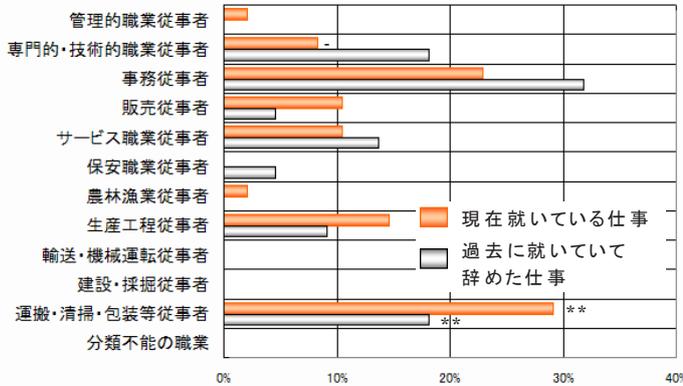
保健師等への就労相談(現状の取組率:13.5%)

※手先を使う動作に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」60.2%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」28.1%であり、合わせると88.3%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると運搬・清掃・包装等従事に就いている人が多く、専門・技術職が少なかった。福祉的就労が多く、正社員雇用が比較的少なかった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【その他の運搬・清掃・包装等従事者】(17.4%)

- 工場内装置点検、廃棄ガラスの廃棄 (男 30 歳代)
- スーパーのお惣菜、サラダパック詰め (女 30 歳代)
- セトルリールをきれいにみがく (男 30 歳代)
- 保育園の用務員(清掃)(女 20 歳代)
- 用務員 (女 20 歳代)
- 商品のキッピング。各店舗に仕分作業 (女 20 歳代)
- 福祉作業所で割り箸の袋入れとアルミ缶の回収 (男 30 歳代)
- 封入作業、ファミレスのメニュー、本への折り込み (授産施設)(女 30 歳代)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(10.9%)

- 福祉作業所(通所)で菓子の製造 (女 20 歳代)
- 菓子製造 計量やケーキを焼く補助 (女 20 歳代)
- 単純作業(子供用雑誌の付録作り) (男 20 歳代)
- 菓子折の組立て、レーザークラフト。週一日は市福祉会館内売店の売子 (男 30 歳代)
- お菓子の紙函組立、ビーズの袋詰 (男 30 歳代)

【専門的・技術的職業従事者】(8.7%)

- 医師 (女 40 歳代)
- あんま、マッサージ (男 30 歳代)
- マッサージ、あんま、介護(食事など)(男 30 歳代)
- 保育補助 (女 20 歳代)

【様々な事務従事者】(8.7%)

- 商品管理 (男 30 歳代)
- 郵便物、メール便の仕分、PC入力等 (女 30 歳代)
- 入力業務。ファイリング (男 20 歳代)

【一般事務従事者】(8.7%)

- 病院の受付窓口 (女 20 歳代)
- 電話案内。接客 (女 40 歳代)
- 事務職 (書類作り)(男)

【サービス職業従事者】(8.7%)

- 福祉のヘルパー (女 30 歳代)
- クリーニングで洗い場 (男 20 歳代)
- 食品加工工場にて、野菜の下処理 (男 20 歳代)
- 映画館のフロアスタッフ、清掃 (女 10 歳代)

【庶務事務員】(6.5%)

- 国家公務員(農林水産省九州農政局)総務事務 (男 50 歳代)
- 情報サービス産業の会社。計数管理業務、調達・購買業務・庶務業務等の内勤業務 (男 40 歳代)
- 農林水産省。農政事務所庶務担当 (男 40 歳代)

【商品販売従事者】(6.5%)

- 自営業(化粧品販売)店長 (女 30 歳代)
- 化粧品販売員 (女 40 歳代)
- 個人商店の販売人 (女 30 歳代)

【不特定の清掃従事者】(6.5%)

- 清掃業 (男 10 歳代、男 20 歳代)
- 清掃作業 (拭き掃除、掃き掃除)(女 30 歳代)

【様々な生産工程従事者】(4.3%)

- 自動車、バス、特殊車等の部品製造 (男 40 歳代)
- 自動車部品の組み立ての一部 (女 30 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(4.3%)

- 印刷物の包装、梱包・調合・ハンバーガーショップの接客、販売員 (女 30 歳代)
- きのこのバック、包装作業 (男 20 歳代)

【様々な販売従事者】(2.2%)

- 企業所有不動産の管理業務の補助 (男 40 歳代)

【農林漁業従事者】(2.2%)

- 高等学校農場勤務 (男 30 歳代)

8-2 モヤモヤ病(障害者手帳なし)

① 効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

モヤモヤ病(障害者手帳なし)では、就職後の課題の改善には「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針」「仕事用の機器や道具、作業机等の個別的な環境整備や改造」等が効果的な取組であり、それによって、職場への説明、就業継続等の多くの課題が改善されていた。

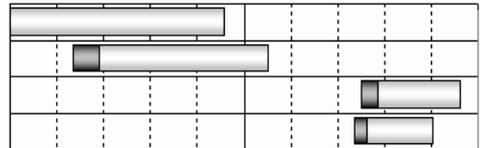
病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(現状の取組率:13.3%)

(一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(29.1%)」)

この取組により改善される職業的課題



必要な配慮や支援等についての職場への説明
 病気や障害についての職場への説明
 適当な報酬を得ること
 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること

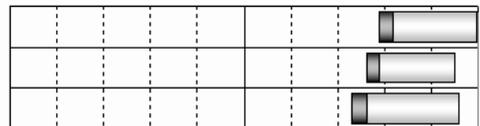


←最大の問題状況 最小の問題状況→

仕事用の機器や道具、作業机等の個別的な環境整備や改造(現状の取組率:11.7%)

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
 仕事で要求されている責任に十分に答えること
 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



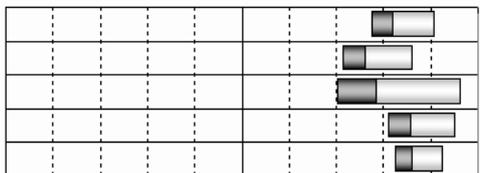
仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(現状の取組率:29.1%)

(一体的な取組:「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(13.3%)」)

◆ 具合が悪い時はすぐに上司が代わってくれ、また、病院だけでなく、健康を維持するため活動にも休暇をくれます。

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
 適当な報酬を得ること
 職場内で、会話や議論をすること
 同僚、上司、顧客等の話や文書の内容を理解すること



職場の出入りの施設改善(ドア、スロープ、駐車場、非常口など)(現状の取組率:12.5%)

この取組により改善される職業的課題

仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること

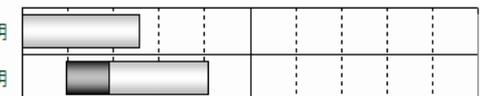


主治医、専門医等への就労相談(現状の取組率:25.6%)

◆ 無理をして体調を崩したり、再入院などになったら何もならないのだから、これだけはしてはダメとか、自分で常に何に気をつけながら働くべきかなどアドバイスが参考になった。(脳外の主治医、脳波の専門医)

この取組により改善される職業的課題

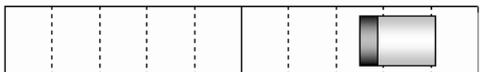
必要な配慮や支援等についての職場への説明
 病気や障害についての職場への説明



社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ(現状の取組率:19.6%)

この取組により改善される職業的課題

仕事で要求されている責任に十分に答えること



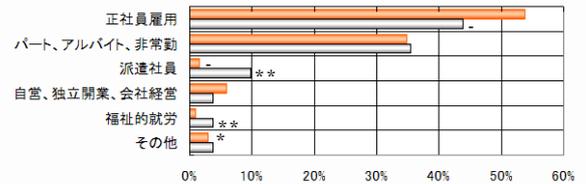
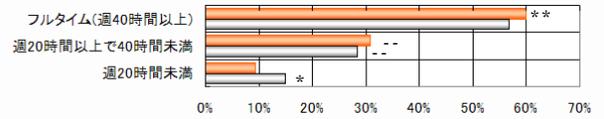
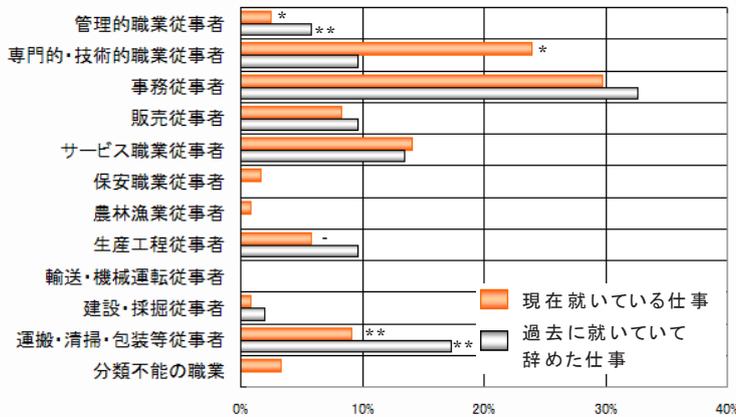
上司などによる毎日の健康状態チェック(現状の取組率:7.9%)

※適当な報酬の獲得に効果的

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」68.7%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」25.8%であり、合わせると94.5%が病気もちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると運搬・清掃・包装等従事、専門・技術職、管理職に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*, **: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, ...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(19.3%)

- 事務職(総務)(女 30歳代)
- 学習塾での事務・営業等(女 20歳代)
- 一般事務(女 20歳代 2、女 30歳代 5)
- 伝票処理等の補助作業(女 20歳代)
- デスクワーク。パソコン操作。電話応対(女 20歳代)
- 医療事務(女 30歳代、女 40歳代 2)
- 食品会社で相談受付(相談センター)(女 30歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(10.1%)

- 金型設計(男 30歳代)
- 産科医師、日勤のみの勤務(男 40歳代)
- 作業療法士(女 20歳代)
- 歯科衛生士(女 20歳代)
- 管理栄養士(女 20歳代)
- 教員(女 40歳代)
- 翻訳(日本語から英語)(女 40歳代)
- Webデザイン(男 20歳代)
- 博物館の学芸員(30歳代)
- 公務員、技術職(現場・内業半々)(女 20歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(6.4%)

- 看護師(女 20歳代、女 30歳代 2、女 40歳代 2、女 50歳代)
- 看護師(准)。学生で仕事と両立(女 20歳代)

【保育士】(6.4%)

- 保育士(女 20歳代 6)
- 院内保育所のパート保育士(女 30歳代)

【様々な事務従事者】(5.5%)

- 金融機関で窓口業務担当(女 20歳代)
- 食品会社倉庫事務(男 30歳代)
- 営業事務業務(女 30歳代)

【販売店員】(4.6%)

- コンビニ店員(現在)(男 20歳代 2)
- 家電店の販売(男 20歳代)
- メガネチェーン店社員(女 20歳代)

【様々なサービス職業従事者】(4.6%)

- 調理師、病院食、週35時間ぐらい(女 60歳代)
- 工場内の食堂にて、食事の仕込み(女 30歳代)
- 焼肉店で接客、キムチ、サラダ調理(女 30歳代)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(4.6%)

- 食品工場で、肉体労働が多い(男 30歳代)
- 和洋菓子作り(女 30歳代)
- 和裁仕立て 着物の仕立て(女 30歳代 2)

【様々な販売従事者】(3.7%)

- 冷凍水産物の仕入れ、品質管理と販売(20歳代)
- 為替ディーラー(女 20歳代)
- 保険の営業(女 30歳代)

【介護職員(医療・福祉施設等)】(3.7%)

- ヘルパー 精神科の病院で介護(女 20歳代)
- 介護保険施設での高齢者介護(男 30歳代)

【保健医療サービス職業従事者】(3.7%)

- 看護助手(ヘルパー)(病院勤務)(女 30歳代)
- 歯科助手(女 20歳代 2)

【管理的職業従事者】(2.8%)

- 会社経営、作家業(女 40歳代)

【経理事務員】(2.8%)

- 税理士事務所(男 20歳代)

【運搬従事者】(2.8%)

- 新聞配達。登録の訪問ヘルパー(30歳代)
- 力仕事。仕分け系、物流系(男 30歳代)

【清掃従事者】(2.8%)

- 大型店清掃(男 10歳代)
- 市内ゴミ指定場所の回収(ゴミの)(20歳代)

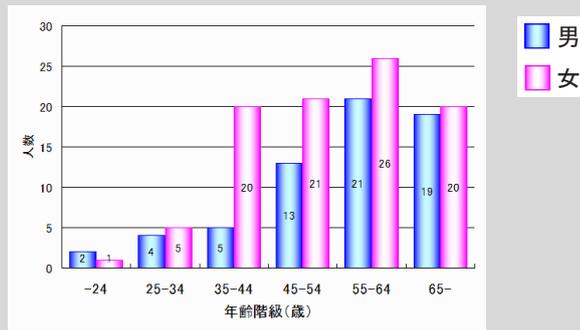
9 網膜色素変性症

夜盲を主症状として始まり、極めて緩慢な経過で、次第に視覚機能の低下を招き、視野狭窄や視力障害を生ずることが少なくない。

医師の就労への見解

網膜色素変性症のある人の就業は、視力障害や視野障害が重度でなければ、就業時に車の運転などに一部支障をきたすことや、通勤時の安全確保、弱視用のパソコンの活用について検討することによって、就業が可能と言えます。視力障害や視野障害が重度でロー・ビジョン・エイドを用いても文字を読むことができない場合は重度視覚障害のある人たちに準じた雇用支援の方法を使う必要があります。

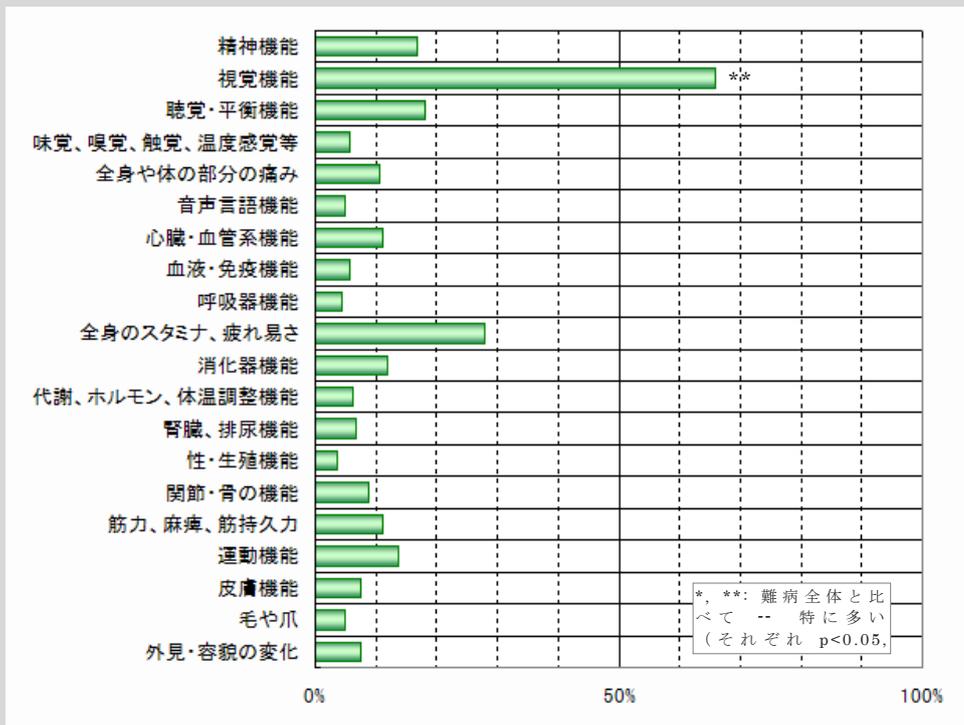
(障害者手帳あり)人は 80.1%。女性がやや多く、30 歳代後半から増加し 50 歳代以降にピークがあった。



比較的多い機能障害

主な症状、機能障害は視力低下、色覚異常、視野狭窄にあり、多くの人たち(80%)が身体障害者手帳を保有しています。

- 「視覚機能」等



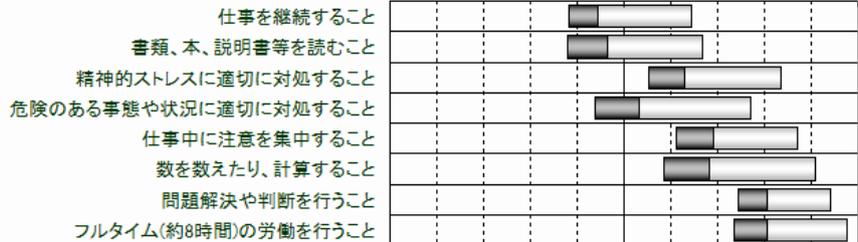
①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

網膜色素変性症では、就職後の課題の改善には「仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更」「産業医・産業保健師による事業所内の健康管理」等が効果的な取組であり、それによって、読むこと、就業継続、運転等の多くの課題が改善されていた。

仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更 (現状の取組率:22.9%) (一體的な取組:「病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針(16.7%)」)

◆会議資料等の拡大・縮小率への配慮がない。

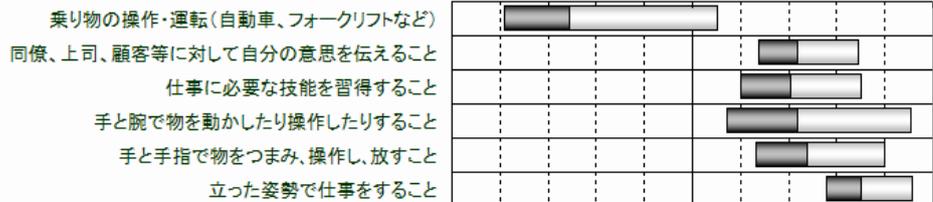
この取組により改善される職業的課題



産業医・産業保健師による事業所内の健康管理 (現状の取組率:34.5%)

◆夜盲のため、暗い場所への立ち入りや、通勤時間が夜になるのを避けた、また視野が狭いので狭い場所は危険なので避けた。会社は、安全管理、健康管理を特に厳しくしている。

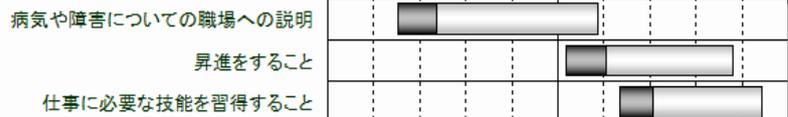
この取組により改善される職業的課題



主治医、専門医等への就労相談 (現状の取組率:13.5%)

◆主治医から、難病障害者についての公共機関の相談事項や、年金の取扱い、障害者支援対策に関する法的処遇について説明を受け、役に立ちました。

この取組により改善される職業的課題



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針 (現状の取組率:16.7%)

この取組により改善される職業的課題

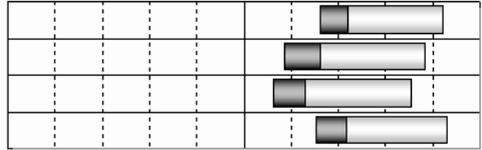


本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組 (現状の取組率:21.4%)

- ◆もともとパート9:00~4:00(夜盲の為遅くまでは動められないと言う事で)。現在、バス時刻と体力の関係の事を上司に話し、快く8:30~1:00まで受け入れてくれた。
- ◆マッサージ以外の仕事も要求される。

この取組により改善される職業的課題

同僚、上司、顧客等の話や文書の内容を理解すること
職務として決められた課題を達成すること
精神的ストレスに適切に対処すること
同僚、上司、顧客等に対して自分の意思を伝えること



身体障害者手帳保有 (現状の取組率:79.7%)

この取組により改善される職業的課題

病気や障害についての職場への説明



勤務中の休憩をとりやすくすること (現状の取組率:25.2%)

この取組により改善される職業的課題

適当な報酬を得ること



勤務時間帯の変更(時差出勤、フレックス勤務等) (現状の取組率:26.2%)

- ◆通勤時間帯を考慮してほしい。
- ◆暗くなると見にくいので、冬は勤務時間をずらしてほしい。
- ◆暗くなってからの帰宅は困難なため、明るいうちに終業させてもらいたい。
- ◆公務員であったため、早退時(人工透析の時)時間帯が有ったので、大変助かった。
- ◆勤務時間帯、夜間帰宅時の配慮が必要。

この取組により改善される職業的課題

文章を書くこと

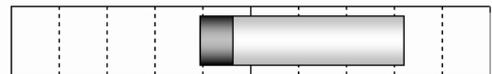


意思疎通・パソコン利用のための支援機器(含ソフトウェア) (現状の取組率:15.9%)

- ◆拡大読書機の設置。
- ◆専有パソコンの設置。
- ◆拡大読書機等の配備があれば、まだ仕事を続けられると思いますが、現状はうまくいきません。

この取組により改善される職業的課題

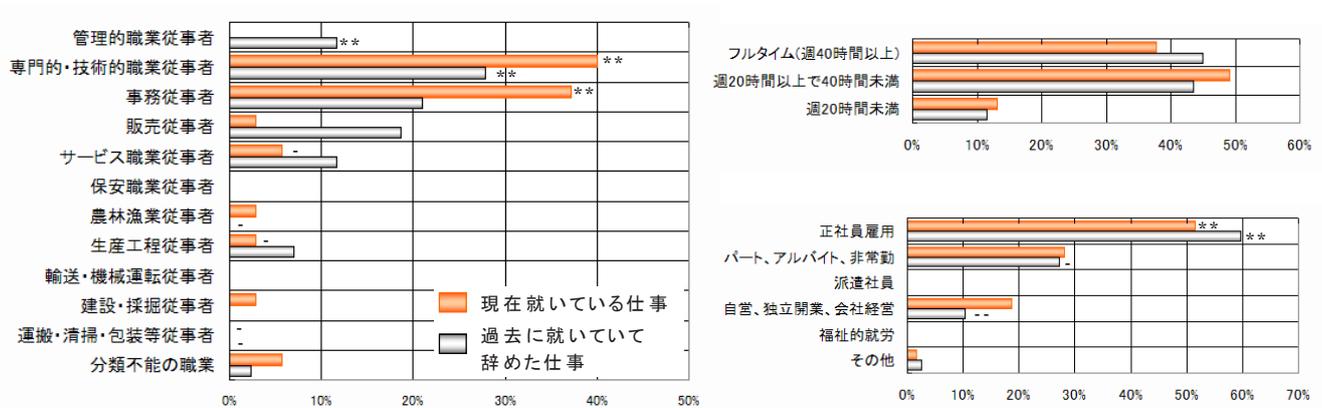
書類、本、説明書等を読むこと



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」39.8%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」54.7%であり、合わせると94.4%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、事務職に就いている人が多く、生産工程従事、販売職が少なかった。比較的正社員雇用が多かった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師】(22.9%)

- 病院、マッサージ (男 40 歳代)
- 病院でのリハビリ(主にマッサージ)(女 30 歳代)
- あんま、マッサージ、指圧(病院勤務)(男 40 歳代)
- マッサージ (男 30 歳代、女 50 歳代)
- 鍼、灸、マッサージ師 (女 30 歳代、女 40 歳代、男 50 歳代)

【一般事務従事者】(20.0%)

- 地方公務員。パソコンを使うことが多い (男 50 歳代)
- 銀行の補助業務(銀行を退職して銀行支店へ子会社より派遣されている)(男 50 歳代)
- 広告代理店の内勤営業、事務職、担当セクションの責任者 (男 50 歳代)
- 社員が4名で女は私だけなので事務、接客 (女 50 歳代)
- 通信販売の注文Telオペレーター (女 30 歳代)
- 市立の総合病院の会計(医療事務)業務全般、総合案内 (女 30 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(17.1%)

- 内科医師 (女 30 歳代)
- 理学療法士 (男 40 歳代)
- 臨床応用技術 (男 40 歳代)
- 臨床心理士(精神病院非常勤、中学・高校スクールカウンセラー)(男 60 歳代)
- 学習塾 (女 20 歳代)
- 企業内での通訳 (女 50 歳代)

【様々な事務従事者】(8.6%)

- 郵便局の貯金保険課で主に現金の管理、整理 (男 40 歳代)
- 金融機関。窓口業務で10年間勤務。パソコンの機械でお金の入出金など (女 30 歳代)
- 資材納品のパソコンへの検取インプット。資材の在庫管理。資材の納品依頼 (男 50 歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(8.6%)

- パソコンでデータ作成 (男 50 歳代)
- 音声パソコンサポート (女 30 歳代)
- パソコンでの経理、ビデオ編集等 (女 50 歳代)

【サービス職業従事者】(5.7%)

- グループホームでの介護全般 (女 40 歳代)
- 従業員食堂での賄いの仕事 (女 40 歳代)

【販売従事者】(2.9%)

- ハンバーガー店カウンター内販売 (女 40 歳代)

【農林漁業従事者】(2.9%)

- 農作業全般 (男 40 歳代)

【生産工程従事者】(2.9%)

- お菓子会社のピッキング等 (女 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(2.9%)

- 電気工事監督業務(派遣社員)(男 40 歳代)

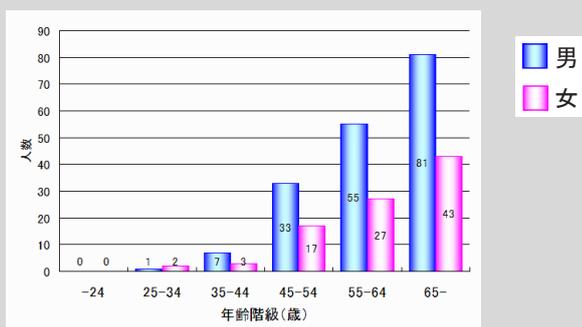
10 パーキンソン病

特効薬が効いている時と効いていない時の症状の差が大きい。10年以上かけてゆっくりと進行。

医師の就労への見解

パーキンソン病は適切な治療により、症状の進行は緩やかで、生命にも影響はありません。発症後、5年程度は仕事にも全く問題がないのですが、10年以上で身体障害が目立ってきます。日常生活に制限を加える必要はなく、できるだけ従来のライフスタイルを維持すべきです。治療への公費負担、身体障害者手帳、介護保険などの社会資源を有効活用し、経済的負担の軽減を図ることも大切です。

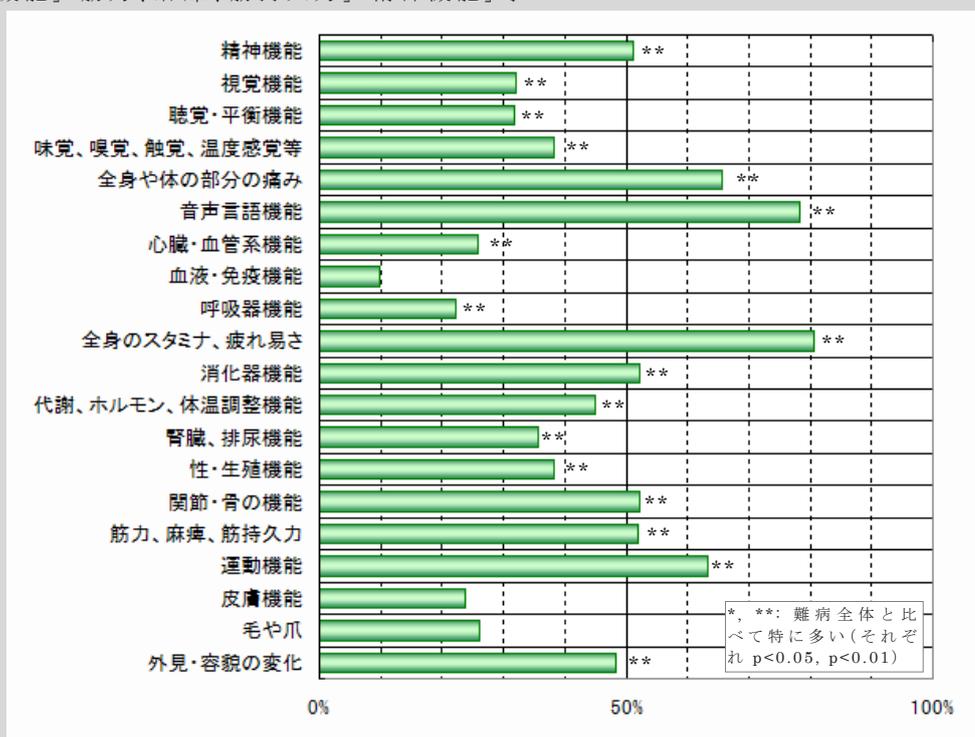
(障害者手帳あり)人は59.7%。男性が比較的多く、40歳代以降に増加し65歳以降にピークがあった。



比較的多い機能障害

手の震え、動作が固まったようになること、動作の開始が遅くなったり動作が遅くなったり、字が下手になり、声が小さく抑揚がなくなること、姿勢が前かがみで、歩行が小刻みになったり突進したり、すくみ足になったり、表情が乏しくなったりの症状がありますが、L-ドーパという薬の服用により完全に消失させることができます。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「音声言語機能」「全身や体の部分の痛み」「運動機能」「消化器機能」「関節・骨の機能」「筋力、麻痺、筋持久力」「精神機能」等



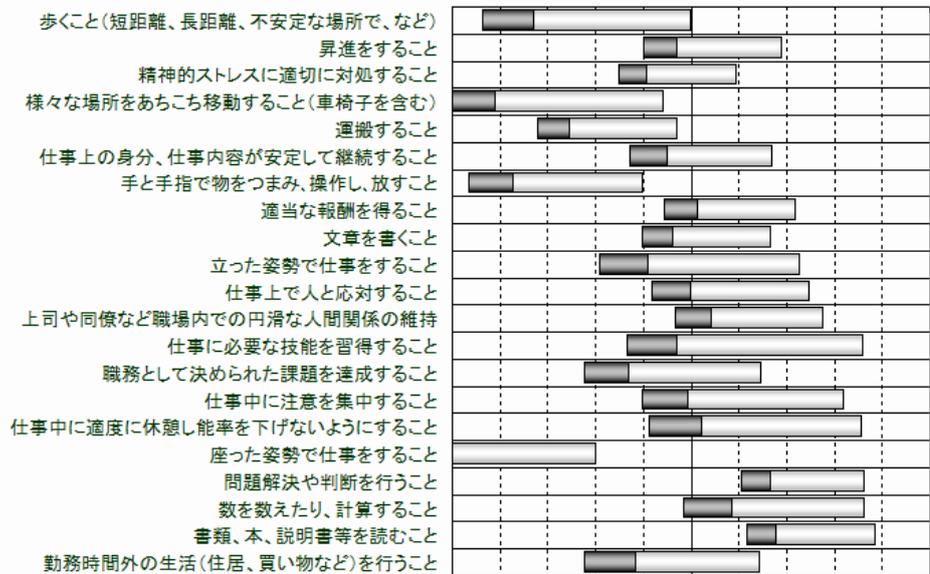
①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

パーキンソン病では、就職後の課題の改善には「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」「職場の出入りの施設改善」等が効果的な取組であり、それによって、移動、手先の操作、座った姿勢での仕事等の多くの課題が改善されていた。

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解 (現状の取組率:23.6%)

- ◆特になし。病気に対して、私のいた部は、全ての人が理解して対処してくれ、何の問題も生じなかった。60才、定年を迎えるまで仕事をさせてもらった。
- ◆パートだからできる事だけ病気を隠して、病状が殆どみられない状態のできる。短い時間と日数で働いているので、正直どうしたら良いのかわからない。病状は緊張、不安、薬の量、疲労などで変化がはげしいので、職場の協力や理解は難しいように思う。病状の個人差、自分でのコントロールの難しさ、進行性。これらのことを広くオープンにして、理解を求められるのが理想だが、外からは見えない変化のはげしい症状は理解してもらえるのか。
- ◆仕事をするための身体的なこと、精神的なことの制約はあるが、そのデメリットを考慮して就業することができるように配慮してもらった。そして管理職を全うした。部下に病気の事を話すと、私にできる事はするから仕事を辞めないで欲しいと協力してくれた。
- ◆病気の内容を語らずに配慮をお願いするつらさが分ってもらえない。
- ◆若くしてパーキンソン病にかかると仕事を続けることが非常に困難となる。職場の理解があったればこそ仕事を続けることができました。
- ◆動作が緩慢になり仕事がつづらく、まわりからも言われ退職する。
- ◆直接の上司は部下の体調等細かくつかみ(パーキンソン病症状)かつ、医師との3者で話し合う。あるいは家族の意見をきく耳をもってもらいたい。
- ◆短時間労働と職場の理解、会社の協力がなければ、継続しての仕事は無理で、結論としてパート化されるので法律的な整備作りが急務です。

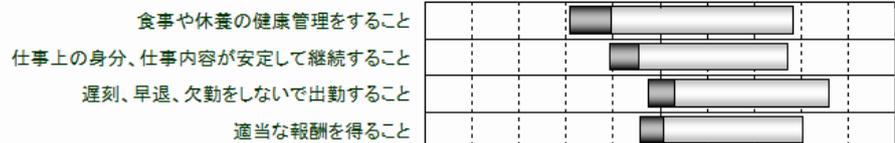
この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況 最小の問題状況→

職場の出入りの施設改善(ドア、スロープ、駐車場、非常口など)(現状の取組率:16.3%)

この取組により改善される職業的課題

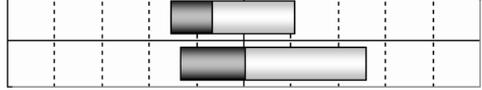


仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更 (現状の取組率:32.3%)

- ◆どうしても健常者と同じような仕事をするのは、困難である、という認識を持つこと。
- ◆一応夜勤のない職場にしてもらえた。歩行しにくさはあったが、病気がわからなかったのか上司から歩行しにくそうなので楽な所との配慮あり。
- ◆障害による作業、違いを考えてほしい。
- ◆合理化が最優先で転職環境や個別整備要求など言える雰囲気でない。

この取組により改善される職業的課題

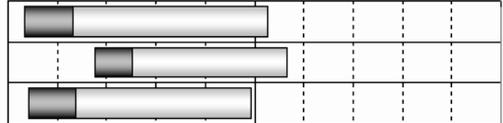
仕事で要求されている責任に十分に答えること
フルタイム(約8時間)の労働を行うこと



トイレ、休憩所、食堂等の施設改善 (現状の取組率:24.3%)

この取組により改善される職業的課題

手と腕で物を動かしたり操作したりすること
運搬すること
手と手指で物をつまみ、操作し、放すこと



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針 (現状の取組率:15.6%)

- ◆自分から退職するよう向って来た。22人の部署で部長が毎日お前は残業ナシ、お前は会議は来るナ。

この取組により改善される職業的課題

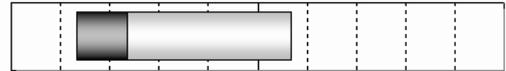
必要な配慮や支援等についての職場への説明



職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備 (現状の取組率:25.5%)

この取組により改善される職業的課題

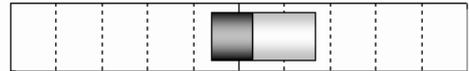
交通機関の利用(バス、電車、飛行機、タクシーなど)



産業医・産業保健師による事業所内の健康管理 (現状の取組率:34.5%)

この取組により改善される職業的課題

病気や障害についての職場への説明



冷暖房、エアコン、空気清浄機など (現状の取組率:34.7%)

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明



意思疎通・パソコン利用のための支援機器(含ソフトウェア) (現状の取組率:14.9%)

- ◆パソコン(マウスはコントロールボールへ)を購入、貸出してくれた。

この取組により改善される職業的課題

座った姿勢で仕事をする

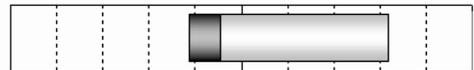


職場内の移動の施設改善(手すり、通路、床面、案内など) (現状の取組率:15.9%)

- ◆パーキンソン病で転倒する為、床の段差をなくして歩きやすくしていただいています。

この取組により改善される職業的課題

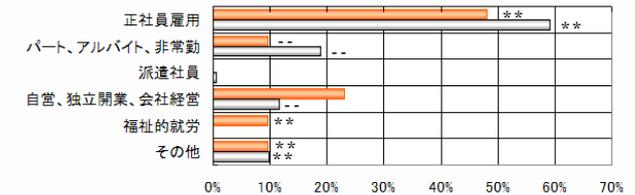
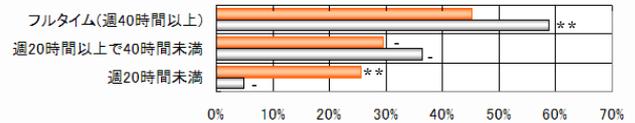
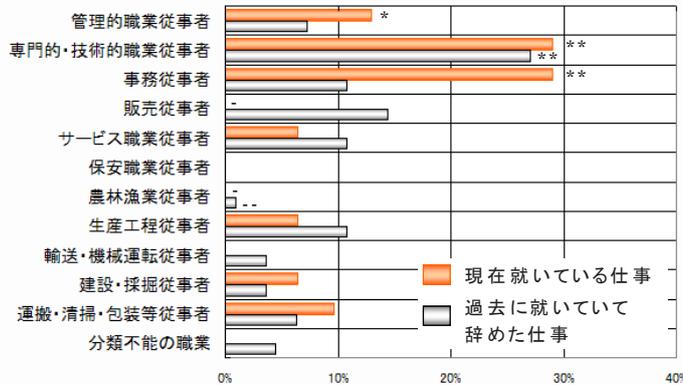
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」20.2%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」69.4%であり、合わせると89.5%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、事務職、管理職に就いている人が多く、販売職、農林漁業職が少なかった。正社員雇用が比較的多くパートは少ないが、福祉的就労もあった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【専門的・技術的職業従事者】(28.1%)

- 食品製造メーカーの設備及び自社開閉機械の電気制御すべて、及び省エネなど (男 50 歳代)
- 薬剤師。1年半ぐらい前から週2回、1回3時間の薬局パート勤め (女 50 歳代)
- 看護師としての相談業務、服薬管理、バイタルサインチェック、他事務的な仕事 (女 20 歳代)
- 診療情報管理士→病院におけるカルテ等から情報を発見し登録する (男 40 歳代)
- 税理士業務 (男 60 歳代)
- 教員 (男 50 歳代)
- 自宅において茶道教室指導教授 (女 70 歳代)
- 学習塾 (小、中学生・算数、国語) (女 60 歳代)

【管理的職業従事者】(12.5%)

- 経営 (有限会社) の代表取締役 (男 50 歳代)
- 出先現場事務所の長 (男 50 歳代)
- 出版業、専門職研修月刊誌、他書籍の発行 株式会社とはいえ社長兼編集、企画、販売等一人何役も。取引先の理解を得て、継続 (男 60 歳代)

【一般事務従事者】(12.5%)

- 人事事務。新卒採用・大学に求人、面接。パート採用・職安、求人誌。給与計算=パソコン入力 (左の指1本)、賞与計算 (エクセル)、年末調整、支払報告、社会保険事務等
- 警備の仕事で、すわって受付業務 (男 50 歳代)
- 事務の仕事全般 (女 50 歳代)
- 受注管理、PC入力が主 (男 40 歳代)

【パーソナルコンピュータ操作員】(9.4%)

- OA機器を操作しての仕事、1日中PC作業 (男 50 歳代)
- パソコンの入力作業 (男 40 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(9.4%)

- メール便の配達。週4日 (男 60 歳代)
- 駅の清掃 (男 60 歳代)

【様々な事務従事者】(6.3%)

- 銀行 銀行の店頭窓口係 (女 30 歳代)
- 経理事務職。会社が民事再生でその処理 (女 60 歳代)

【サービス職業従事者】(6.3%)

- 集会所の管理人 (住込み) (男 70 歳代)
- 大規模小売り店舗の駐車場の料金所の業務 (女 50 歳代)

【生産工程従事者】(6.3%)

- 印刷業 (男 40 歳代)
- 工作機械の電気修理 (男 40 歳代)

【建設・採掘従事者】(6.3%)

- 作業所で電気工事の施工管理者。危険が伴うとの事で、会社内での図面、積算等に配置転換 (男 50 歳代)
- 地方公務員、技術員。平成7年に病名が判り、少しでも身体を動かせる工事検査部門に移動 (男 60 歳代)

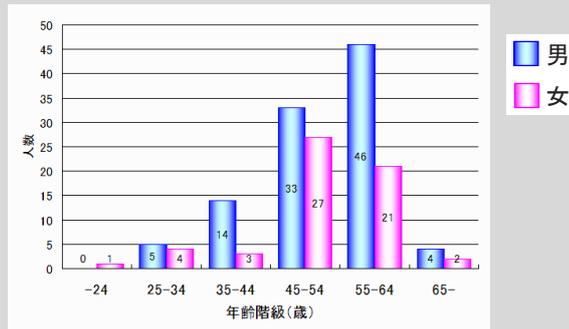
11 脊髄小脳変性症

小脳と関連諸核およびその伝導路の変性による運動失調を主症状とする原因不明の疾患の総称。

医師の就労への見解

脊髄小脳変性症は進行性であり、現在のところ、その進行を止める術はありません。発症から換算し 5～10 年で歩行が困難になり、手先の器用さも失われ、言葉も聞き取りにくくなってきます。休職や離職をした場合、個人差はありますが、復職、再就職が困難になっている現状があります。就業を継続することは、収入面のみではなく、生きがいの面からも重要であり、職場までの送り迎えや、職場での就業支援などが重要です。

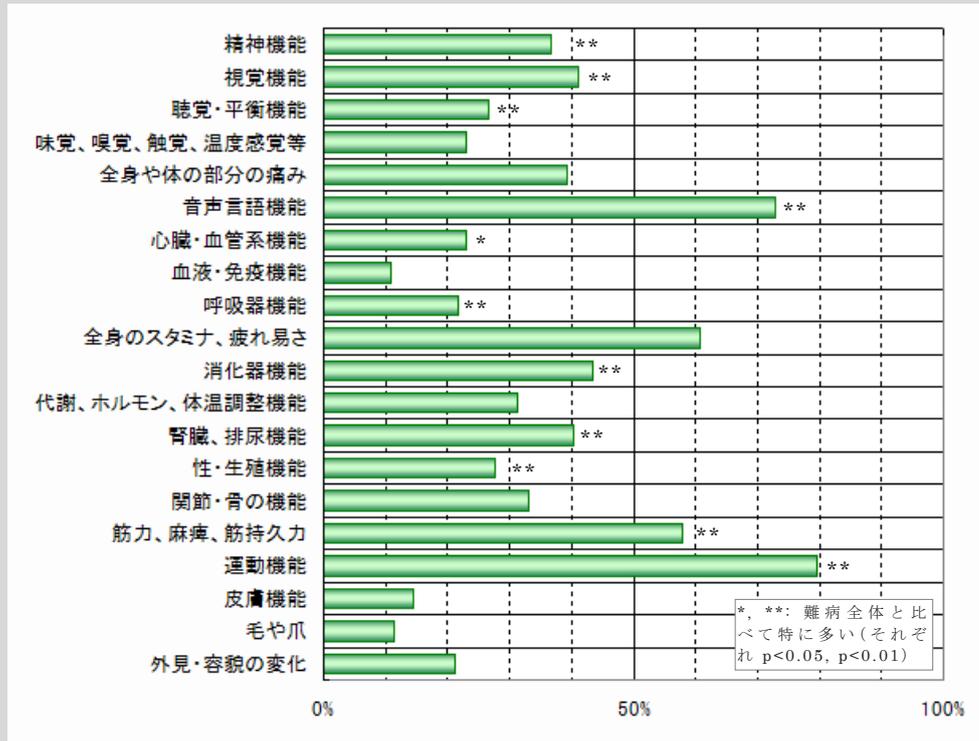
(障害者手帳あり)人は 88.4%。男性がやや多く、35 歳以降増加し 60 歳代にピークがあった。



比較的多い機能障害

小脳は運動をスムーズに行えるようにする器官なので、小脳が変性していくと、徐々に、「千鳥足」「ろれつが回らない」「手先が震える」といった、酒酔で小脳が麻痺した時に似た症状が表れてきます。また、脊髄の変性により、足の筋肉がつっぱるようになったり、低血圧になったりすることもあります。

- 比較的多い機能障害や症状は、「運動機能」「音声言語機能」「全身のスタミナ、疲れ易さ」「筋力、麻痺、筋持久力」等



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

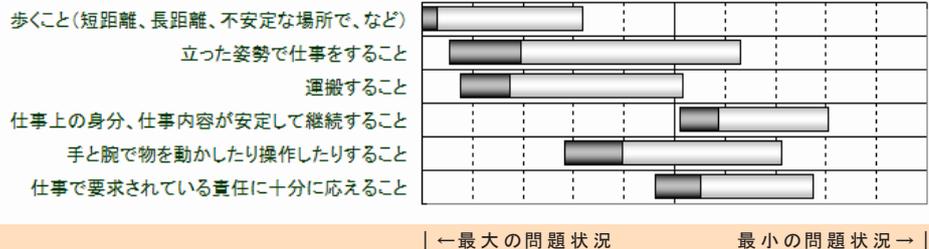
脊髄小脳変性症では、就職後の課題の改善には「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」「偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発」等が効果的な取組であり、それによって、歩行、勤務時の姿勢、運搬等の多くの課題が改善されていた。

上司・同僚の病気や障害についての正しい理解 (現状の取組率:26.3%)

(一体的な取組:「本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組(23.2%)」「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(34.2%)」)

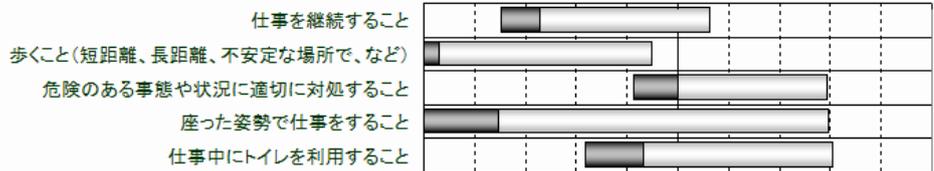
- ◆ 病気を理由にする場合は、職場の同僚の理解は欠かせないと思う。
- ◆ 最初は問題はなかったのですが、ふらつきが多くなったため、上司と話し合い解決(セレジストを飲んでふらつき話し方、書き方が良くなった)。
- ◆ 病気のことを良くわかってもらえず、周りの態度が気になる。
- ◆ 何よりメンタルな部分でカバーできるものが、本来多いと感じる。ほんの少しの配慮で大分改善されると思われる問題ばかりなのであるが、実際はそこが最も障害となっているようで逆にその Disability を理由に忌避されてしまう。
- ◆ 病気を理由に差別的発言や圧力を常に受ける。
- ◆ 我々は当初入社時は健常者として入社しており、途中より身障者になったので、仕事の同僚は私を理解してくれているが人事部は冷たい。もっと人事部より解決方法(病気による)のアプローチがあっても良いのでは。
- ◆ 障害者への理解ある職場。
- ◆ 病気がわかった時の上司はおだやかな人物だったが、配置転換されてからの上司は年下なのにきつい人だったので、ストレスをため、発狂したようになり、仕事をやめた。仕事が出来ない人という、うわさ話も多く、居づらかった。でも限界だったかもしれない。

この取組により改善される職業的課題



偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発 (現状の取組率:18.6%)

この取組により改善される職業的課題

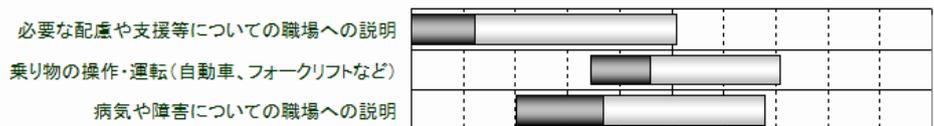


主治医、専門医等への就労相談 (現状の取組率:33.1%)

(一体的な取組:「産業医・産業保健師による事業所内の健康管理(29.6%)」)

- ◆ 病院の医師には体が動くうちは、普通通りの勤務をしないさいとの事でした。
- ◆ 自分が“この病気と思わず”に…前向きに仕事にあたって欲しい旨のアドバイスだったと思う。ベッドで寝ているまた家の中に閉じこもる生活より、31才ということもあり、できるだけ外に目を向けリハビリに励み残された機能をいかしていくように…だったと思う。社会復帰は退院の1ヶ月後位だった。
- ◆ 心療内科で、うつだったのを色々相談に乗ってもらい今では、大分良くなった。整形外科の方ではリハビリや痛み止めで動けるようにしてもらっています。(注射、点滴)痛みを取ってくれます。
- ◆ 病気がわかったとき、主治医が職場の上司に病気の説明をしてくれた。仕事を辞める辞めないは上司の判断にまかせれば良いと言われて、家族は少し安心した。

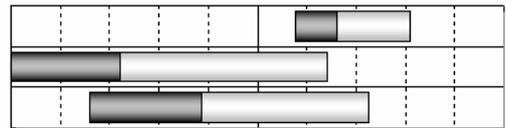
この取組により改善される職業的課題



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役（現状の取組率:34.2%）

この取組により改善される職業的課題

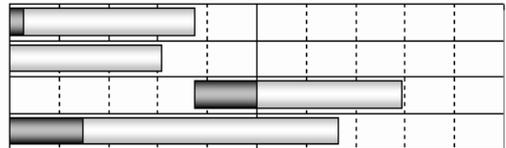
精神的ストレスに適切に対処すること
勤務時間外の生活（住居、買い物など）を行うこと
決められた通院を行うこと



コミュニケーションに時間をかける配慮（現状の取組率:25.7%）

この取組により改善される職業的課題

歩くこと（短距離、長距離、不安定な場所で、など）
様々な場所をあちこち移動すること（車椅子を含む）
危険のある事態や状況に適切に対処すること
座った姿勢で仕事を行うこと



社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ（現状の取組率:20.7%）

この取組により改善される職業的課題

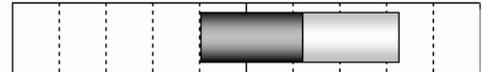
仕事上で人と対応すること



冷暖房、エアコン、空気清浄機など（現状の取組率:44.2%）

この取組により改善される職業的課題

服薬や自己治療の健康管理をすること

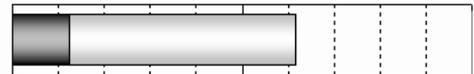


ハローワークの専門援助窓口への就労相談（現状の取組率:23.8%）

- ◆ 職業能力開発校。ハローワークで紹介されて1年間通ったが、就職には至らなかった。
- ◆ ハローワークにて就職活動中。
- ◆ 相談したが具体的に方向性を示してはくれず、自分で何とかしてくれという状態だった。

この取組により改善される職業的課題

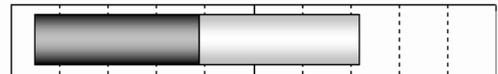
必要な配慮や支援等についての職場への説明



通院への配慮（現状の取組率:42.1%）

この取組により改善される職業的課題

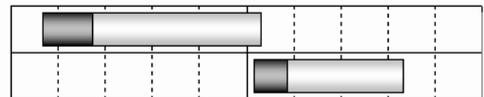
決められた通院を行うこと



職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備（現状の取組率:22.5%）

この取組により改善される職業的課題

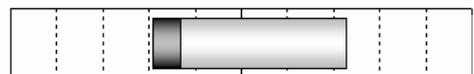
運搬すること
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針（現状の取組率:11.4%）

この取組により改善される職業的課題

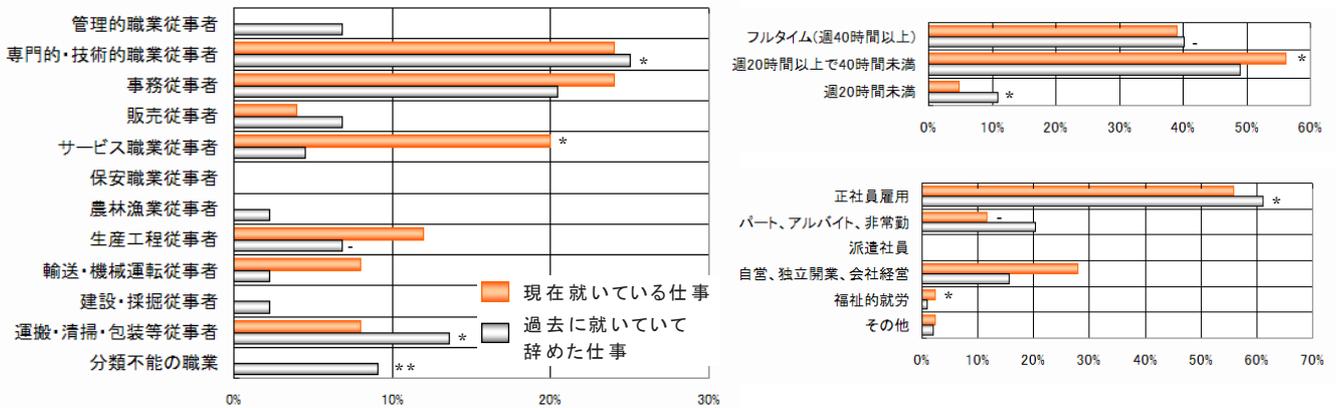
病気や障害についての職場への説明



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」25.9%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」69.3%であり、合わせると95.2%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較するとサービス職業従事者が比較的に就いている人が多かった。パート等がやや少なかった。就労時間は同性同年齢と比べるとやや短時間が多かった。



(*,**: 平成 21 年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p<0.05$, $p<0.01$)。-, **: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【専門的・技術的職業従事者】(24.0%)

- 研究と雑務 (20 歳代)
- 特許文献のサーチ (男 50 歳代)
- 相談や介護計画・ケアを主としている為、訪問等他機関の調整業務が主。最近コンピュータ化しており、コンピュータを扱った記録作業有 (女 50 歳代)
- 教員 (男 60 歳代)
- イラストレーター、コマースの絵コンテ作成 (男 50 歳代)
- 図書館司書 (男 50 歳代)

【調理人】(20.0%)

- 老人ホームの調理と洗い物。台車使用。転ぶ事も何度かあり、注意しながら就業 (男 50 歳代)
- 病院内の保育園で調理師 (時間を短くしてもらい朝 9:00 から昼 2:00 までで休憩。一応調理、配膳全部 (女 40 歳代)
- 嫁ぎ先が飲食店のため、調理全般の手伝い (女 40 歳代)
- 自営業(喫茶店)で調理 (男 50 歳代)
- 飲食業(中華麺)に就業 (男 30 歳代)

【様々な事務従事者】(12.0%)

- 座作業: 冷暖房・換気量等計算。建築機械設備工事・材料数量計算 (男 40 歳代)
- 調達(資材)業務 (男 50 歳代)
- パソコンを使用したデータ入力 (女 30 歳代)

【一般事務従事者】(12.0%)

- 保育日誌業務・避難訓練等の記載や記録、業者との応対その他子供と職員の全体の監視 (女 50 歳代)
- 以前の会社では電気工事の施工管理。現在は事務所でOA機器による図面・設計等の事務 (男 50 歳代)
- 地方公務員で許認可事務に従事 (男 50 歳代)

【生産工程従事者】(12.0%)

- タップ立て、ベンテレース等 (男 60 歳代)
- 機械加工品の検査 (男 50 歳代)
- パソコンを使ってチラシや看板の作成 (男 40 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(8.0%)

- 小型船舶のエンジニア (男 50 歳代)
- 工場の動力設備(ボイラ等)管理 (男 50 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(8.0%)

- 倉庫業務。現在は、自動車部品の配送。重いものがある場合には同僚が補助 (男 50 歳代)
- うどんやそばの麺茹 (男 40 歳代)

【販売従事者】(4.0%)

- 商品販売、指導、メイク等 (女 20 歳代)

12 後縦靱帯骨化症 (OPLL)

脊柱のほぼ全長を縦走する後縦靱帯の肥厚と骨化により、脊柱管狭窄に伴う脊髄または神経根の圧迫障害を来す。

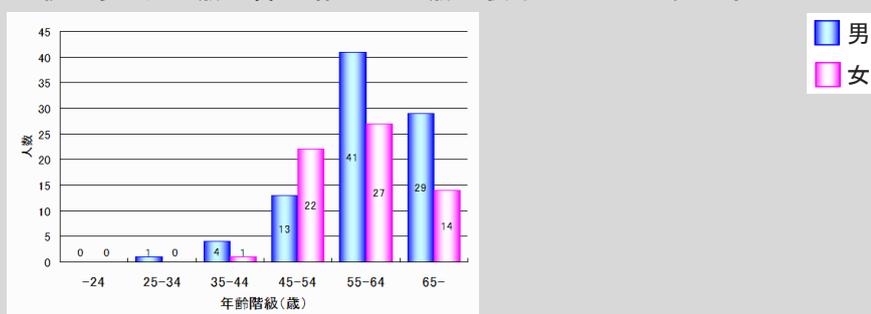
医師の就労への見解

頸部痛、上下肢神経症状が増悪した場合、安静、薬物投与、カラー装着、理学療法などの約 2～4 週の加療が必要と考えられる。通常、自覚症状の改善が得られれば復職は可能である。手術加療を行った場合、症状改善が得られれば、デスクワークにおいては、頸椎カラーを装着した状態で、術後 3～4 週程度から就労は可能である。頸椎カラーの装着期間は、手術法、脊椎固定範囲にもよるが、3～6 週程度であり、脊髄症状の増悪がみられない場合においては、術後 2カ月以降は軽作業より開始し、徐々に元の就労に復帰可能である。

比較的多い機能障害

(障害者手帳あり)人は 37.9%。

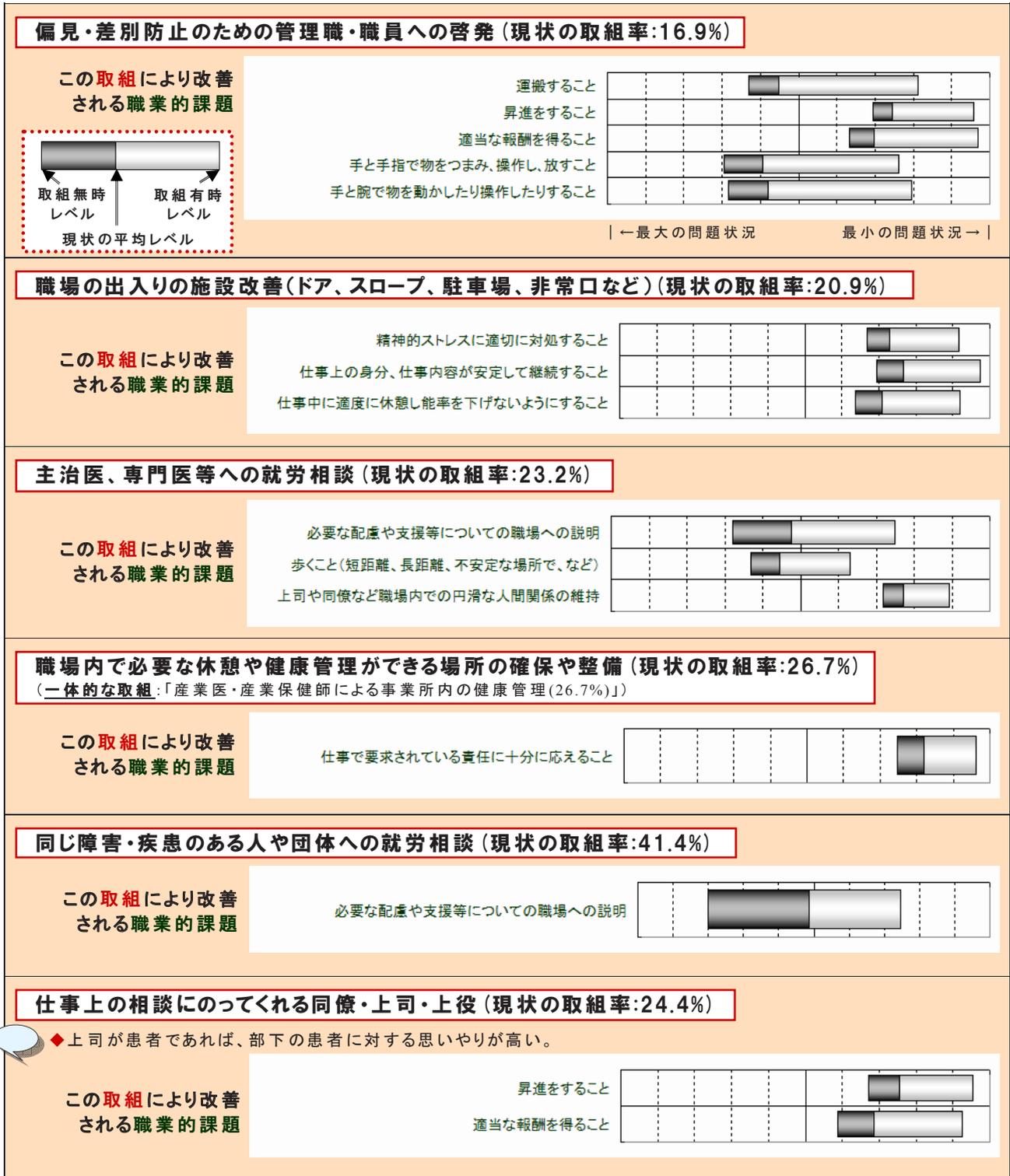
高齢者では男性が比較的多く、45 歳以降に増加し 50 歳代後半にピークがあった。



脊柱を縦走する後縦靱帯が骨化し増大する結果、脊髄の入っている脊柱管が狭くなり、脊髄や脊髄から分枝する神経根が圧迫されて知覚障害や運動障害等の神経障害を引き起こす病気です。

①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

後縦靭帯骨化症では、就職後の課題の改善には「偏見・差別防止のための管理職・職員への啓発」「職場の出入りの施設改善」等が効果的な取組であり、それによって、手先の操作、手と腕での操作、運搬等の多くの課題が改善されていた。



◆上司が患者であれば、部下の患者に対する思いやりが高い。

職場内の移動の施設改善(手すり、通路、床面、案内など)(現状の取組率:23.5%)

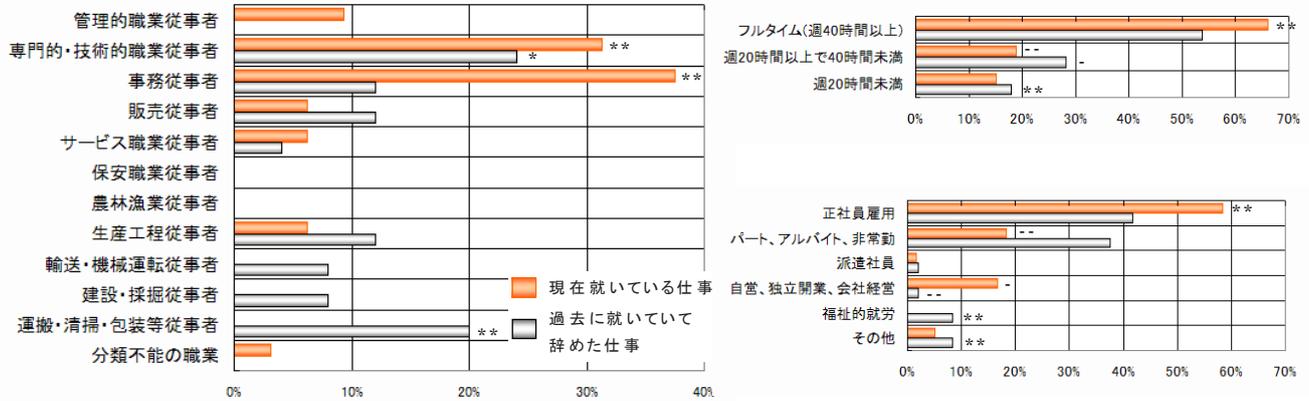
※円滑な人間関係の維持、仕事上の身分・内容の安定した継続に効果的

◆階段は無い方が良い。

②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」42.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」34.8%であり、合わせると77.3%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務職、専門・技術職に就いている人が多かった。過去に辞めた仕事では運搬・清掃等従事者が多かった。正社員雇用が比較的多くパート等は比較的少なかった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な事務従事者】(21.2%)

- 医療機関事務 (男 30 歳代)
- 医療事務の契約講師、長い時で1日5時間の講義 (女 40 歳代)
- 予算管理 (男 50 歳代)
- パソコンによる受発注作業 (男 50 歳代)
- OA業務 (男 60 歳代)
- 地域を訪問して歩く仕事、パソコン業務 (女 50 歳代)
- 地方公務員 (男 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(12.1%)

- 看護師(医療病棟における看護業務)(女 50 歳代)
- 看護師として臨床で常勤勤務。今は、電話相談など (女 50 歳代)
- 看護師。夜勤あり
- 看護師で病棟師長 (女 50 歳代)

【一般事務従事者】(12.1%)

- 事務職 (男 50 歳代、女 50 歳代)
- 月・水・金曜日の勤務。7時間45分。デスクワークと適度に体を動かす仕事 (男 60 歳代)
- 一般事務(公務員、勤務先の福祉厚生業務)(女 50 歳代)

【管理的職業従事者】(9.1%)

- 上場企業の管理職 (男 40 歳代)
- 管理職 デスクにて管理(事務的) (男 70 歳代)
- 学習塾の運営(授業、講師管理等) (男 50 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(9.1%)

- 自営農業(水稲栽培のみ)(男 60 歳代)
- なんでも相談室相談員 (男 60 歳代)
- 技術職 (男 40 歳代)

【教員】(9.1%)

- 小学校教諭 (女 50 歳代)
- 大学の講師 (男 60 歳代)
- 社内教育講師、その他 (男 50 歳代)

【販売従事者】(6.1%)

- 肉屋さんのカット、梱包、作業 (男 50 歳代)
- 損害保険の代理店 (女 50 歳代)

【サービス職業従事者】(6.1%)

- クリーニングの仕上げ作業 (女 50 歳代)
- 所有アパートの管理 (男 60 歳代)

【生産工程従事者】(6.1%)

- 工作機メーカーの納入先による(出張)修理、改造、打ち合せ(メカ、電気、加工、油圧等)の現場作業 (男 50 歳代)
- 電子部品の信頼性試験、及びデータ取り、パソコン作業、ハンダ付作業など (女 40 歳代)

【分類不能の職業】(3.0%)

- 自分の疾患の治療の為、病院へ通院しなければいけないので、パートの仕事につく事しか出来ない現状がある (女 50 歳代)

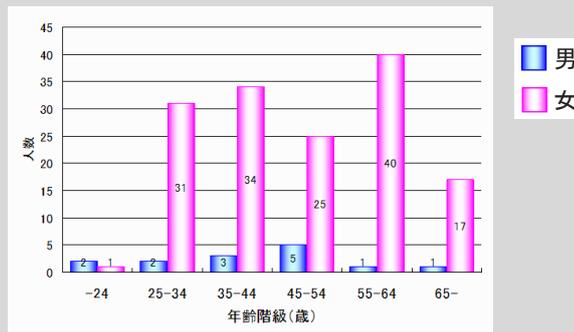
13 混合性結合組織病

膠原病重複症候群で、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎／皮膚筋炎を思わせる臨床所見の重複。

医師の就労への見解

混合性結合組織病は多くが再燃と寛解を繰り返すため、再燃した場合は、入院または外来通院による内服薬の調整で約2ヶ月程度の休職を要しますが、多くが復職可能です。就業上の留意点は、個々の症状に応じて異なりますが、冷感避けること、荷物の運搬や階段昇降などの重労働を避けることが基本となります。肺高血圧症のある場合でも、粉塵のある職場を避け、風邪などの感染症の予防に加え、マイペースでの作業遂行が可能であれば就労は可能と思われます。

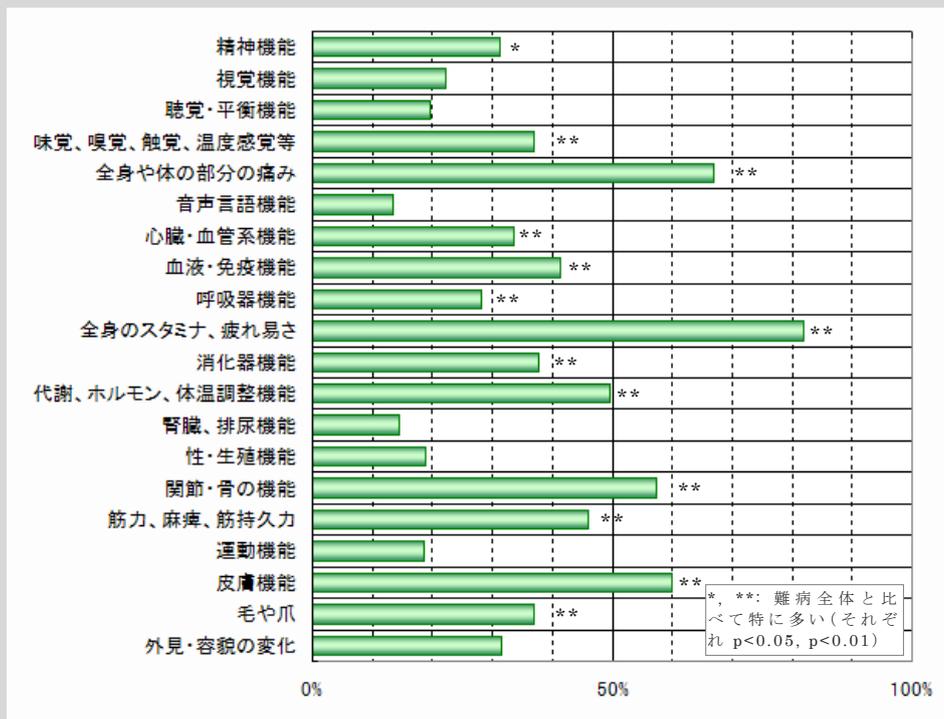
(障害者手帳あり)人は18.1%。女性が圧倒的に多く、広い年齢層にわたっていた。



比較的多い機能障害

主な症状は、冷感刺激で手指が冷たく紫白色となり冷感としびれが出現するレイノー現象で、軽症～中等症例では、発熱や関節炎などが出現します。また重症例では、血小板減少生やネフローゼ症候群、重症筋炎、急性間質性肺炎、中枢神経症状、肺高血圧を呈することもあります。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」「関節・骨の機能」等



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

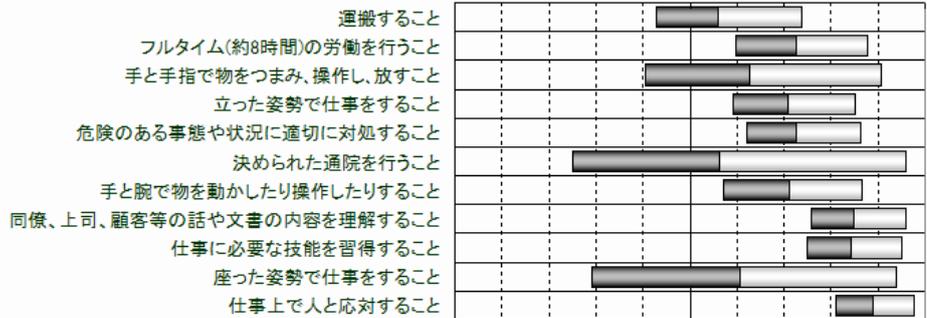
混合性結合組織病では、就職後の課題の改善には「通院への配慮」「能力的に無理のない仕事への配置」等が効果的な取組であり、それによって、通院、座った姿勢での仕事、ストレスへの対処等の多くの課題が改善されていた。

通院への配慮（現状の取組率:38.3%）

（一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(40.9%)」）

- ◆通院によるその日の仕事の配置が変更になる為、能率が悪くなるので、病院へ行く事は仲間に気を使ってしまう。よって1日欠勤ができにくい。
- ◆体調の変化が勤務中にあった時、上司等に気軽に言えたり、休みをもらえる。

この取組により改善される職業的課題



←最大の問題状況

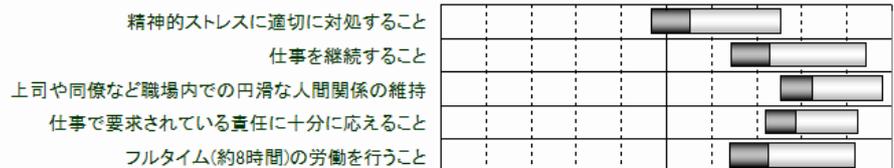
→最小の問題状況

能力的に無理のない仕事への配置（現状の取組率:25.9%）

（一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(40.9%)」）

- ◆お茶当番、机ふきはしなくてよい。
- ◆体力仕事や屋外の仕事などは問題がある。常勤職の時は病気のコントロールができず、体調は良くなかった。
- ◆冬の時期はレイノーがあるので、水仕事の後は手作業がやりにくくなる時がある。
- ◆フルタイムの仕事について十分な収入を得るには、体力的にちょっときつい。
- ◆表面では病気はわからないので採用はしてもらえらるが、病気の事をかくして仕事するのでしんどくても無理をしてしまい、結果、病気の悪化をまねくので常勤の職につくことは難しく、収入もなくなる。
- ◆体調がその日その日で異なる、風邪をひきやすい、極度の疲労感、長時間の緊張に耐えられず等の理由から、十分な働きには到底及ばない。
- ◆冷房とか水を使う事は、体に悪かった様です。
- ◆仕事の作業場所によっては室温が著しく低い場所もあったので、その場合は病気の症状が悪化してしまうことがたびたびあり、苦痛をとまった。
- ◆病気や薬の副作用また合併症で、毎日体調に変化をきたすので、長時間あるいは、フルタイムは難しい。

この取組により改善される職業的課題

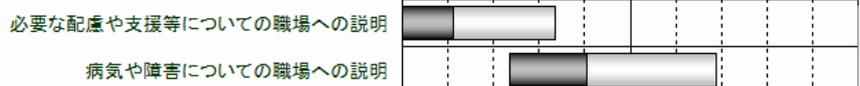


主治医、専門医等への就労相談（現状の取組率:31.3%）

（一体的な取組:「同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談(12.9%)」）

- ◆主治医の先生に、転職する時に相談した。仕事内容は一緒だが、勤務時間が不規則なので一定したところの方がよいのですが、と相談しました。
- ◆主治医やソーシャルワーカーに相談しても、話を聞いてくれるだけでアドバイスはない。でも、気分的に楽になった。
- ◆無理をしないである程度働いた方が体の為に良い。
- ◆主治医の先生が免疫疾患専門医の為、難病友の会等の事を伺って入会。自分も看護婦のはしくれ。ある程度の知識あり。
- ◆医師、ナースにアドバイスをいただき、進路の方向を決めました。今は薬剤師をめざしています。

この取組により改善される職業的課題



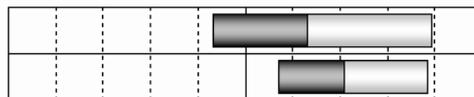
仕事上の相談によってくれる同僚・上司・上役 (現状の取組率:40.9%)

(一体的な取組:「勤務中の休憩をとりやすくすること(21.6%)」「必要に応じた同僚等の作業補助(36.4%)」)

- ◆上司とのコミュニケーションが重要となってくると思う。あとは、自分のやる気が必要と思う。

この取組により改善される職業的課題

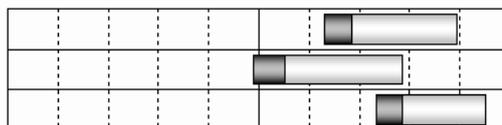
仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること
立った姿勢で仕事をする事



仕事用の機器や道具、作業机等の個別的な環境整備や改造 (現状の取組率:17.1%)

この取組により改善される職業的課題

歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)
精神的ストレスに適切に対処すること
仕事で要求されている責任に十分に答えること

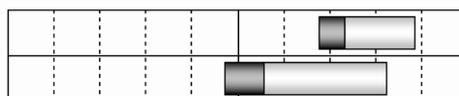


上司・同僚の病気や障害についての正しい理解 (現状の取組率:22.2%)

- ◆もちろん周りは皆健康者なので、自分の不具合は100%は伝わらないかもという不安。
- ◆体調不良・入院の時には仕事の補助について、はっきりと示すことができるようにする。
- ◆教員をしていたのですが、発病して休職を3年間とったあと復帰する時に、なかなかスムーズに行かなかった。無理なく日常生活は送っていた状態でしたが「難病である」という事のカベがあり、校長面接・県教委の面接とありました。結果、復帰できたのですが、流れが変わったと思ったのは、校長自ら主治医と話をし、そして、主治医が「社会における活動の場を奪うのはおかしい。健康を注意しなければならない事はあってもちゃんとやっていける。様々な人が共存できる、ハンディがある人こそ前に出ていかなければならぬのに排除する流れはおかしい」と強く反論して下さった事です。
- ◆洋服を着用するのと同様に、手袋をしての仕事が出来る理解がほしい。

この取組により改善される職業的課題

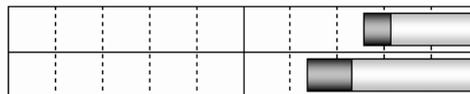
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
運搬すること



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針 (現状の取組率:19.7%)

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
仕事を継続すること

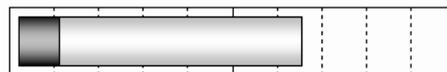


同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談 (現状の取組率:12.9%)

- ◆同じ障害や疾患の患者会で実情をきくのは良いと思います。ひとりでは本当になにも見当がつかないので、必ず参考になると思います。患者団体で、「若い人の会」というのをやってくれたことがあり、20~30代の、就労や結婚や出産などの悩みを話し合ったり、経験を伝え合ったりしたのは励みになりました。
- ◆患者団体。
- ◆今の先生に対して不安になる時がある為、難病相談会等で他の先生の意見を聞く事ができ、違った見方や意見を聞けて、心の支えや納得する事もあったりして良かったと思った。
- ◆同じ病気の方は同じ立場(気持ち)になって相談によってもらえる。(友の会)
- ◆難病連で同じ体験をした人の話を聞くことができた。

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明



本人の意見を積極的に聞いて業務内容を改善する取組 (現状の取組率:31.3%)

(一体的な取組:「社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ(34.5%)」)

この取組により改善される職業的課題

適当な報酬を得ること



冷暖房、エアコン、空気清浄機など(現状の取組率:43.0%)

- ◆禁煙にしてほしかった。
- ◆‘体を冷やす’ことが一番病気には悪影響なので、夏ではエアコンの温度、冬には体全体をあたためられる暖房器具(環境)。

この取組により改善される職業的課題

仕事中に注意を集中すること



職場内で必要な休憩や健康管理ができる場所の確保や整備(現状の取組率:26.5%)

この取組により改善される職業的課題

様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)



職場の出入りの施設改善(ドア、スロープ、駐車場、非常口など)(現状の取組率:22.2%)

この取組により改善される職業的課題

歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)



短時間勤務(現状の取組率:18.8%)

- ◆短時間勤務をしたくても、会社には中々言いだせない状況です。
- ◆治療3年経過したが思う様に症状が改善せず、肩たたきの様子が見られたので自主退職したが、短時間の勤務調整をしてほしかった。失業保険もない為、退職金を生活費に充てた。

この取組により改善される職業的課題

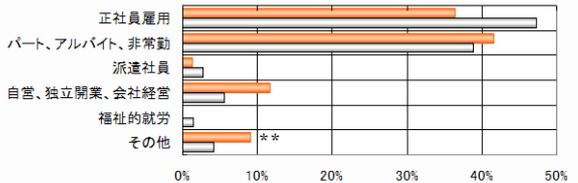
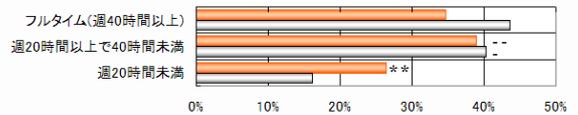
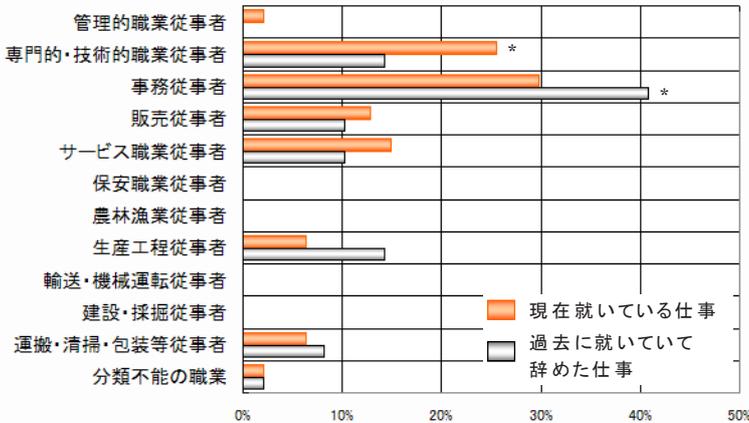
危険のある事態や状況に適切に対処すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」42.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」44.8%であり、合わせると87.3%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務、専門・技術職に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(14.3%)

- 総務の仕事。社員の休暇管理、給与関係(データ入力等)等(女 40歳代)
- 受付、税金関係の事務、接待、案内(女 50歳代)
- 受付・接客・事務(女 20歳代)
- コールセンター、受付業務(女 30歳代)
- テレマーケティング(50歳代)
- 大学生協で週4日。1日4時間程度事務職。年間7ヶ月(大学は長期の休みが多い)(女 50歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(11.9%)

- コンピュータSE、スーパーのレジ係、事務係等(女 30歳代)
- 公務員、技術職 管理栄養士。市民の健康づくり、栄養改善の支援(女 50歳代)
- 教員(女 50歳代)
- 教職員(12年)、自営(飲食業5年)、一般事務(派遣1年)(女 40歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(9.5%)

- 社会保険事務所での年金窓口相談(女 30歳代)
- 就労継続支援B型施設長(女 50歳代)
- 知的障害者授産施設の支援員(男 40歳代)
- 乳幼児保育(女 40歳代)

【医療技術者】(7.1%)

- 放射線を使った人体撮影、核磁気共鳴による人体撮影(女 30歳代)
- X線撮影業務(女 20歳代)
- 理学療法士(男 40歳代)

【経理事務員】(7.1%)

- 経理。デスクワークが中心(男 20歳代)
- 税理士補助業務(男 20歳代)
- 経理とパソコン操作(女 50歳代)

【販売店員】(7.1%)

- 和菓子の販売・接客(女 30歳代)
- レジを打つ、店番、掃除(女 60歳代)
- 農産物直売所販売員を週3回程度(女 40歳代)

【様々なサービス職業従事者】(7.1%)

- ヘルパー(女 50歳代)
- 医療助手業務(女 30歳代)
- 接客業(女 40歳代)

【調理人】(7.1%)

- 学校給食代行員(女 30歳代)
- キッチン・仕込み・皿洗い(女 30歳代)
- 学校給食の調理員(女 30歳代)

【生産工程従事者】(7.1%)

- 生コン製造販売。病気後はコンピュータによる生コン製造(デスクワーク)のみ(男 40歳代)
- 半導体の製造工場。歩き・立ち作業(男 30歳代)
- 半導体の製造(男 30歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(7.1%)

- スーパーの清掃(女 60歳代)
- 軽食喫茶で営業前の仕込み(女 50歳代)
- サラダ作り、ハンバーガー作り、レジ(女 40歳代)

【様々な事務従事者】(4.8%)

- 卸会社の物流関係で、入出荷及び商品の検品(流れ作業)複雑な伝票処理事務(男 40歳代)
- パソコンを使った検査や調査など(女 30歳代)

【管理的職業従事者】(2.4%)

- 事務系役員(会社)(女)

【様々な販売従事者】(2.4%)

- 生命保険の外交員(女 20歳代)

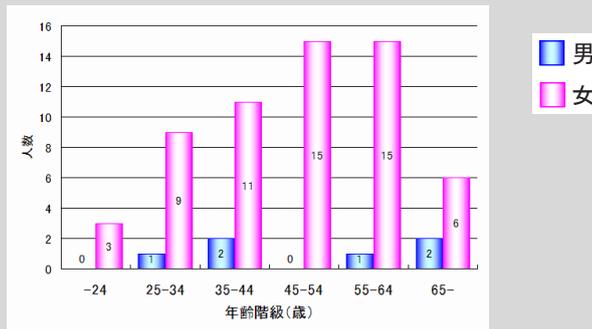
14 大動脈炎症候群(高安病)

大動脈とその主要分枝の炎症性狭窄(脈無し病)。動脈閉塞による症状、動脈拡張による症状、及び炎症反応による全身症状からなる。

医師の就労への見解

この病気の約半数の方々が、炎症所見がない、または軽度である「非活動期」に属していますので、過労や立ち仕事を避けるなどの配慮と、健康管理の継続と必要時の迅速な通院ができれば仕事を継続することができます。血管の炎症、障害部位により配慮は異なりますので、主治医と一緒に検討することが大切です。

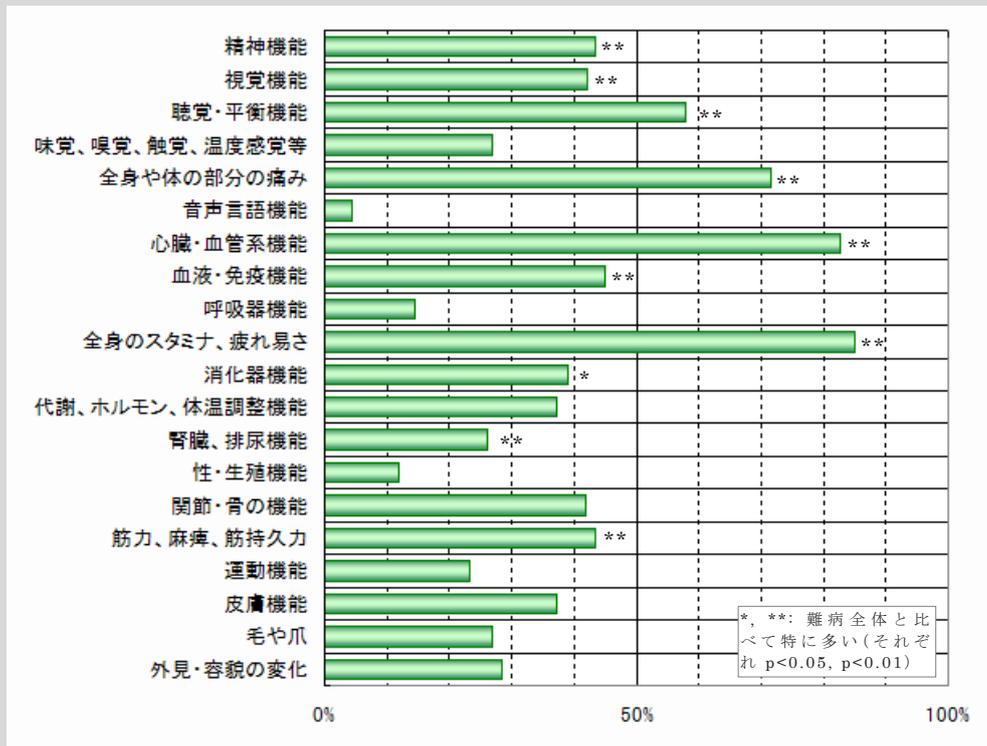
(障害者手帳あり)人は31.3%。女性が圧倒的に多く、幅広い年齢にわたり50-60歳代にピークがあった。



比較的多い機能障害

主な症状は、炎症血管により様々ですが、初期には発熱や全身倦怠感、食欲不振、体重減少など感冒様のはっきりとしない症状が出現します。その後、狭窄や閉塞が起こりますが、どの血管が障害されるかによって、めまいや立ちくらみ、腕の疲れや脈が触れない、歩行困難、腎機能低下や高血圧などの症状が出現します。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「心臓・血管系機能」「全身や体の部分の痛み」「聴覚・平衡機能」等



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

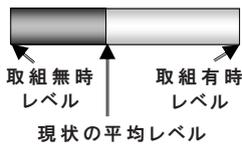
大動脈炎症候群では、就職後の課題の改善には「短時間勤務」「ハローワークの一般求職窓口への就労相談」等が効果的な取組であり、それによって、ストレスへの対処、職場への説明、仕事上の責任等の多くの課題が改善されていた。

短時間勤務（現状の取組率:22.6%）

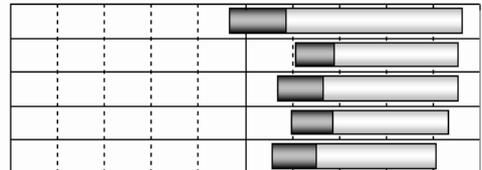
（一体的な取組:「仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役(33.3%)」「勤務中の休憩をとりやすくすること(19.7%)」）

- ◆勤務時間を短くしてほしいが給料的な事もある。
- ◆体力的に疲れやすいため、主人が心配して時間的（パートでなければ！仕事の内容等）に制限がある。

この取組により改善される職業的課題



精神的ストレスに適切に対処すること
昇進をすること
適当な報酬を得ること
仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること
仕事で要求されている責任に十分に答えること

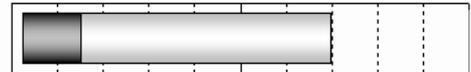


←最大の問題状況 最小の問題状況→

ハローワークの一般求職窓口への就労相談（現状の取組率:16.0%）

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明

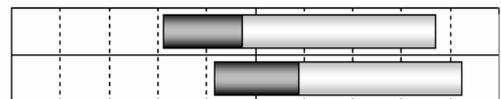


能力的に無理のない仕事への配置（現状の取組率:26.2%）

- ◆疲れやすく、体力がないため常勤に耐えられない。
- ◆常勤で働く、身体に負担がかかり(特に心臓)手術するまで悪くなったので、常勤で働く事に抵抗がある。
- ◆アルバイト以上の仕事に就けるかどうか心配である。(無論、働かせて頂けるだけでも幸せと思うが)
- ◆できれば常勤として働きたいけれど、体力面が不安なので仕方がないと思っています。
- ◆パートで1日6時間勤務ですが、収入はやはり常勤と比べると少ないです。
- ◆やりたい事(仕事、プライベート等)があれば、しっかりやること(家事等)をやってからとプレッシャーになる！！本意でない職業になる場合がある。
- ◆通院等で1ヶ月に1日休まなければならないので、多少疲れていたり、風邪をひいたりする時に休みにくい。
- ◆残業がない。
- ◆採用されても、体を動かさず仕事なので体調を悪くして休み、気まづくなり辞める。常勤の仕事を探すのは難しい事です。自立するのは難しいです。

この取組により改善される職業的課題

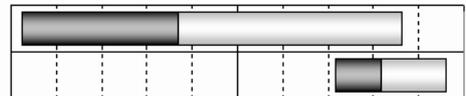
遅刻、早退、欠勤をしなくて出勤すること
遅刻すること



仕事上の相談にのってくれる同僚・上司・上役（現状の取組率:33.3%）

この取組により改善される職業的課題

決められた通院を行うこと
上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持

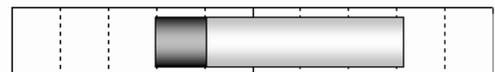


勤務中の休憩をとりやすくすること（現状の取組率:19.7%）

- ◆適切に体を休めないで一気に体力が落ち病的に弱るが、なかなか休憩がとりにいくため配慮が欲しい。

この取組により改善される職業的課題

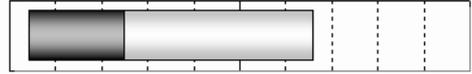
仕事を継続すること



身体障害者手帳保有 (現状の取組率:31.8%)

この取組により改善される職業的課題

病気や障害についての職場への説明

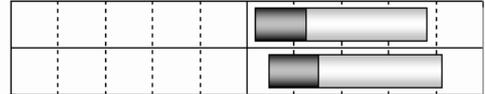


必要に応じた同僚等の作業補助 (現状の取組率:22.2%)

この取組により改善される職業的課題

立った姿勢で仕事をする事

仕事で要求されている責任に十分に答えること

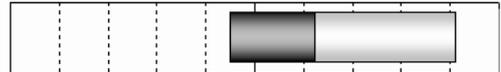


主治医、専門医等への就労相談 (現状の取組率:30.9%)

- ◆担当医師には働いても大丈夫か聞いただけ。
- ◆主治医：外で就労は(発症時)無理とのことであった。
- ◆現在の病院は膠原病科がなく、循環器科で診ていただいておりますが、膠原病の先生に診ていただいてステロイドの不安がなくなりました。
- ◆主治医・専門医にはいつも相談にのってもらえた。診断書により、仕事や労働時間の軽減など。
- ◆医師(主治医)より会社にヘルパーを通じ連絡してもらい、会社は労働不安定と判断して解雇されるも、引受先等の紹介あり。
- ◆医師や看護師の方々が親切に相談にのってくれて、ありがたかった。退院後(入院中も)の生活指導も親切に教えてくれました。
- ◆高安動脈炎の先生に相談をし、自分の体の状態がよくわかりました。
- ◆難病を持っている自分であるが常に明るく前を向いて人生を送る為に何か出来るかと考え、主治医に相談、自分のやりたいことを話し、こんな自分が少しでもお役に立ちたいと思う仕事は福祉関係ヘルパーでした。無理のない程度で仕事に就いた。

この取組により改善される職業的課題

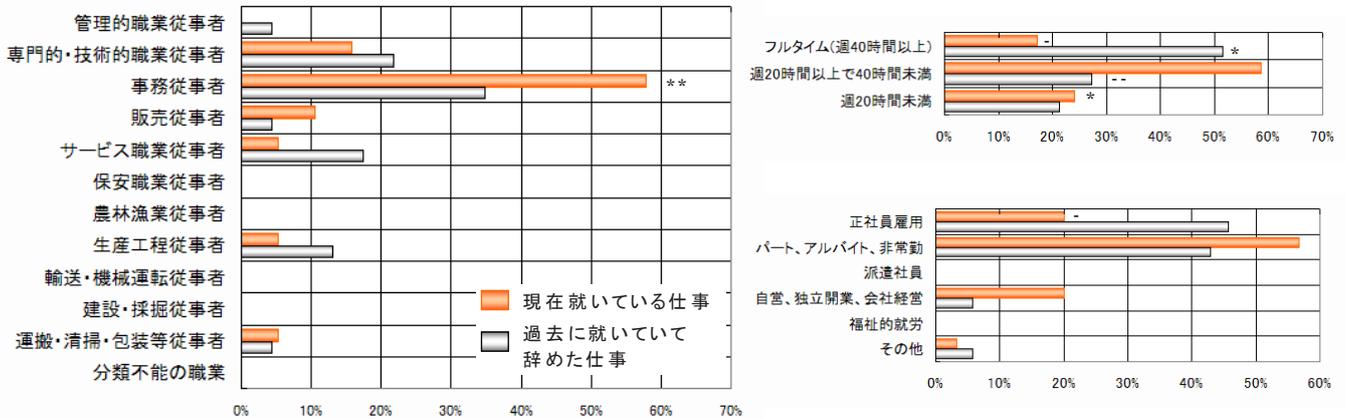
様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」43.5%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」50.7%であり、合わせると94.2%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職に就いている人が多かった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様だが、正社員雇用が比較的少なかった。フルタイムの仕事が比較的少なく短時間が多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p<0.05$, $p<0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(50.0%)

- 総務とインフォメーション。週3日、1日2〜6.5時間の勤務 (女 50歳代)
- 文化施設でカウンター業務 (女 20歳代)
- 以前の公務員は保険福祉の窓口業務や、保健関係の事務・検診や予防接種の受付など。教育委員会での事務など。最近のパートはH16.4月〜レセプトの並びかえ作業 (女 40歳代)
- 消費者に対する相談業務 (女 50歳代)
- 役務(賞状筆耕・代筆業) 団体及び会社等の賞状の筆耕。結婚式案内状及び宛名書等の代筆。成人向けの書道教室等 (女 50歳代)
- テレフォンオペレーター お客様と電話対応(営業もあり)しながらコンピュータの操作 (女 40歳代)
- 職員の補助 (女 30歳代)
- 家族だけの会社で事務 (女 30歳代)
- 一般事務(業務)(女 20歳代)

【専門的・技術的職業従事者】(11.1%)

- 看護師。介護老人保健施設で、訪問看護ステーションの管理者、委託支援センターでケアマネジャーの仕事 (女 40歳代)
- 書道教師 自宅及び公民館で子供・一般に硬筆・毛筆を教授 (女 60歳代)

【様々な事務従事者】(11.1%)

- 郵便局 郵便物の区分け・郵便物の組立(立ち仕事)、転送処理(イスにかけて)(女 40歳代)
- OA機器操作がメインの総務部での事務業務 (女 30歳代)

【販売従事者】(11.1%)

- 右手に力が入りにくいので、サービス業の販売。
- 印刷物の納品や集金など、車での外周りの仕事 (女 20歳代)

【サービス職業従事者】(5.6%)

- キッチン業務 (女 20歳代)

【生産工程従事者】(5.6%)

- 現在は結婚し、体力面を心配されパートで自動車部品の製造会社3.5時間で勤務。検査担当。部品が多いと鉄なので力仕事 (女 30歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(5.6%)

- 印刷分の梱包、包装 (女 20歳代)

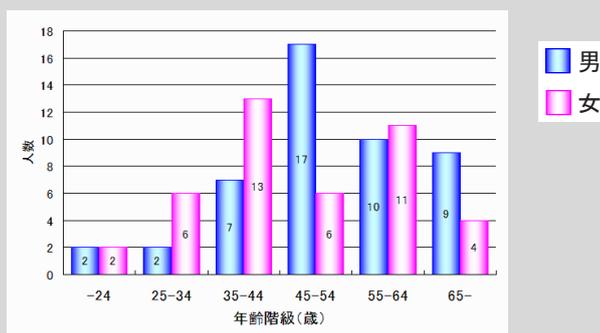
15 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP)

進行性または再燃性の左右対称性の四肢の運動・感覚性障害を示す末梢神経の疾患。

医師の就労への見解

早期診断・早期治療により、患者の四肢の機能予後は良好に保つことができます。軽度障害であれば、神経症状があっても極めて部分的、軽度で(一部の四肢の不全麻痺など)日常生活に不自由はありません。発症後 3～6ヶ月で復職可能です。また同時に就労も可能です。

(障害者手帳あり)人は 43.9%。男女差はなく、30-40 歳代にピークがあった。

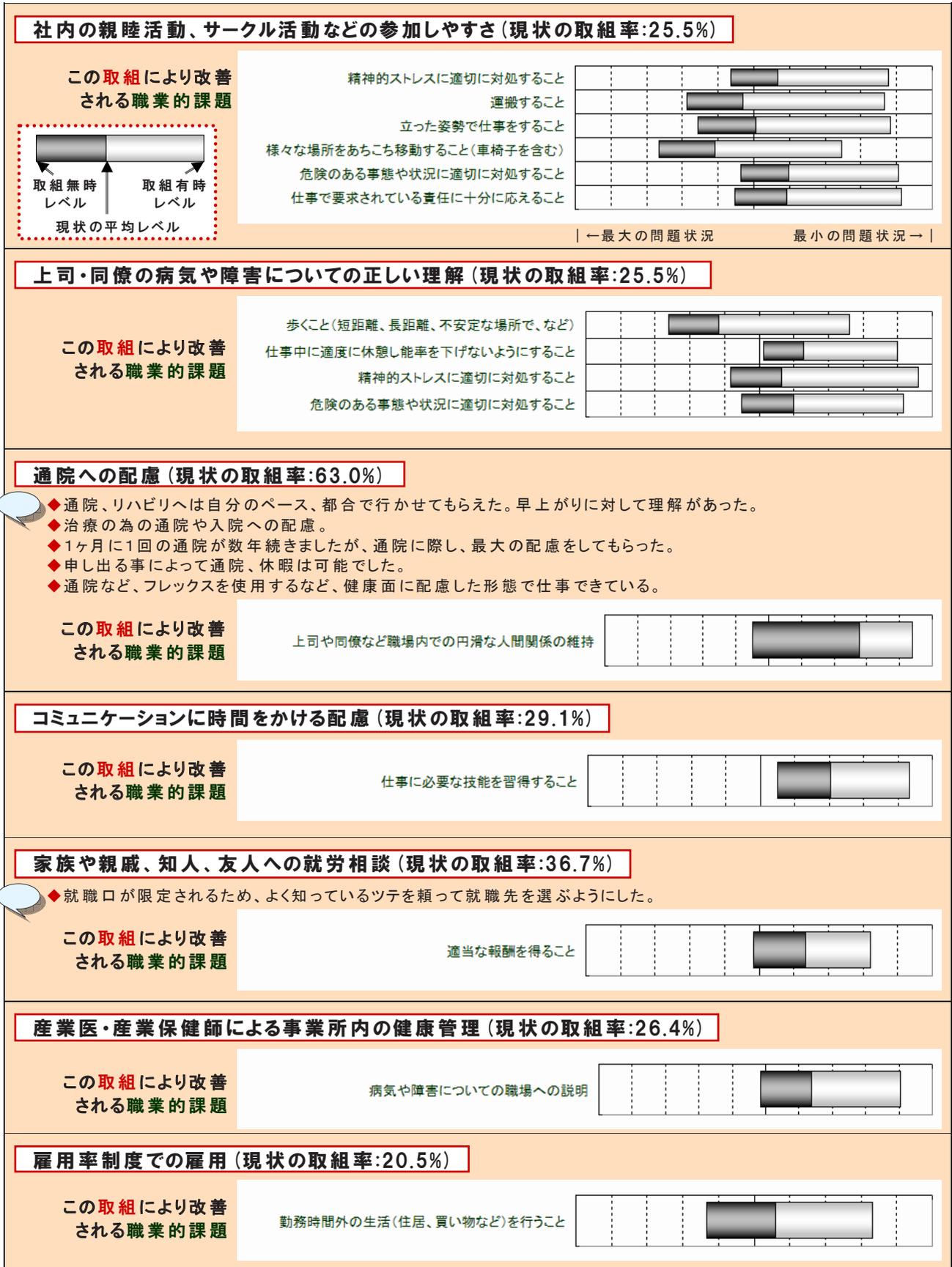


比較的多い機能障害

上下肢の遠位部または近位部に脱力と感覚障害が起こります。脳神経系はあまり侵されません。自律神経系の障害は、あっても問題になることは少ないです。

①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

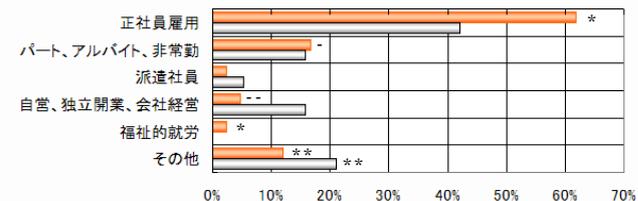
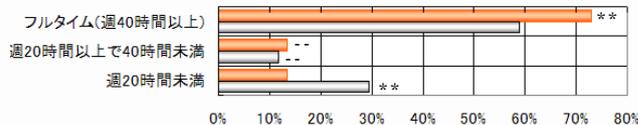
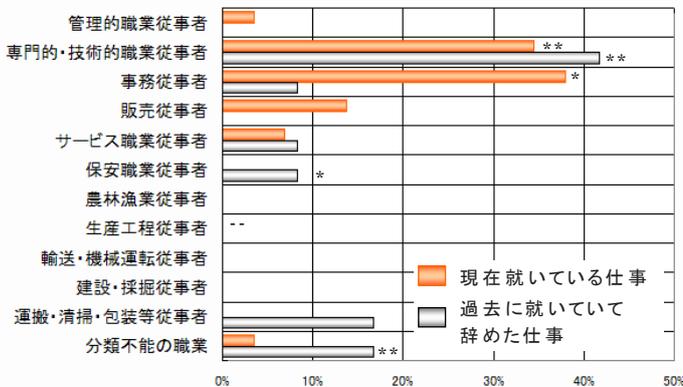
慢性炎症性脱髄性多発神経炎では、就職後の課題の改善には「社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ」「上司・同僚の病気や障害についての正しい理解」等が効果的な取組であり、それによって、移動、歩行、運搬等の多くの課題が改善されていた。



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」47.9%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」30.1%であり、合わせると78.1%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、事務職に就いている人が多く、生産工程従事者が少なかった。正社員雇用がやや多く、パートや自営等は比較的少なかった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(21.4%)

- 土木技術者(積算・現場管理)(男 50 歳代)
- デイサービスセンターにおいて相談員(女 40 歳代)
- ケアマネージャー(女 30 歳代)
- 試験・研究のコーディネイト(男 50 歳代)
- 地方公務員(技術系)(男 40 歳代)
- 技術系管理職(男 40 歳代)

【様々な事務従事者】(14.3%)

- デスクワーク(男 40 歳代)
- 経理、総務の事務職。主にいすに座っての仕事(女 30 歳代)
- 週2日、パソコンで何かを(ペイントでポストカードなど)作成(女 20 歳代)
- 在宅 PC 作業員(SOHO) 病院リハビリ科、専門学校非常勤講師、在宅 PC ワーク(男 30 歳代)

【一般事務従事者】(14.3%)

- 事務作業(男 40 歳代)
- 書類作成、電話対応など(女 30 歳代)
- 事務(男 30 歳代)
- 主にデスクワーク(男 50 歳代)

【営業職業従事者】(14.3%)

- 車会社の事務兼接客(産体代用3カ月間) 販売(短期アルバイト、お歳暮、お中元、ホワイト、バレンタインデー各2ヶ月間ずつ 1シーズンのみ)(女 50 歳代)
- 保険営業職(男 40 歳代)
- 営業(男 50 歳代)
- 住宅のリフォームの営業(男 40 歳代)

【教員】(10.7%)

- 公務員 高等学校教諭(男 30 歳代)
- 自動車学校で指導員をしていたが現在は両足に装具をつけ立位でつかまりながら配車(男 50 歳代)
- 教員(予備校の講師、家庭教師、高校の非常勤講師、大学の非常勤講師)。在宅での執筆(入試問題の解説など)(女 40 歳代)

【不特定の事務従事者】(10.7%)

- 公務員 事務(男 20 歳代)
- 契約社員 社内での事務作業(男 50 歳代)
- 契約社員 事務(デスクワーク)(女 30 歳代)

【サービス職業従事者】(7.1%)

- 月に3~5回、1回3時間位、介護予防事業で保健師の補助(女 60 歳代)
- 駐車場整理員。学生及び来客の案内(会社には、告知はしていない)(男 60 歳代)

【管理的職業従事者】(3.6%)

- 机上、管理業務(男 50 歳代)

【分類不能の職業】(3.6%)

- 損害保険業で休職中(男 50 歳代)

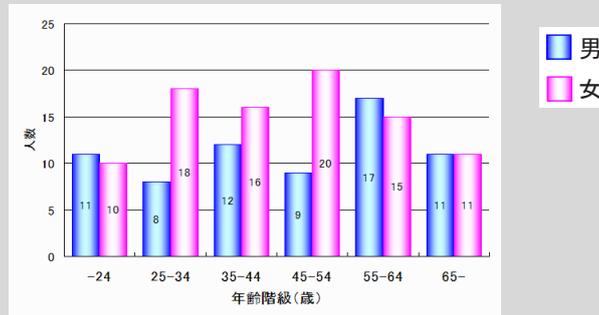
16 再生不良性貧血

骨髓における血球の産生が全般的に低下。

医師の就労への見解

重症度によって異なりますが、軽症例（出血傾向がなく、輸血不要で、貧血、白血球、血小板減少が軽度で進行をみとめないもの）では、労作時の息切れや疲労感、動悸などに注意することで就労は可能です。また、中等度の場合（軽度の出血傾向があり、貧血、白血球、血小板減少の進行は見られるが、輸血は不要な程度）は、息切れ、動悸などの心臓の負荷に留意し、切り傷からの大出血、打撲からの出血を来さない仕事内容に変更することで就業は可能です。いずれの場合も、貧血症状の悪化や出血傾向がある場合は速やかに専門医を受診できることを前提とします。症状が重度の場合で、貧血症状や出血傾向の増悪時には、作業内容の変更や、転職、または一時的に就業を注視する必要のある場合もあります。いずれにしても主治医を含めた検討を行うことで、安全な就業・雇用は実現できます。

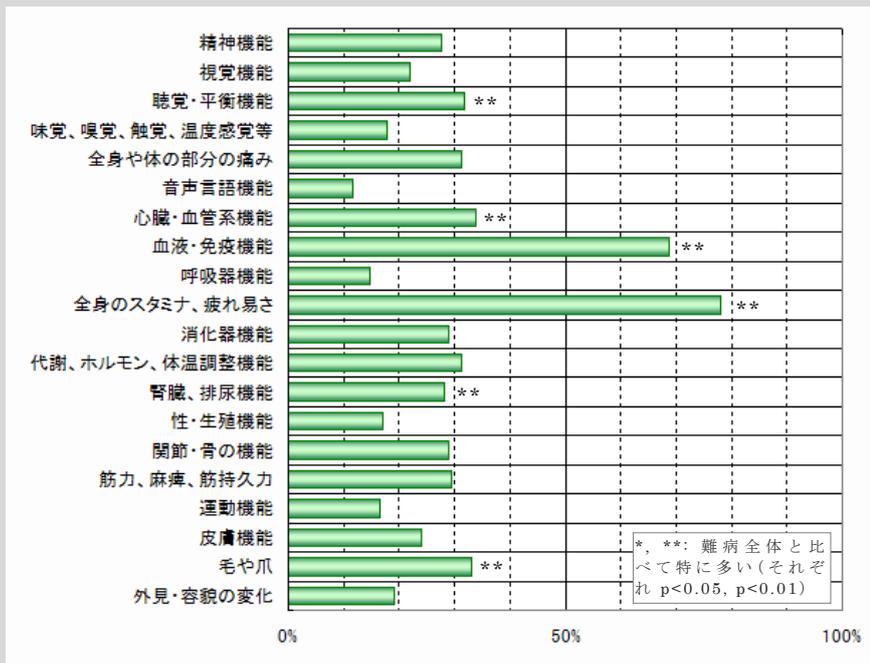
（障害者手帳あり）人は 4.5%。女性がやや多く、幅広い年齢に広がっていた。



比較的多い機能障害

主な症状は、脳や筋肉、心臓の酸素欠乏状態から引き起こされるめまい、頭痛、身体のだるさ、疲れやすさ、狭心症様の症状（息切れ、胸痛など）です。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「血液・免疫機能」等



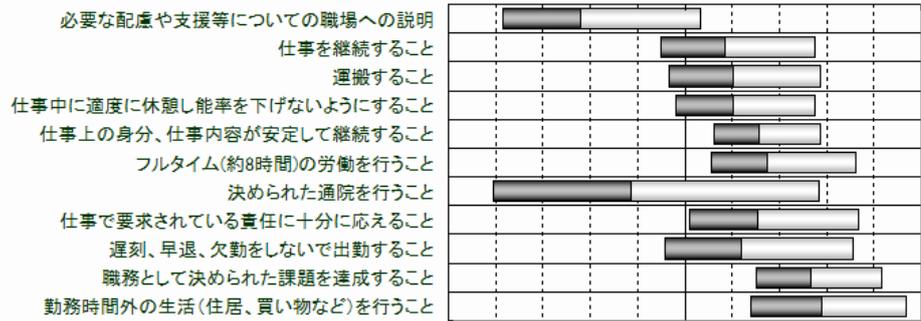
①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

再生不良性貧血では、就職後の課題の改善には「主治医、専門医等への就労相談」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、通院、職場への相談、通勤等の多くの課題が改善されていた。

主治医、専門医等への就労相談（現状の取組率:37.1%）

- ◆相談しても結果が伴わない。就職雑誌が一番役立った。
- ◆「仕事しても問題ないです」という先生の言葉。
- ◆学校、主治医の方は、勤め先に明るくなく勤め先の方は病気に対して明るくない。自身としては、勤め先の先輩、同業種であり学生の頃からある程度、自身について身近な方に相談をしました。
- ◆役に立たなかったと言うのは違うかもしれませんが（私があせって、無理をかさねたので）。（主治医の場合）ある程度、体調をととのえ、社会人の一人として、仕事につけるような状態にもっていく事を、また元気になる事を今は1番に考えていることだと思う。
- ◆当然ながら担当医が相談相手としてよかった。
- ◆一番相談したのは主治医と患者会・インターネットだった。

この取組により改善される職業的課題

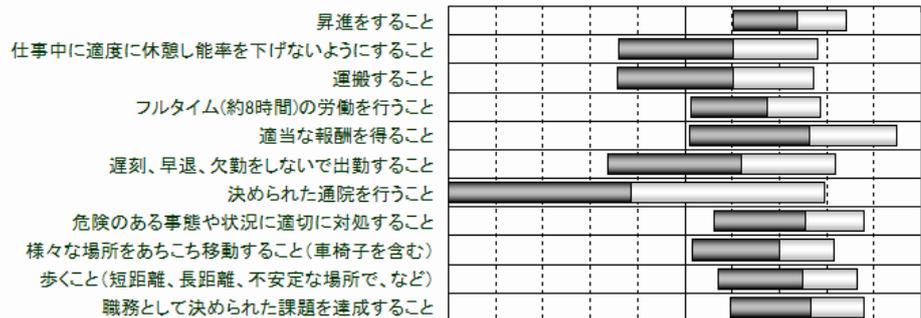


←最大の問題状況 最小の問題状況→

通院への配慮（現状の取組率:53.4%）

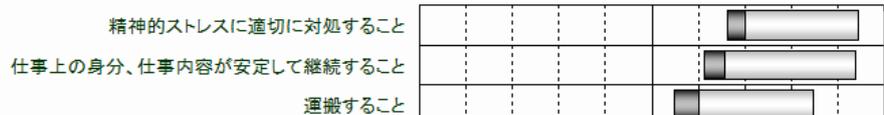
- ◆半日休暇が年10回しか無いが、年20回ぐらいにして欲しい。通院の為。
- ◆毎月一度の病院通いを認めてもらっている。
- ◆病院などに通院する必要があるので休暇をとりやすい環境が必要だと思います。
- ◆たまたまですが、最後にしていた仕事では、モデルルームを私一人でまかされているようなかたちでしたので、電話などで本社と連絡はできますが、急に具合が悪くなった時や(工作中)また、病院に行く事(これは、色々な仕事をしてきました中でいつも悩みでした)、具合が悪く休むという事ができなかった。どうしても無理が重なり、長く仕事を続けることができなくなった。次に働く時に、また迷惑をかけたならどうしようという不安にも、正直なっている。どこの職場でも通院に関しては私なりに、朝誰よりも早く出社して、掃除を1人ですませ、病院でぬけさせてもらった時間分、残って(残業ではなく)自分の仕事をすませるようにはしていましたが、なかなか理解してもらえなかったり、また忙しいと言えなかったり、つらかったので、何かいい方法はないのかなといつも思います。

この取組により改善される職業的課題



上司などによる毎日の健康状態チェック（現状の取組率:11.2%）

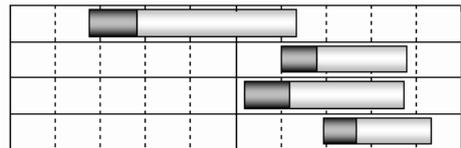
この取組により改善される職業的課題



病気や障害にかかわらずキャリアアップができる人事方針（現状の取組率:21.4%）

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明
 立った姿勢で仕事をする事
 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること
 職務として決められた課題を達成すること

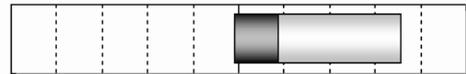


産業医・産業保健師による事業所内の健康管理（現状の取組率:23.3%）

- ◆ 通常の健康診断は励行されており、別に人間ドックは年に1回。

この取組により改善される職業的課題

病気や障害についての職場への説明

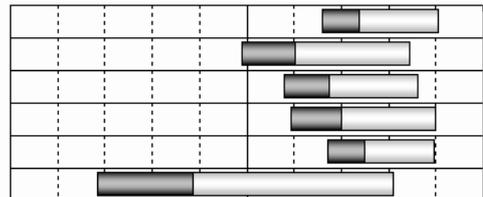


上司・同僚の病気や障害についての正しい理解（現状の取組率:27.6%）

- ◆ 今のところ貧血といっても倒れたりはないので就労には差し支えないことを十分、会社に説明している。
- ◆ 勤務中に退院後、いすにすわっていたら、同僚から皮肉を言われたので、それからずっと立っている。（パソコン以外）
- ◆ 通院のために欠勤しなければならないこと。病気のことを周りが正しく理解してくれないこと。そのことについて不快な思いをすること。
- ◆ 発症時は半年間程仕事を休務したが、その後は会社の理解もあり体調にあわせて出勤していた。現在は常勤で勤務している。
- ◆ 血液疾患の為、外見は普通の人と同じなので何度も説明しなければならない。
- ◆ 自分の身体状況を理解して頂いた上で、最大限の力が発揮出来る様な環境を築いて頂きたい…。
- ◆ 通院日には、会社が休めること、入院になってしまっても後任がいること。体調が悪い時は、休みやすいこと。解決方法は上記を会社に伝え、それでも雇ってもらえる会社を探すことのみ。
- ◆ 病気に対する正しい知識を上司はもってほしい。

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること
 仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること
 フルタイム(約8時間)の労働を行うこと
 様々な場所をあちこち移動すること(車椅子を含む)
 歩くこと(短距離、長距離、不安定な場所で、など)
 決められた通院を行うこと



短時間勤務（現状の取組率:23.5%）

- ◆ どうしても長時間勤務となると体力的にキツイ。一日の休みでは疲れがスッキリとれない。
- ◆ 短縮があれば尚良かった。
- ◆ 入院し、復職した際、勤務時間や日数について除々にフルタイムに戻れるよう配慮してもらった。
- ◆ 職場では障害者雇用も積極的に行われているためか、特に障害認定されていない私のような者にも、訳を話せば急な体調の変化にも対応してくれました。数値が悪くなってからも週4日の勤務から最終的に休職するまで徐々にペースを落としてもらえました。
- ◆ 勤務時間等について、実際に働きたくても、健康上の都合で働けない人でも、1日2、3時間なら可（経済的にどうしても2、3時間でも希望）という人などが就労しやすい場所、又は理解がほしい。

この取組により改善される職業的課題

食事や休養の健康管理をすること

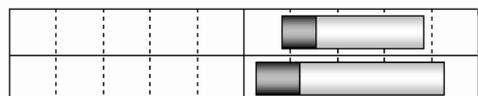


同じ障害・疾患のある人や団体への就労相談（現状の取組率:18.4%）

- ◆ インターネットで知った、患者、家族会、「再生つばさの会」。
- ◆ 再生つばさの会に入会してから情報が得られ、アドバイスも受け、役立った。入院している時は、心配事はなかったが退院してから不安になった。近くに同じ病気の人がないので、情報交感が交換できなかった。医師を通して紹介してもらおうと試みたが、人権にかかわるということで断られた。再生つばさの会の宿泊研修の時、知り合えた方がいて助かった。
- ◆ 再生つばさの会に初めて出席してすぐはげまされました。近くである時はぜひ出席したいです。

この取組により改善される職業的課題

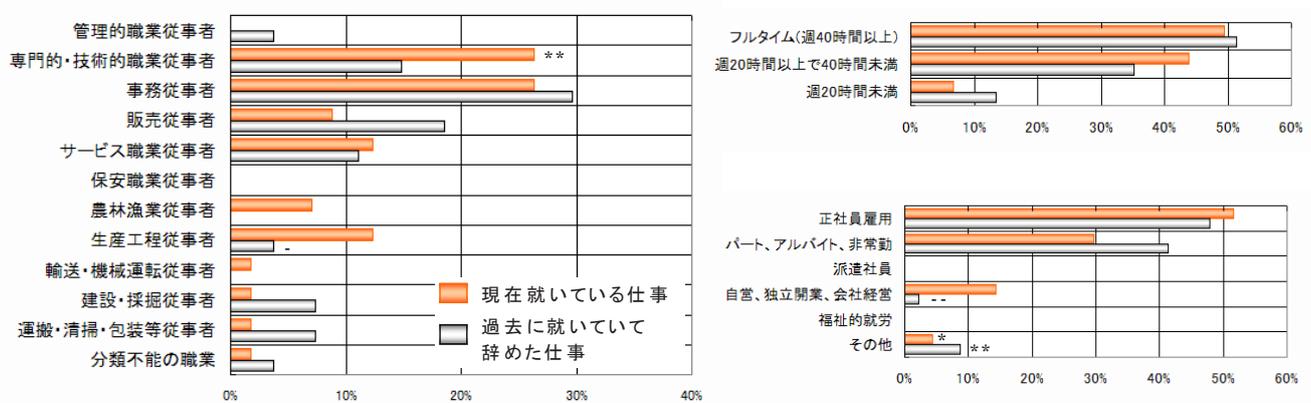
仕事で要求されている責任に十分に答えること
 遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」55.8%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」35.0%であり、合わせると90.8%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると事務、専門・技術職に就いている人が多かった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*, **: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-, -: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【一般事務従事者】(16.4%)

- メーカーの市場調査 (女 20 歳代)
- 調剤薬局の事務、受付 (女 0 歳代)
- 会社の受付業務、接客、他 (女 30 歳代)
- 医療事務(月末始のみ)(女 30 歳代)
- 自営業。(建築板金の事務)(女 60 歳代)
- 車ディーラーサービス受付全般 (女 40 歳代)
- 経理事務 (女 40 歳代)
- PC入力、事務補佐 (女 30 歳代)

【様々な専門的・技術的職業従事者】(12.7%)

- 電子機器の設計。プログラミング (男 40 歳代)
- 治験コーディネーター (女 30 歳代)
- CPUのオペレーション等 (男 40 歳代)
- マッサージ師 (女 20 歳代)
- DTP編集、書籍編等 (男 20 歳代)
- 土地管理業 (男 50 歳代)
- 音楽関係 (男 20 歳代)

【生産工程従事者】(12.7%)

- 金属製品を熱処理加工、納品 (男 60 歳代)
- 洋服等の寸法直し (女 30 歳代)
- 校正や出版物販売案内 (女 60 歳代)
- 自営業ユニット商品組立、工事 (男 60 歳代)
- 工場での部品検査 (男 20 歳代)
- 現場監督員。(国内・海外)(男 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(9.1%)

- 正看護師 (女 20 歳代 3)
- 看護師(日勤と月1~2回当直)(女 40 歳代)
- 発病時看護師、現在就労中 (男 40 歳代)

【販売従事者】(9.1%)

- パン屋の接客業務 (女 40 歳代)
- スーパーのレジ係 (女 40 歳代)
- 健康保険薬の卸販売 (女 50 歳代)
- 営業・販売促進 (男 50 歳代)
- 内装業。自営業のため営業が殆ど (男 50 歳代)

【様々な事務従事者】(7.3%)

- 屋根工事の積算、経理 (男 40 歳代)
- 製品の受注処理、原価管理 (男 20 歳代)
- 在庫管理・仕入手配(コンピューターでの在庫管理、倉庫確認)(30 歳代)
- 問屋 受注発注、問合せ(電話中心)(男 30 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(7.3%)

- 精神科のデイケア (女 60 歳代)
- レストランのウェイトレス (女 10 歳代)
- レストランでサーバー(週1度)(女 20 歳代)
- 相談、面接業務 (女 60 歳代)

【農耕従事者】(7.3%)

- 自営農業 (男 40 歳代)
- 水稲、園芸畑作の作業 (男 70 歳代)
- 農業。(育苗、田植え、稲刈り等)(女 40 歳代)
- りんご栽培農家。生産から販売まで (男 70 歳代)

【教員】(5.5%)

- 中学校の教諭 (女 50 歳代)
- フリースクールのスタッフ (女 40 歳代)
- 教員(発病時)現在中学校の相談員 (女 30 歳代)

【娯楽場等接客員】(5.5%)

- パチンコ店のホール係 (女 30 歳代)
- コンサートホールでの客席案内など (女 20 歳代)
- ホテルのフロントでの接客 (20 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(1.8%)

- ビル管理会社(点検、点検表作成)(男 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(1.8%)

- ユニットバス施工(搬入し組立てる)(男 20 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(1.8%)

- 葬祭業(荷物運搬、車運転、事務他) (女 50 歳代)

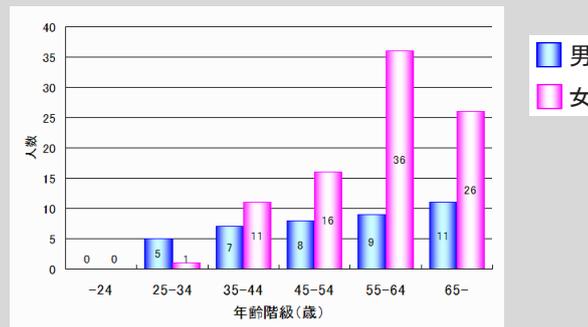
17 サルコイドーシス

全身の様々な部分に肉芽腫が形成され、その部位により異なる症状。

医師の就労への見解

ほとんどが通院治療になるので、必ずしも長期間の休業を必要としません。従って確実に通院でき、体調を悪化させる恐れのある仕事や過酷な勤務を回避できれば継続的に働くことは可能と言えます。ステロイドや免疫抑制剤を使用する場合は、感染症（風邪をひく等）の予防に配慮することが大切です。

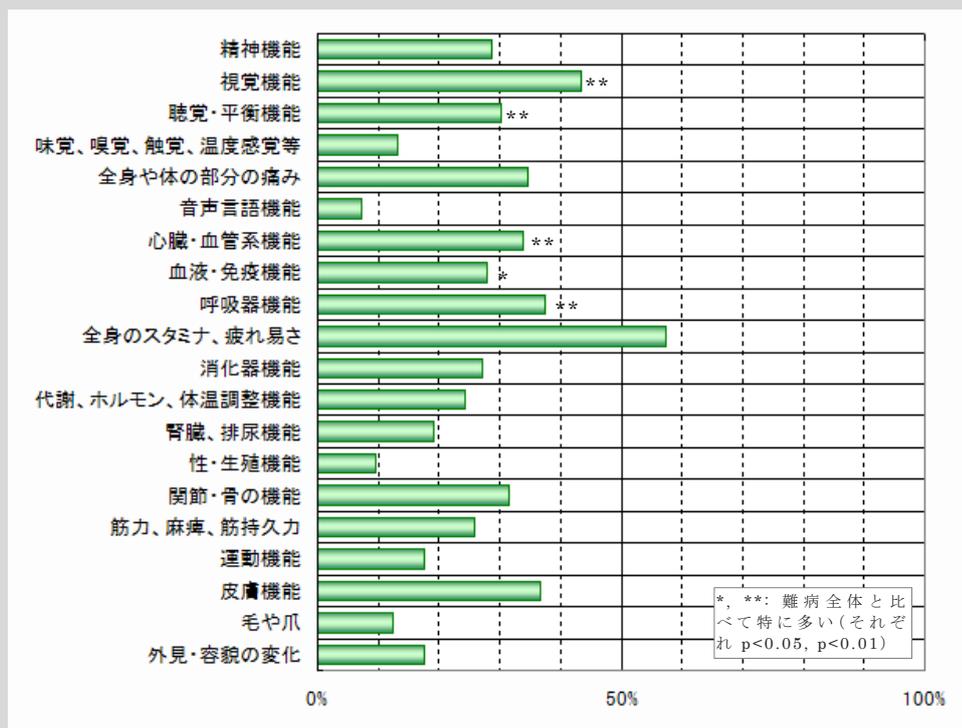
（障害者手帳あり）人は 19.5%。女性が比較的多く、55 歳以降にピークがあった。



比較的多い機能障害

約半数の人たちは自覚症状がありません。病状が進むと、せき、息切れ、目のかすみやまぶしく感じる等の自覚症状が出現します。その後、顔や足、膝に円形の淡紅色の皮膚炎ができます。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」「視覚機能」等



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

サルコイドーシスでは、就職後の課題の改善には「保健師等への就労相談」「通院への配慮」等が効果的な取組であり、それによって、職場への説明、通院等の多くの課題が改善されていた。

保健師等への就労相談（現状の取組率:21.4%）

（一体的な取組:「主治医、専門医等への就労相談(37.5%)」「インターネット上の相談先への就労相談(8.0%)」

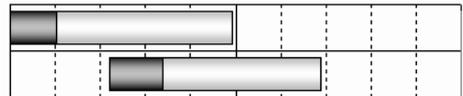
- ◆保健師の方と一年に一度面談をしますが、主治医の先生より時間をゆっくりかけて話を聞いてくれるので安心します。
- ◆保健師。(年1回登録に出向いていた保健所で)
- ◆難病診断書書類に病院の主治医がなかなか早く記入提出してくれなかったため、保健所に相談をしていますが、早く出してくださいと保健所が言っていました。と言ったのが退院2日前のことでした。検査結果は出ているのに一日でも早く提出してほしかったです。でも保健所へ相談してよかったです。
- ◆相談出来る事さえ、知らなかった。主治医には、病気の事は相談出来るが、仕事の事は相談しても無理です。

この取組により改善される職業的課題



必要な配慮や支援等についての職場への説明

病気や障害についての職場への説明



←最大の問題状況 最小の問題状況→

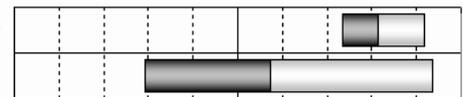
通院への配慮（現状の取組率:39.2%）

- ◆もし風邪等を引いた場合、休みは問題なくすぐとれる。
- ◆通院時のフレックス出社。

この取組により改善される職業的課題

上司や同僚など職場内での円滑な人間関係の維持

決められた通院を行うこと



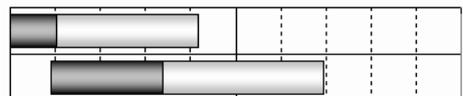
主治医、専門医等への就労相談（現状の取組率:37.5%）

- ◆主治医。(大学病院)
- ◆サルコイドーシスと診断されてから個人のお医者さんに通院しております。サルコイドーシスの専門の病院での診察(眼科)共に希望しております。方法等ご指導をいただきたいと思っております。
- ◆主治医。(私的医療機関)
- ◆眼科…パソコン等、目を使う仕事は長時間しないように(休みを取りながら)。内科…過度に疲れないように。
- ◆入院した際、担当医がとても親切に相談にのって下さいました。数値で良し悪しを伝えられた従来の先生方からすれば、その時の担当医は患部の図面を画いて、悪い症状を説明して下さい、だからこれからは次の様に生活態度を改めて下さいと具体的に指示をされました。

この取組により改善される職業的課題

必要な配慮や支援等についての職場への説明

病気や障害についての職場への説明



社内の親睦活動、サークル活動などの参加しやすさ（現状の取組率:18.2%）

この取組により改善される職業的課題

昇進をすること

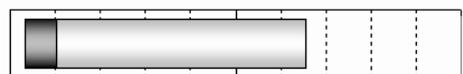


インターネット上の相談先への就労相談（現状の取組率:8.0%）

- ◆友の会(サルコイドーシス)に入会して、皆さんの話を聞きとても勉強になった。一人で考えていたが、みんなに聞いてもらえてがんばれるようになった。
- ◆インターネットで、同じ病の会員のページ。
- ◆友の会。先生方のお話を聞き、私への治療が適切であった事が解り大変有難く思っております。
- ◆インターネット上での民間の障害者職業紹介会社。

この取組により改善される職業的課題

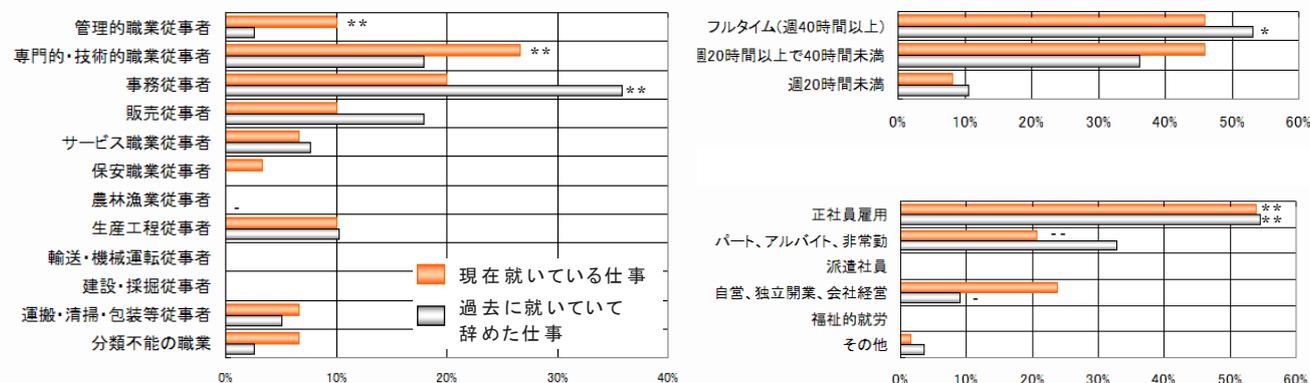
必要な配慮や支援等についての職場への説明



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」47.4%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」44.4%であり、合わせると91.9%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、管理職に就いている人が多かった。正社員雇用がやや多く、パート等は比較的少なかった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(17.9%)

- 化学プロセス安全の研究職 (男 60 歳代)
- コンピュータシステム開発 (男 40 歳代)
- 自営:漢方薬局経営(薬剤師)...患者さんと薬の相談を受けて①薬局で扱える医薬品を販売②処方箋調剤 (女 70 歳代)
- 障害児学校で勤務 (50 歳代)
- 茶道指導 (女 60 歳代)

【一般事務従事者】(17.9%)

- 農協職員 (女 50 歳代)
- 入社時は技術職でしたが、病状の増悪に伴い事務職に(男 40 歳代)
- 消防官。発症年令当時、火災現場活動を行っていた。診断年令以降については、事務職として勤務 (男 50 歳代)
- 歯科技工物集配及び簡単な事務 (女 50 歳代)
- 人事、庶務、総務業務のとりまとめ(グループ長をしています)(女 50 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(10.7%)

- 精神科の老人痴呆病棟の看護、月4~5回の夜勤あり (女 40 歳代)
- 看護師 (女 60 歳代)
- 看護師で病棟勤務 (男 30 歳代)

【販売従事者】(10.7%)

- スポーツ用品の接客、販売 (男 30 歳代)
- 委託販売業、管理者 (女 60 歳代)
- 病気になった時は保険の外交員、以降は接客のパート (女 50 歳代)

【生産工程従事者】(10.7%)

- 一般建築板金(自営)。現場の仕事、事務など (女 50 歳代)
- 陶器 コーヒワンの手つけ (女 60 歳代)
- 製造業 (男 40 歳代)

【管理的職業従事者】(7.1%)

- 公的施設の運営・管理 (男 60 歳代)
- 会社(自営)の経理、資金繰り、店番 (女 60 歳代)

【サービス職業従事者】(7.1%)

- 飲食業を主人と二人で就業 (女 40 歳代)
- 炊事係 (女 60 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(7.1%)

- ビルのお茶ガラ、たばこの吸いガラを回収し、流し台の清掃、可燃、不燃物、再生紙、ペットボトル、カン等の回収作業 (女 60 歳代)
- 大学(体育館)の用務員 (女 60 歳代)

【様々な事務従事者】(3.6%)

- メーカー経理部門の決算担当ライン長。会計システムの導入も担当 (男 40 歳代)

【保安職業従事者】(3.6%)

- 交通誘導警備(旗振り)(男 60 歳代)

【分類不能の職業】(3.6%)

- 夕方18時より翌日朝10時まで途中4時間仮眠あり、一週間一度勤務 (男 60 歳代)

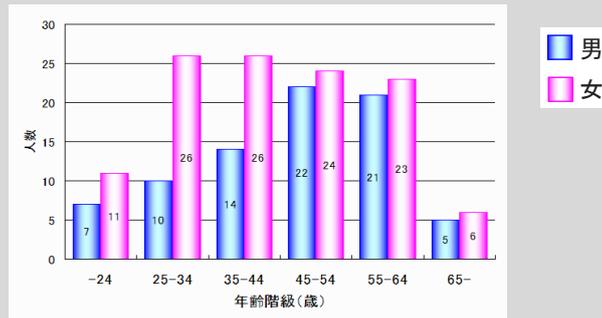
18 神経線維腫症 I 型(レックリングハウゼン病)

神経線維腫と呼ばれる腫瘍(できもの)や色素斑(しみ)などの皮膚症状が特徴。

医師の就労への見解

神経線維腫症 I 型の治療のほとんどが通院治療なので、通院ができれば就業継続は可能です。また、腫瘍の切除術でも 1~2 週間で復職が可能です。この病気の約 8 割が軽症レベルなので、外見や美容上の変化に対して職場の人たちの理解を得ることで就業は継続できるでしょう。また、中枢神経症状のある場合は、仕事や職場の配置転換を、骨病変のある場合は、安全性への配慮をすることで就業できると思われます。

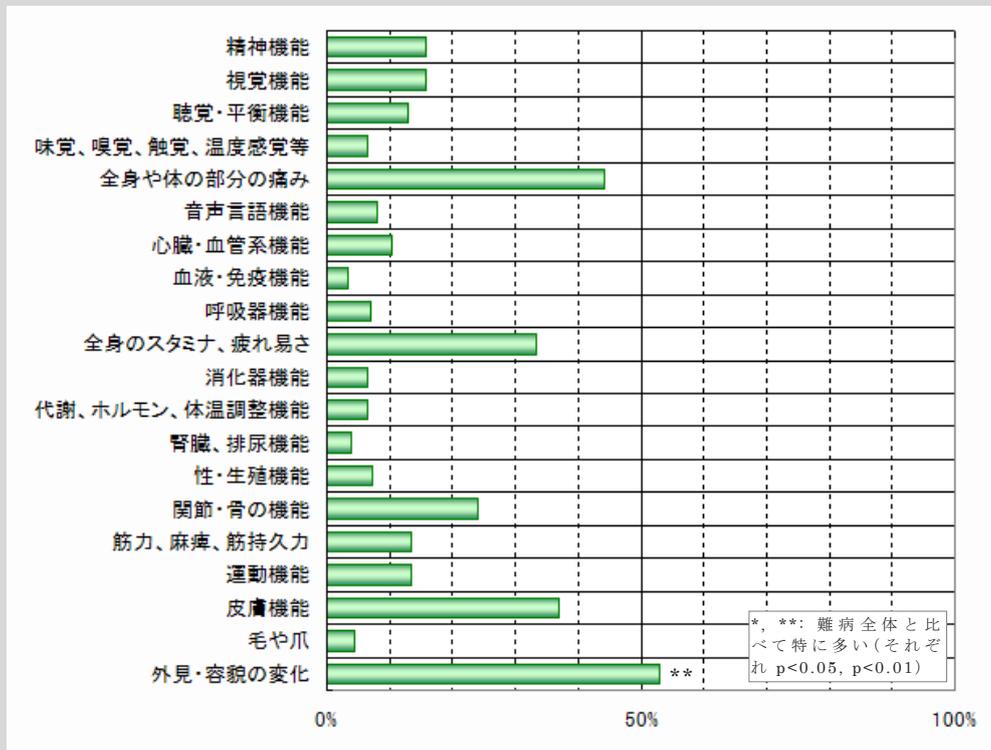
(障害者手帳あり)人は 18.6%。45 歳以前では比較的女性が多く、年齢は労働年齢に広くわたっていた。



比較的多い機能障害

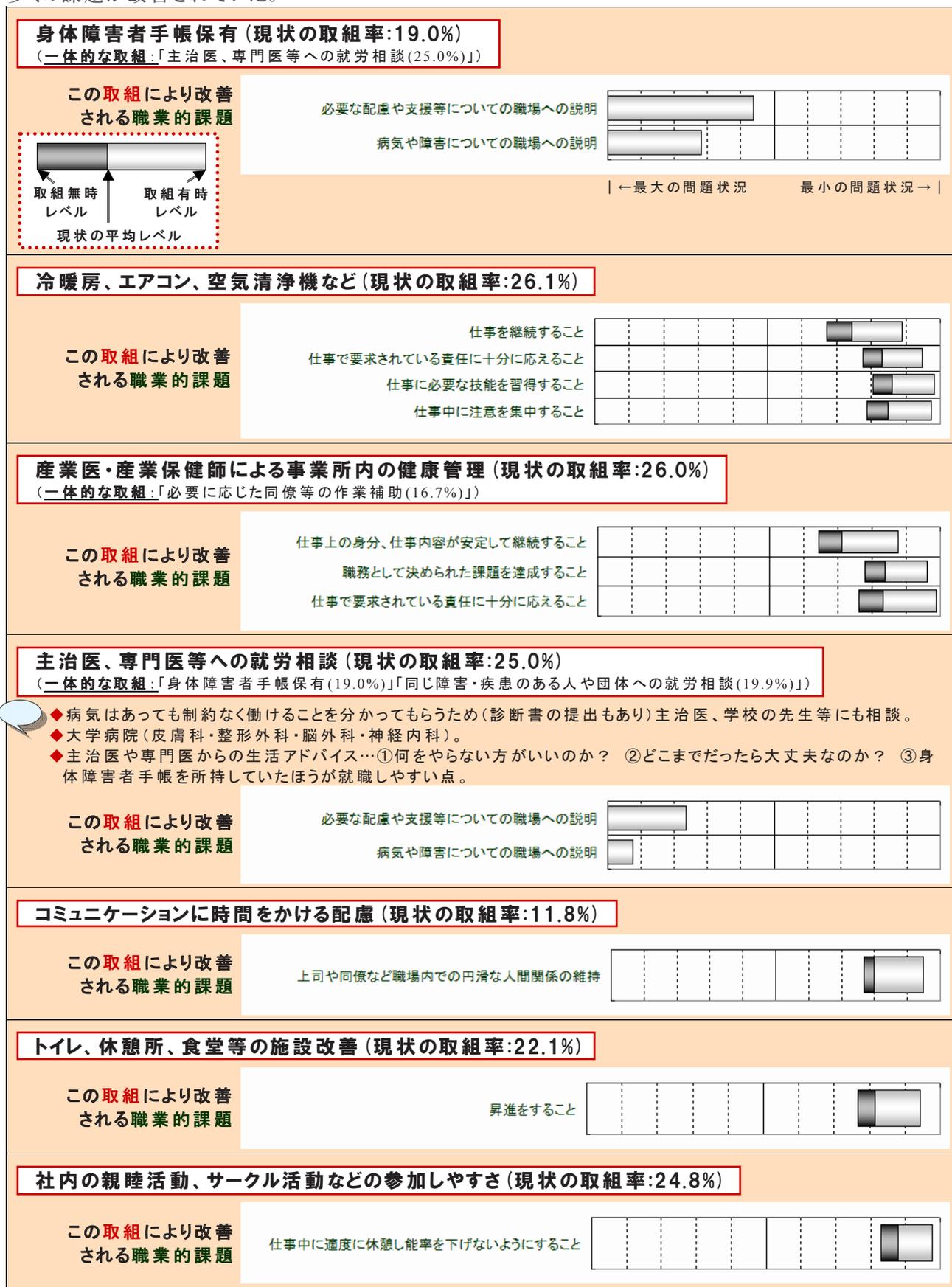
皮膚と神経の両方にアザや腫瘍のできる病気です。この病気は人にうつることはありません。主な症状は、カフェオレ斑という皮膚の色素斑で、人によって皮膚の神経に線維腫ができたり、目や骨などで外見上の変化が生じたりします。外見上の変化以外に、生活や仕事に影響する機能障害はほとんどありません。

- 「外見・容貌の変化」「全身や体の部分の痛み」「皮膚機能」等



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

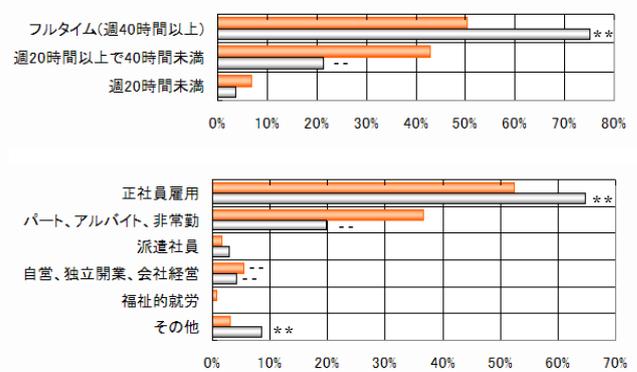
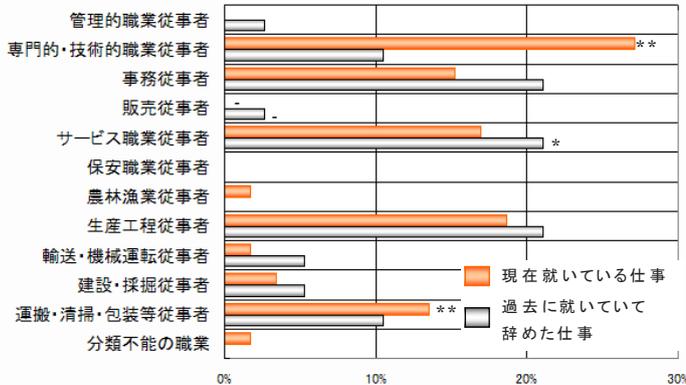
神経線維腫症 I 型では、就職後の課題の改善には「身体障害者手帳保有」「冷暖房、エアコン、空気清浄機など」等が効果的な取組であり、それによって、職場への説明、就労継続、仕事上の責任等の多くの課題が改善されていた。



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」58.0%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」36.0%であり、合わせると94.0%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、運搬・清掃・包装等従事者に就いている人が多く、販売職が少なかった。就労形態は同性同年齢とほぼ同様であったが自営等は比較的少なかった。就労時間は同性同年齢と同様であった。



(*,**: 平成 21 年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p<0.05$, $p<0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(16.1%)

- 設計・開発(通信機器)(男 40 歳代)
- コピー等のメンテナンス (男 40 歳代)
- 薬剤師 (男 30 歳代、男 40 歳代)
- 臨床工学技師(透析の病院勤務) (男 40 歳代)
- マッサージ1日4時間(10時~3時)(男 50 歳代)
- 社会福祉士(知的障害者入所施設)(男 40 歳代)
- 介護支援専門員 (女 40 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(10.7%)

- 看護助手 (女 30 歳代、女 40 歳代)
- 調理師(飲食店に就業中) (男 10 歳代)
- 接客・調理など(実家の食堂)(女 30 歳代)
- 会社の寮の食事作り及び清掃 (女 50 歳代)
- あん摩マッサージ師(平成11年より)(男 50 歳代)

【様々な事務従事者】(7.1%)

- デイサービスでの事務、外出支援他 (女 20 歳代)
- 事務職(売上計上)・ウェイトレス (女 30 歳代)
- 個人商店での商品関連業務 (男 40 歳代)

【一般事務従事者】(7.1%)

- 総務 (男 40 歳代)
- 接客、電話、商品整理、オーダー等 (女 40 歳代)
- 経理事務 (女 60 歳代)
- 業務の補助(軽いパソコン業務他)(女 30 歳代)

【様々な生産工程従事者】(7.1%)

- 業務用クリーニング機械製造・販売 (男 40 歳代)
- 携帯電話のメンテナンス、検査 (女 40 歳代)
- 自動車部品の検品・詰め替え (女 30 歳代)
- 食品製造業 (男 40 歳代)

【様々な運搬・清掃・包装等従事者】(7.1%)

- 物流倉庫にて家電製品の仕分作業 (男 40 歳代)
- 新聞配達(早朝) (男 20 歳代)
- 社内の各施設での清掃作業(男 10 歳代)
- 清掃作業 (男 40 歳代)

【その他の運搬・清掃・包装等従事者】(7.1%)

- 缶詰製造で、空缶運び (女 50 歳代)
- 製品の袋詰め、ダンボール詰め (女 20 歳代)

【保健師、助産師、看護師】(5.4%)

- 保健師として勤務 (女 30 歳代)
- 保健師(健康教育や訪問指導等)(女 20 歳代)
- 准看護師(大学病院)(女 50 歳代)

【教員】(5.4%)

- 小学校教員(東京都) (男 50 歳代)
- 高校の非常勤講師と塾の講師 (女 50 歳代)
- 地方公務員(義務教育学校教員)(男 50 歳代)

【介護サービス職業従事者】(5.4%)

- 有料老人ホームでの介護 (女 30 歳代)
- ホームヘルパー (女 50 歳代 2)

【製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)】(5.4%)

- 食品製造業・ゆうメイト (女 30 歳代)
- アパレル(サンプル縫製、技術指導)(女 50 歳代)
- 食品関係(物流) ボックスの組立て他 (40 歳代)

【食品製造従事者】(5.4%)

- 菓子製造業(工場のライン作業)(男 40 歳代)
- いかの珍味会社にて食品製造 (女 50 歳代)

【建設・採掘従事者】(3.6%)

- タイル業 タイル切断加工 (男 40 歳代)
- 埋蔵文化財発掘調査作業員 (女 30 歳代)

【輸送・機械運転従事者】(1.8%)

- 大型自動車ドライバー

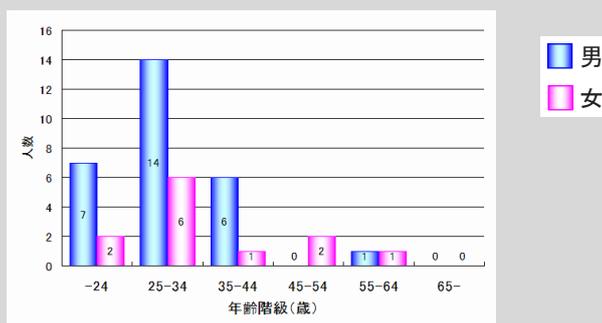
19 原発性免疫不全症候群

共通した症状：感染症、特に細菌感染症として肺炎、中耳炎、膿皮症、敗血症等に反復して罹患し、重症かつ遷延化する。

医師の就労への見解

免疫機能の状態により異なりますが、原発性免疫不全症候群のある人の多くは就業可能です。基本的には、免疫機能を高めるためのヒトガンマグロブリン製剤の定期的な接種と、感染への危険のある職場を避けることで就労は十分可能となります。その人の免疫機能に無理のない職場や仕事内容に関しては主治医や産業医と相談して判断することが大切です。

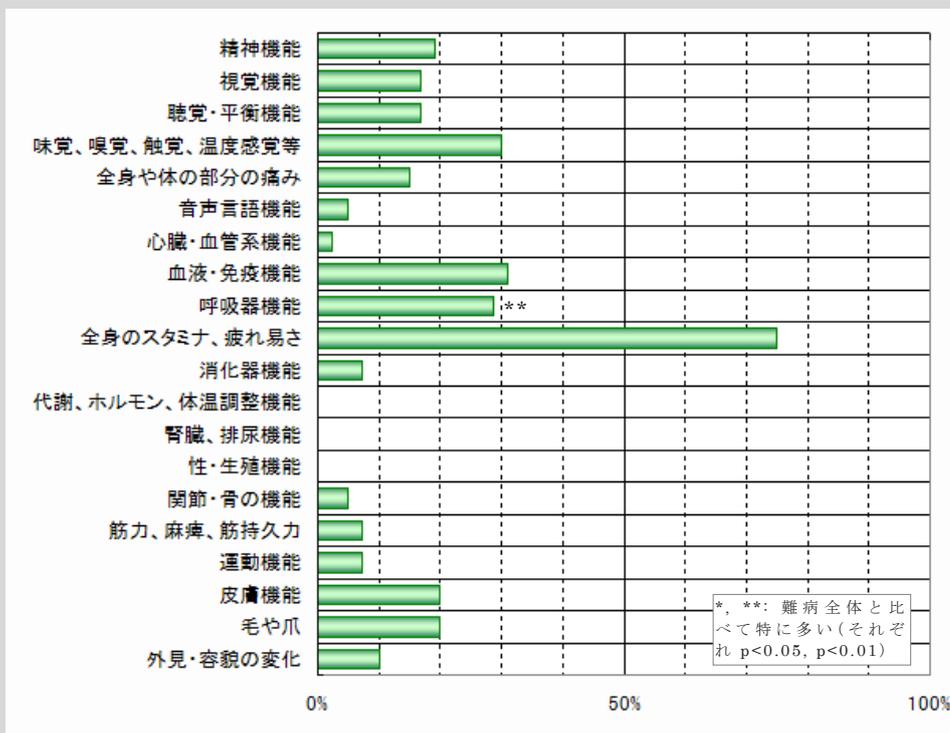
(障害者手帳あり)人は 8.1%。男性が比較的多く、40 歳以前が多かった。



比較的多い機能障害

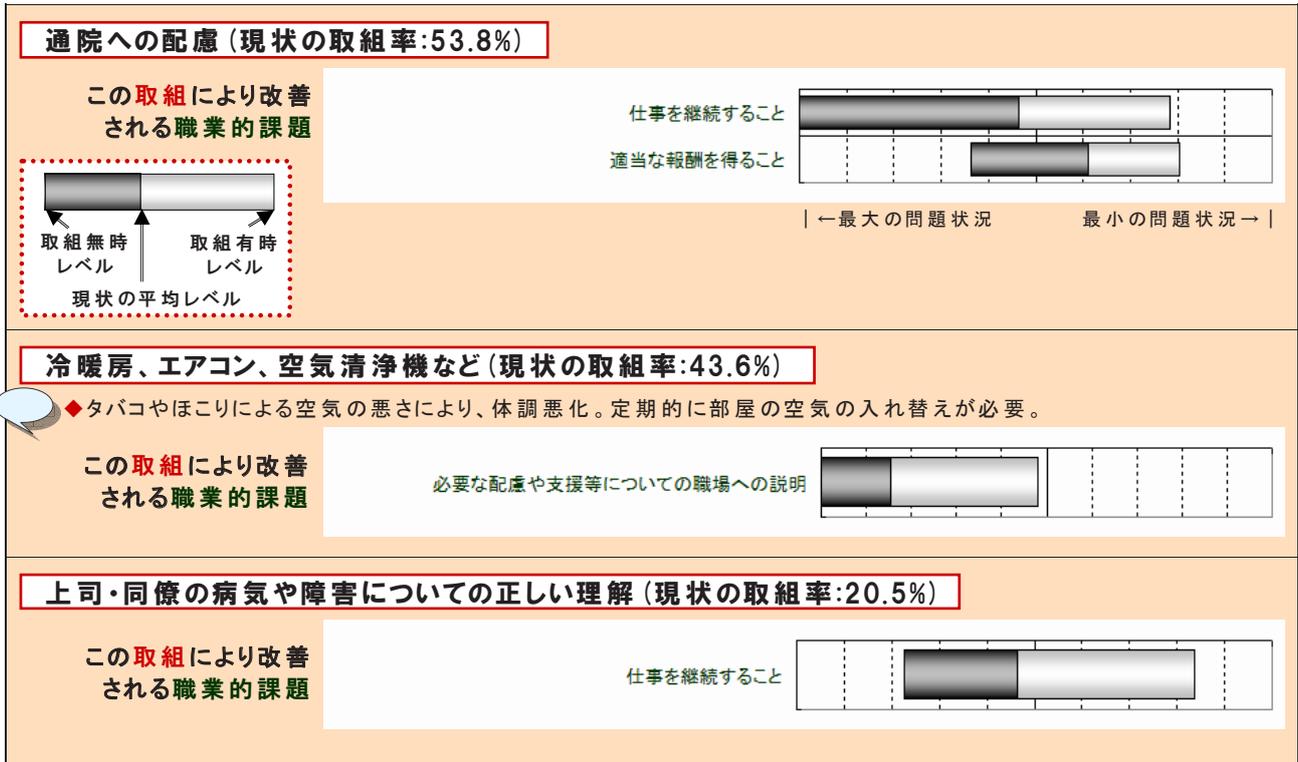
原発性免疫不全症候群は、体内に侵入した細菌やウイルスを排除しようと働く「免疫機能」が生まれつき機能しない病気です。主な症状は、感染症(風邪、化膿など)にかかりやすいことで、それが肺炎や敗血症などに重症化しやすく、時には入院治療を要します。

- 「全身のスタミナ、疲れ易さ」



①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

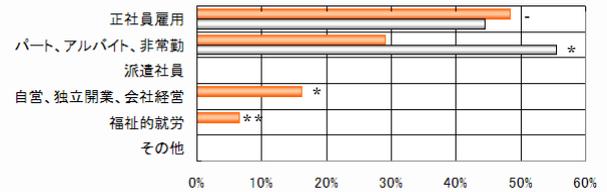
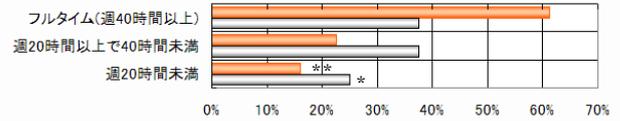
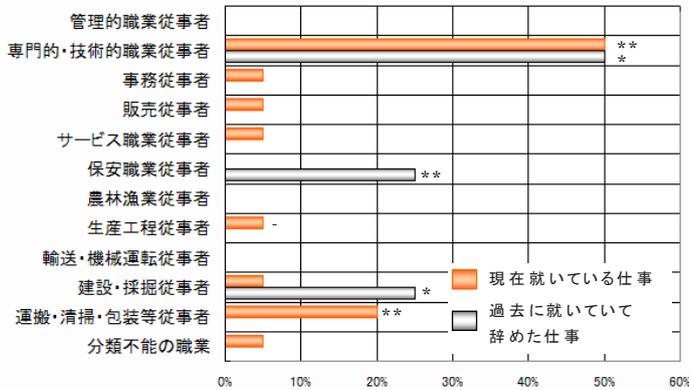
原発性免疫不全症候群では、就職後の課題の改善には「通院への配慮」「冷暖房、エアコン、空気清浄機など」等が効果的な取組であり、それによって、就業継続、職場への説明、報酬等の多くの課題が改善されていた。



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」75.0%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」20.0%であり、合わせると95.0%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職、運搬・清掃・包装等従事者に就いている人が多く、生産工程従事が少なかった。同性同年齢と比較するとやや正社員雇用が少なく自営等が多かった。就労時間は同性同年齢とほぼ同様だが、週20時間未満の仕事も多かった。



現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(21.1%)

- 通販食品の研究開発 (男 20 歳代)
- ソフトウェア設計 (男 40 歳代)
- 教師 (男 20 歳代、男 30 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(21.1%)

- トラックドライバー、ルート配送 (男 30 歳代)
- 割り箸の袋詰め作業 (男 10 歳代男 20 歳代)
- 倉庫内でのピッキング作業や検品・返品作業(洋服や下着、小物) (30 歳代)

【医療技術者】(15.8%)

- 診療放射線技師 (男 20 歳代)
- 作業療法士。市保健センター勤務 (男 30 歳代)
- 病院、福祉施設での作業療法 (男 30 歳代)

【社会福祉専門職業従事者】(15.8%)

- 老人デイサービスセンターの生活相談員 (男 30 歳代)
- 保育園での乳幼児の保育全般 (男 20 歳代)
- 公務員(福祉系) (男 30 歳代)

【事務従事者】(5.3%)

- 事務職 (女 40 歳代)

【販売従事者】(5.3%)

- 商品券や新幹線チケット等の販売 (男 40 歳代)

【サービス職業従事者】(5.3%)

- 理容業を自営 (男 30 歳代)

【建設・採掘従事者】(5.3%)

- 入社1ヶ月位、電気工事会社勤務。外での仕事 (男 20 歳代)

【分類不能の職業】(5.3%)

- 始めは、正規雇用として採用、実際働いてから具体的に話し合っていく (女 20 歳代)

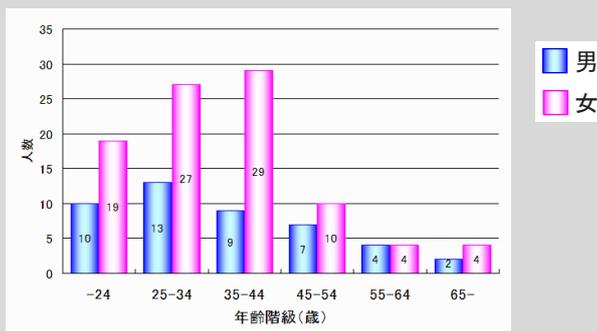
20 インスリン依存型糖尿病 (IDDM)

自己免疫による先天性の膵臓機能障害。生活習慣病による糖尿病とは異なる。

この病気について

自己免疫による膵臓機能障害が起こる病気です(膵臓機能障害は内部障害に認定されていません)。膵臓は血糖コントロールを行うインスリンを分泌する臓器であるため、糖尿病となります。生活習慣病である2型糖尿病とは異なる病気です。血糖をコントロールするため1日数回インスリンを自己注射する必要があります。IDDMの人にとって、血糖コントロールは日常生活の一部で、スポーツ選手もおりますし、日常生活への支障はありません。

(障害者手帳あり)人は3.7%。女性が比較的多く、40歳代以前が多かった。



比較的多い機能障害

膵臓機能障害により血糖コントロールを自己注射により行うため、実際の問題はありませんが、毎日の自己注射等の精神的負担や周囲の無理解等により精神面の問題が生じることがあります。

①効果的な取組による、就職後の課題改善の状況

インスリン依存型糖尿病では、就職後の課題の改善には「勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮」「主治医、専門医等への就労相談」等が効果的な取組であり、それによって、健康管理、ストレスへの対処、就業継続等の多くの課題が改善されていた。

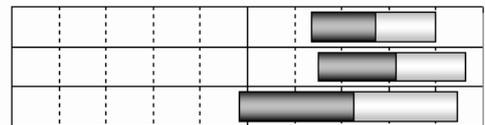
勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮 (現状の取組率:47.4%)

- ◆低血糖時、気がねなく補食ができる。
- ◆工作中、とくに接客中などに低血糖を起こしたとき、一時的に持場を離れ補食・休憩できるようにすること。低血糖昏睡に陥ったときに適切な処置が出来ること。
- ◆低血糖というインスリン製剤の副作用により、頭が働かない時間が短時間(5分～15分)有るので、その際、糖分を取る事がもっと堂々と出来るとありがたい。又、冷蔵庫にジュースなどを入れておいても勝手に飲まれていざという時に役に立たない事が有るので、その辺の配慮は過剰にならない程度にしてもらいたい。
- ◆低血糖時に補食できる職場環境、自身で意識が明瞭でなくなった場合のまわりの支援。
- ◆約月に1回、平日に病院を受診することへの配慮。低血糖等、体調不良時に、すみやかに自己対応できるよう配慮。(血糖測定・補食・インスリン追加注入など)また、そのようなときミスが多くなるので、そのフォロー。
- ◆特になし。インスリン注射の投薬は、トイレ・洗面所などで行い、低血糖時の補食はデスクで行える為問題なし。
- ◆私は、以前パートでレジをしていました。職場の人にも病気の事を話し、低血糖の事など理解してもらっていました。極力、自分でも低血糖にならないよう努力はしていましたが、やはりレジを打ってる最中に起こしてしまった事も何度かありました。しゃがんでブドウ糖をとり、切り抜けていました。お昼休憩も他の人はなくても、私だけは、低血糖予防の為、必ずとらせてくれました。本当に感謝しています。
- ◆私だけという差別ではなく、休み時間を設けたり、交替で休んだりして体を休め補食をとったりしています。

この取組により改善される職業的課題



精神的ストレスに適切に対処すること
 仕事中に適度に休憩し能率を下げないようにすること
 食事や休養、服薬、自己治療など健康管理をすること

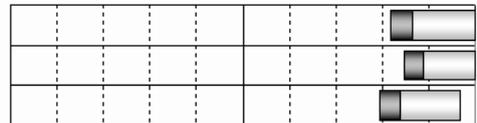


←最大の問題状況 最小の問題状況→

主治医、専門医等への就労相談 (現状の取組率:17.3%)

この取組により改善される職業的課題

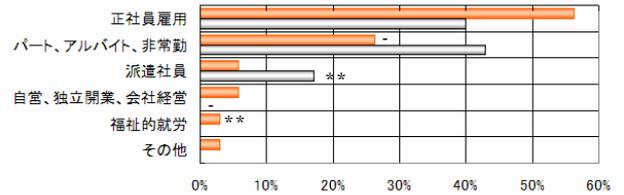
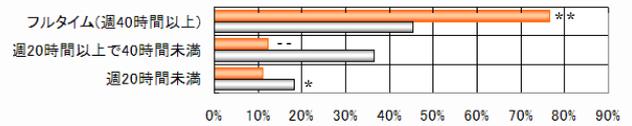
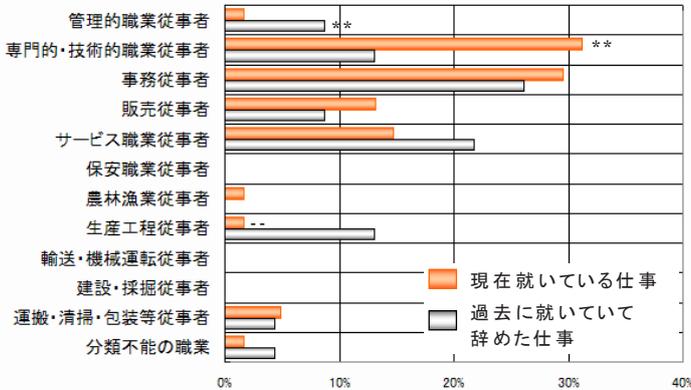
適当な報酬を得ること
 昇進をすること
 仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること



②就労している職業

「現在、収入のある仕事に就いている」67.2%、「現在は仕事での収入はないが、過去に収入のある仕事に就いていたことがある」20.8%であり、合わせると88.0%が病気をもちながらの就労経験があった。

同性同年齢と比較すると専門・技術職に就いている人が多く、生産工程従事が少なかった。比較的パート等が少なかった。フルタイムの仕事も比較的多かった。



(*,**: 平成21年度労働力調査の同性・同年齢の就業状況に比べて特に多い (それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$)。-,...: 同少ない。)

現在、就いている職業の例

【様々な専門的・技術的職業従事者】(26.4%)

- 機構設計業務 (男 30 歳代)
- 建築現場管理 (病気は就職後発病)(男 50 歳代)
- 看護師(病院)、保健師(産業保健)(女 40 歳代)
- 食事作り(栄養士)(男 20 歳代)
- 給食管理業務 (女 20 歳代)
- 保育士、介護職員 (女 20 歳代)
- ケアマネージャー(プラス)専門学校非常勤講師、手話通訳、成年後見人 (女 40 歳代)
- 中学校教諭 (男 50 歳代)
- 高校教員 (女 20 歳代)
- 広告デザイン会社での制作 (女 20 歳代)
- 音楽教室講師(自宅)(女 40 歳代)
- 医療職 (女 20 歳代)
- 公務員(技術職)(女 30 歳代)

【一般事務従事者】(22.6%)

- 人材育成、技術指導 (男 60 歳代)
- 人事課業務 (女 30 歳代)
- 電話オペレーター、営業 (女 20 歳代)
- 医療事務 (女 20 歳代、男 40 歳代)
- 事務・技師 (女 20 歳代)
- 事務・品物の検査 (女 40 歳代)
- 地方公務員(一般事務)(女 50 歳代)
- 事務職 (女 30 歳代 3)

【商品販売従事者】(7.5%)

- 接客業(ホームセンター)(女 40 歳代)
- アルバイト...コンビニ、書店員、販売員等。正規雇用...販売員 (女 20 歳代)
- 以前はパン屋。現在は、化粧品卸業 (女 40 歳代)
- 商品販売業 (女 30 歳代)

【看護師(准看護師を含む)】(5.7%)

- 老人病院での看護師(人体労働)(女 30 歳代)
- 看護師 (男 20 歳代、女 30 歳代)

【様々な事務従事者】(5.7%)

- 製造業、品質管理 (女 20 歳代)
- 建築業のブローカー業(営業と手配、届け出他) (男 30 歳代)
- 地方公務員(市役所職員)(女 40 歳代)

【会計事務従事者】(5.7%)

- 経理部、事務 (女 40 歳代)
- 経理、総務 (女 30 歳代)
- 会計事務、損保代理店、経営コンサルタント (男 60 歳代)

【様々なサービス職業従事者】(5.7%)

- 介護現場 (男 20 歳代)
- 歯科関係 (女 20 歳代)
- リラクゼーションサロンでのセラピスト (女 20 歳代)

【不特定の接客・給仕職業従事者】(5.7%)

- 接客業 (女 10 歳代、女 20 歳代)
- 接客、夜勤あり (男 30 歳代)

【管理的職業従事者】(1.9%)

- 学校内での事務作業 (女 30 歳代)

【様々な販売従事者】(1.9%)

- 不動産業(管理、仲介等)(女 50 歳代)

【農林漁業従事者】(1.9%)

- 養豚場での飼養管理 (男 40 歳代)

【生産工程従事者】(1.9%)

- 木工作業 (男 30 歳代)

【運搬・清掃・包装等従事者】(1.9%)

- 倉庫内作業(主に入荷全般)(女 20 歳代)

巻末資料 職業上の問題の大きさの相対的尺度

各職業的課題の状況の %x を、大部分の得点が 0 から 100 の間となるように、表の比較的問題の少ない状況（問題の少ない障害種類・取組状況で上位 95% 近傍）での課題に問題のない人の割合 a と、標準偏差 b を用いて、標準化得点 y を次の式で求めたものである。したがって、この標準化尺度は、実際の課題状況とは一対一で換算式の逆算で求め直すことができる。

$$y=95 + (x - a) \times 22.5/b$$

表 標準化得点算出のための基準数値

職業的課題		上位 95% 近傍の平均 (a)	障害種類等 による標準 偏差(b)
職業準備	就労したいという思いを周りの人に伝えること	93.7%	11.6%
	自分が能力を発揮できる仕事について調べること	84.7%	16.2%
	実際の職場を見学したり職場実習に参加すること	87.4%	16.2%
	希望の仕事に就くための能力を身につけること	81.2%	15.5%
	障害と共存しての人生・生活の展望をもつこと	79.5%	16.6%
就職活動	希望の会社についての情報を集めること	87.2%	16.3%
	企業に就職について連絡・申し込みすること	91.6%	16.6%
	履歴書や応募書類を作成すること	95.6%	15.1%
	就職面接を受けること	94.8%	14.9%
	企業に障害や病気を誤解されずうまく説明すること	84.2%	18.1%
	企業に対して職場で必要な配慮等を伝えること	84.0%	18.1%
	企業に対して自分をうまくアピールすること	82.4%	16.3%
就労状況	独立起業や自営の始め方の情報を集めること	72.0%	15.1%
	現在収入のある就労	80.8%	14.4%
	雇用就労	89.4%	15.3%
	一般就労	90.8%	14.7%
	フルタイム労働	73.9%	14.4%
就職後の課題	週 20 時間以上の労働	85.7%	15.2%
	何らかの就労	94.4%	11.6%
	病気や障害についての説明	95.7%	10.2%
	必要な環境整備、配慮、支援等についての説明	94.9%	13.1%
	仕事に必要な技能を習得すること	95.2%	12.6%
	仕事集中に注意を集中すること	96.2%	12.5%
	書類、本、説明書等の情報を読むこと	97.5%	14.4%
	文章を書くこと	97.0%	15.0%
	数を数えたり、計算すること	97.2%	11.2%
	問題解決や判断を行うこと	97.1%	17.8%
	職務として決められた課題を達成すること	97.0%	10.6%
	遅刻、早退、欠勤をしないで出勤すること	95.4%	8.7%
	8 時間労働を行うこと	94.5%	12.7%
	仕事で要求されている責任に十分に応えること	95.4%	12.9%
	仕事集中に適度に休憩して能率を下げないようにすること	95.7%	12.5%
	精神的ストレスに適切に対処すること	92.2%	16.8%
	危険のある事態や状況に適切に対処すること	94.8%	13.1%
	仕事上で人と応対すること	96.1%	15.1%
	上司や同僚など職場内での円滑な人間関係を維持すること	94.9%	15.7%
同僚、上司、お客さんなどの話や文書の内容を理解すること	96.3%	15.6%	
同僚、上司、お客さんなどに対して自分の意思を伝えること	96.0%	15.8%	

	職場内で、会話や議論をすること	96.3%	18.5%
	コミュニケーション機器（電話、FAX、電子メール等）を使うこと	96.9%	14.8%
	仕事中にトイレを利用すること	98.0%	5.9%
	清潔な身なりや服装をすること	98.8%	4.8%
	食事や休養、服薬、自己治療など健康管理をすること	97.5%	7.2%
	決められた通院を行うこと	97.6%	5.6%
	勤務時間外の生活（住居、買い物など）を行うこと	97.1%	7.2%
	座った姿勢で仕事をすること	98.1%	4.1%
	立った姿勢で仕事をすること	96.7%	12.8%
	運搬すること	97.2%	13.4%
	手と手指を使って物をつまんだり、操作したり、放したりすること	97.5%	9.6%
	手と腕で物を動かしたり操作したりすること	97.1%	9.4%
	歩くこと（短距離、長距離、不安定な場所で、など）	96.9%	13.2%
	様々な場所をあちこち移動すること（車椅子を含む）	96.2%	10.6%
	交通機関を利用すること（バス、電車、飛行機、タクシーなど）	97.1%	8.9%
	乗り物を操作して動かすこと（自動車、フォークリフトなど）	95.8%	15.7%
	仕事上の身分、仕事内容が安定して継続すること	93.5%	15.8%
	昇進をすること	89.7%	18.0%
	適当な報酬を得ること	92.1%	14.6%
生活満足	希望と合い満足できる職業生活	95.5%	18.4%
	能力やスキルに見合っただけ適切な処遇（賃金、職位等）	95.2%	14.8%
	地域で安心して生活できること	82.7%	15.0%
	生活に十分な収入	67.4%	15.9%
	全般的に満足できる生活	79.9%	17.3%
仕事への自信	障害や病気があっても、やりたいことは実行する自信	89.5%	14.1%
	仕事をとおして、社会に役立つ自信	92.7%	13.2%
	仕事内容によっては、企業ニーズに応える自信	92.8%	14.1%
	自分の障害や病気の適切な管理ができる自信	92.5%	16.0%
	世の中のいろんな支援制度やサービスを有効に活用できる自信	84.9%	16.5%
	自分の希望について周囲を説得して意思を通す自信	81.3%	17.0%
	職場や地域の整備を前提として、職業人として十分やっていく自信	96.6%	9.4%

ホームページについて

本冊子のほか、障害者職業総合センターの研究成果物については、一部を除いて、下記のホームページからPDFファイル等によりダウンロードできます。

【障害者職業総合センター研究部門ホームページ】

<http://www.nivr.jeed.go.jp/research/research.html>

著作権等について

視覚障害その他の理由で活字のままこの本を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。その際は下記までご連絡下さい。

なお、視覚障害者の方等で本冊子のテキストファイル（文章のみ）を希望される時も、ご連絡ください。

【連絡先】

障害者職業総合センター研究企画部企画調整室

電話 043-297-9067

FAX 043-297-9057

調査研究報告書 No.103 の別冊

難病のある人の雇用管理の課題と雇用支援のあり方に関する研究
「職業場面における難病データ集」

編集・発行	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター 〒261-0014 千葉県美浜区若葉 3-1-3 電話 043-297-9067 FAX 043-297-9057
発行日	2011年4月
印刷・製本	株式会社 こくぼ



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION